

京都市高齢社会対策実態調査報告書
<平成27年度実施>

平成28年5月
京 都 市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的.....	1
2 実施内容.....	1
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果	5
II-1. 高齢者生活実態調査	5
属性.....	5
1 健康に関することについて.....	15
2 就労に関することについて.....	18
3 収入に関することについて.....	24
4 近所づきあい・外出に関することについて.....	27
5 住まいに関することについて.....	30
6 生活の困りごと・相談相手について.....	34
7 情報入手について.....	37
8 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について.....	38
9 健康づくりや介護予防, 見守りについて.....	42
10 在宅医療等について.....	52
11 自由意見.....	91
II-2. 東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査	93
1 (住まい編) お住まいの住宅について.....	93
2 (住まい編) お住まいの住宅と, 住宅のまわりの環境について.....	106
3 (見守り編)	110
4 (見守り編) 見守る側の方々に対するヒアリング結果について.....	122

参考資料

京都市高齢者生活実態調査 調査票

東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査 調査票

Ⅰ. 調査の概要

I. 調査の概要

1 調査目的

本市では、「高齢社会対策実態調査」として、昭和55年度から5年ごとに、60歳以上の市民を対象とする「高齢者生活実態調査」を実施するとともに、平成2年度から10年ごとに、60歳未満の市民を対象とする「高齢者問題に関する市民意識調査」を実施している。

平成27年度は、高齢者の福祉、保健・医療、社会参加等、広範囲にわたる高齢者の生活実態と意識を明らかにし、今後の高齢者施策を推進するための基礎資料とすることを目的として、5年ごとの「高齢者生活実態調査」を実施するとともに、併せて、地域の見守り活動のあり方や空き家対策、住環境対策等を検討していくための基礎資料とすることを目的として、10年後（2025年）の本市の標準的な人口構成に近いと考えられる東山区において、「住まい」と「見守り」に焦点を当て、「東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査」を実施した。

2 実施内容

(1) 高齢者生活実態調査

ア 調査対象者

京都市内に在住の60歳以上の市民のうち、無作為抽出による5千人の方

イ 調査内容

①基本属性、②健康、③就労、④収入、⑤近所づきあい・外出、⑥住まい、⑦生活の困りごと・相談相手、⑧情報入手、⑨友人関係・社会参加活動・生きがい活動、⑩健康づくりや介護予防、見守り、⑪在宅医療等

ウ 調査期間

平成27年11月27日～12月11日

エ 調査方法

郵送配布・郵送回収

オ 回収数

3,054件

カ 回収率

61.1%

(2) 東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査

本調査は、下記の学識経験者の監修・協力の下で実施した。

- ・浜岡 政好 佛教大学名誉教授・京都市高齢者施策推進協議会会長
- ・井上えり子 京都女子大学家政学部生活造形学科准教授
- ・鈴木 健二 京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授

【一人暮らし後期高齢者の方への調査】

ア 調査対象者

東山区内に在住の75歳以上の市民のうち、一人暮らしの方132人

I. 調査の概要

イ 調査内容

<住まい編>

①住宅の現状（居住年数，建築年代，所有関係，家賃，広さ等），②住宅・環境の満足度

<見守り編>

①会話の頻度・相手，②訪問を受ける頻度・相手，③外出の頻度・行先等

ウ 調査期間

平成27年11月1日～12月末

エ 調査方法

京都女子大学及び京都府立大学の学生による訪問聞き取り調査

※関係機関の協力が得られる場合は同行訪問を実施

※不在等により聞き取りできない場合は，ポスティング・郵送回収

オ 回収数

77件

カ 回収率

58.3%

【見守る側の方への調査】

ア 調査方法

【一人暮らし後期高齢者の方への調査】の調査地域において，実際に見守り活動に取り組んでおられる民生・児童委員，老人福祉員，学区社会福祉協議会の方々，並びに調査地域を担当する地域包括支援センター及び東山区社会福祉協議会事務局の方々からヒアリングを実施。

イ 調査時期

平成28年2月～3月

ウ ヒアリング担当者

浜岡 政好 佛教大学名誉教授・京都市高齢者施策推進協議会会長

谷利 康樹 保健福祉局長寿社会部長寿福祉課長

舟木 一裕 保健福祉局長寿社会部長寿福祉課企画係長

中井 浩之 東山区福祉部福祉介護課長

3 報告書の見方

- (1) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して，それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入した。そのため，比率の合計値が100.0%にならない場合がある。ただし，一部の集計結果については，比率の合計値が100.0%となるように調整している。
- (2) 図表等の「N (number of case)」は，有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- (3) 設問には，回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する設問と，複数選択する設問とがある。図表中に次のような表示がある場合は，複数回答を依頼した質問ある。
 - ・ MA%＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3LA%＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- (4) 複数回答の設問の場合，回答は選択肢ごとの有効回答数に対して，それぞれの

- 割合を示している。そのため、合計が 100.0%を超える場合がある。
- (5) 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。

I. 調査の概要

II. 調查結果

Ⅱ．調査結果

Ⅱ－１．高齢者生活実態調査

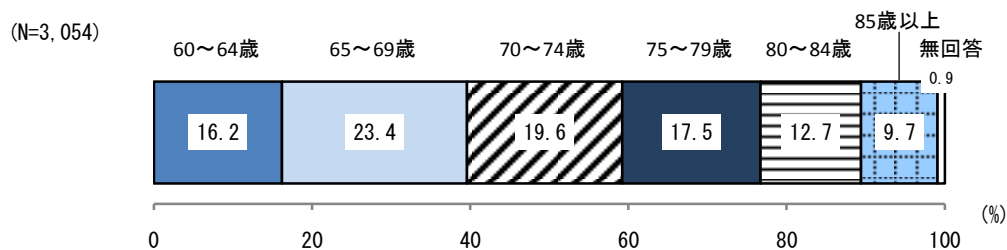
属性

〔１〕年齢

問１ あなた（あて名のご本人：以下の問も同じ）の年齢は。（○は１つ）

回答者の年齢は、「65～69歳」が23.4%と最も多く、次いで、「70～74歳」が19.6%、「75～79歳」が17.5%となっています。

実際の京都市の人口構成と比較して、大きな偏りは見られません。



【参考】京都市の人口（住民基本台帳，平成27年10月1日現在）

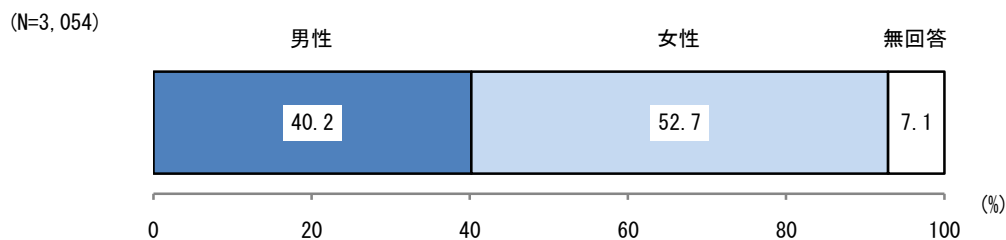
	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
人口構成比	18.1	23.9	19.1	15.3	12.0	11.5	100.0

〔２〕性別

問２ あなたの性別は。（どちらかに○）

回答者の性別は、「男性」が40.2%、「女性」が52.7%となっています。

実際の京都市の人口構成と比較して、男性の割合がやや少なくなっています。



【参考】京都市の人口（住民基本台帳，平成27年10月1日現在）

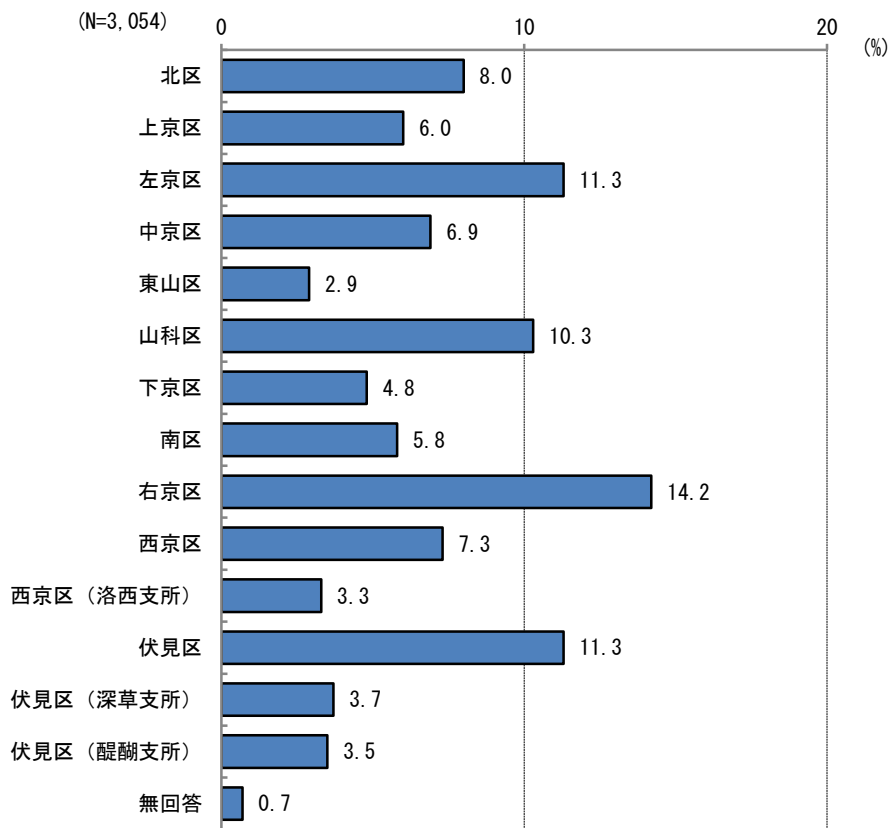
	男性	女性	合計
人口構成比	47.5	52.5	100.0

〔3〕 居住地域

問3 あなたがお住まいの区・支所は。(〇は1つ)

居住地域については、「右京区」が14.2%と最も多く、次いで、「左京区」、「伏見区」がそれぞれ11.3%、「山科区」が10.3%となっています。

実際の京都市の人口構成と比較して、大きな偏りは見られません。



【参考】京都市の人口（住民基本台帳，平成27年10月1日現在）

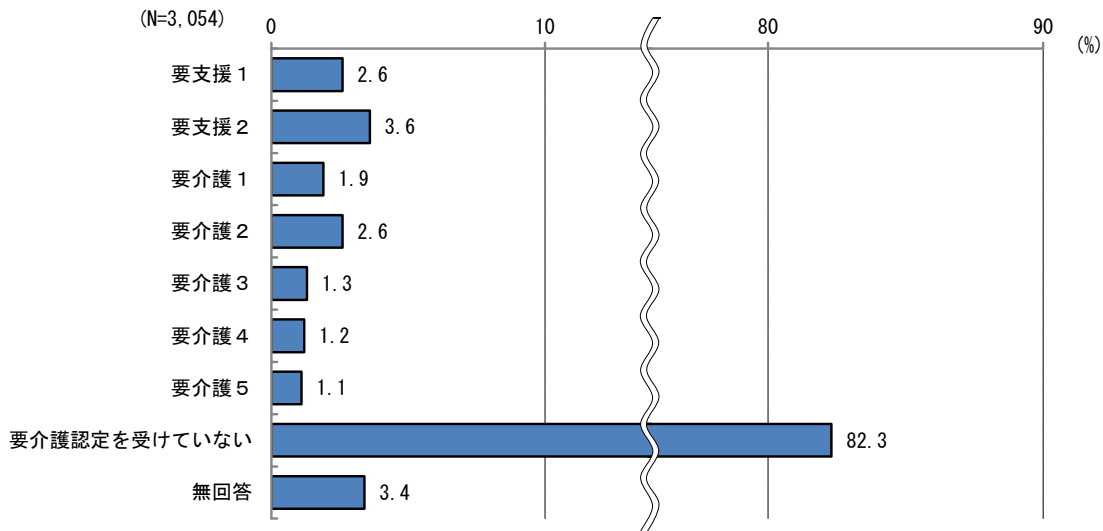
	北 区	上 京 区	左 京 区	中 京 区	東 山 区	山 科 区	下 京 区	南 区	右 京 区	西 京 区	西 京 区 (洛 西 支 所)	伏 見 区	伏 見 区 (深 草 支 所)	伏 見 区 (醍 醐 支 所)	合 計
人口構成比	7.9	5.4	11.0	7.4	2.6	9.3	5.4	7.0	13.8	6.9	3.7	11.7	4.2	3.7	100.0

〔４〕要介護度

問４ あなたの要介護度は。（○は１つ）

要介護度については、「要介護認定を受けていない」が82.3%と最も多く、次いで、「要支援2」が3.6%、「要支援1」、「要介護2」がそれぞれ2.6%となっています。

実際の京都市の要介護認定状況と比較して、要介護1～5の割合がやや少なくなっています。



【参考】京都市の要介護認定者数（平成27年10月末現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護認定を受けていない	合計
人口構成比	2.7	3.3	3.4	4.3	3.0	2.3	1.9	79.0	100.0

※65歳以上の認定者数の割合。

※「要介護認定を受けていない」は、住民基本台帳による65歳以上人口から認定者数を減じて算出。

〔5〕世帯構成

問5 あなたの同居者（家族）の構成は。（○は1つ）

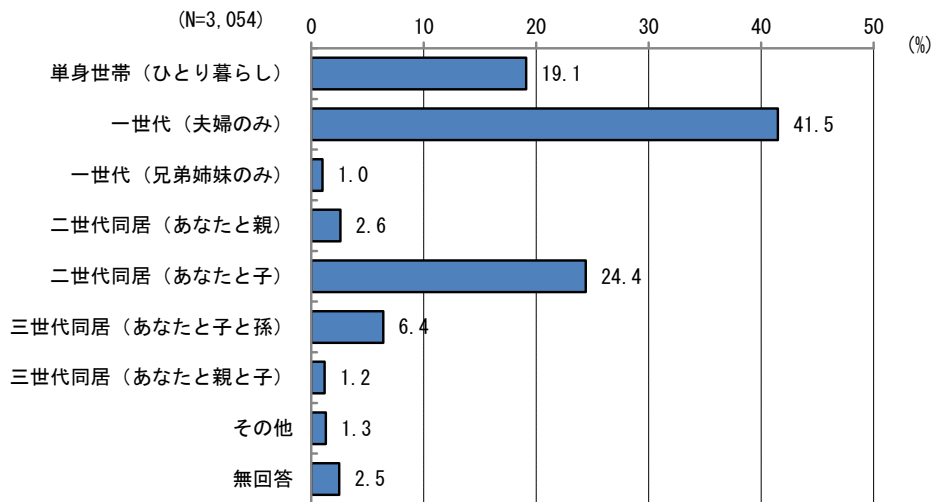
世帯構成については、「一世代（夫婦のみ）」が41.5%と最も多く、次いで、「二世帯同居（あなたと子）」が24.4%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が19.1%となっています。

経年的には、20年前調査（1995年）と比較すると、「一世代（夫婦のみ）」が8.0ポイント、「単身世帯（ひとり暮らし）」が4.7ポイント増加し、「三世帯同居（あなたと子と孫）」が10.2ポイント減少しています。

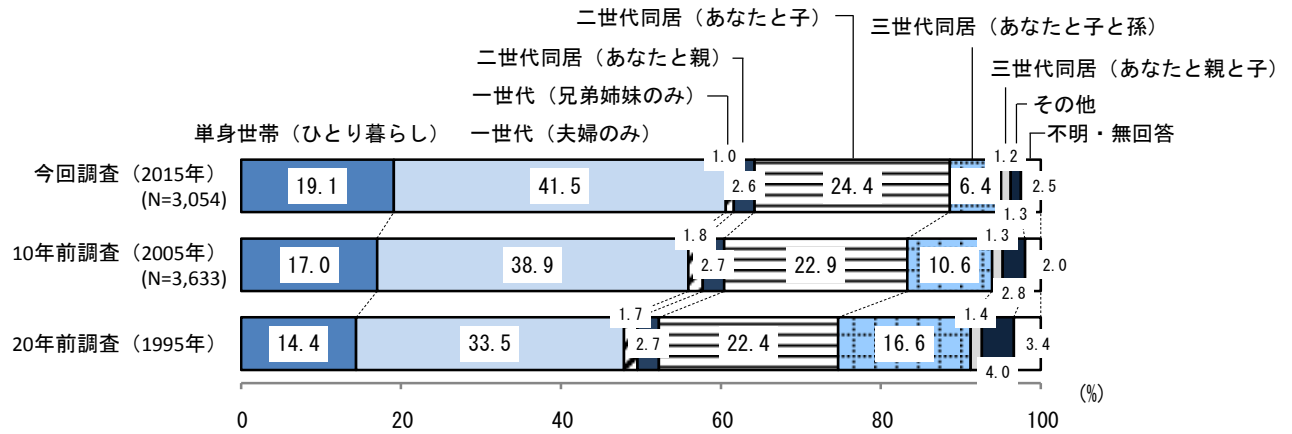
性年齢別でみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」の数は、「女性」が「男性」の約2倍になっており、「男性」の「単身世帯（ひとり暮らし）」は、「65～69歳」が31.3%と最も多く、次いで、「60～64歳」が17.3%、「75～79歳」が16.2%となっています。一方、「女性」の「単身世帯（ひとり暮らし）」は、「75～79歳」が22.5%と最も多く、次いで、「85歳以上」が18.0%、「70～74歳」が17.2%となっています。

子の居住地域別でみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」は、「京都市内」が35.2%と最も多く、次いで「同じ区内」が27.6%となっています。一方、「一世代（夫婦のみ）」は、「同じ区内」が31.4%、「京都市内」が29.7%となっています。

子との交流頻度別でみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」は、「週に1～2回」が30.6%と最も多く、次いで「月に1～2回」が26.6%、「毎日」が20.9%となっています。一方、「一世代（夫婦のみ）」は、「月に1～2回」が33.6%と最も多く、次いで「週に1～2回」が29.3%、「毎日」が17.0%となっています。



【経年比較】



【性年齢別 世帯構成】

	男								女							
	回答者数 (N)	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳以上	無回答	回答者数 (N)	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳以上	無回答
単身世帯 (ひとり暮らし)	179	17.3	31.3	14.5	16.2	7.3	13.4	0	355	12.1	14.4	17.2	22.5	15.8	18.0	0
一世代 (夫婦のみ)	589	12.7	22.9	21.7	19.0	17.0	6.3	0.3	590	18.5	28.1	23.2	17.6	8.6	3.9	0
一世代 (兄弟姉妹のみ)	9	22.2	11.1	11.1	33.3	22.2	0	0	22	4.5	9.1	36.4	13.6	36.4	0	0
二世世代同居 (あなたと親)	33	21.2	51.5	21.2	3.0	3.0	0	0	37	45.9	27.0	10.8	2.7	5.4	8.1	0
二世世代同居 (あなたと子)	285	21.8	27.7	20.7	15.8	7.4	6.7	0	406	18.7	24.1	16.7	14.8	8.6	16.7	0.2
三世世代同居 (あなたと子と孫)	66	4.5	19.7	30.3	19.7	15.2	10.6	0	122	6.6	11.5	18.9	20.5	23.0	18.9	0.8
三世世代同居 (あなたと親と子)	24	45.8	29.2	8.3	8.3	4.2	4.2	0	12	66.7	25.0	8.3	0	0	0	0
その他	13	15.4	15.4	23.1	7.7	23.1	15.4	0	27	22.2	7.4	14.8	7.4	18.5	29.6	0

II-1. 高齢者生活実態調査

【子の居住地域別 世帯構成】

	回答者数 (N)	(%)							無回答
		同じ区内	京都市内	京都市を除く 京都府下	良大阪など、 近畿圏内、 兵庫、滋賀、 奈良	東川など、 埼玉、千葉、 神奈川	その他		
単身世帯（ひとり暮らし）	301	27.6	35.2	8.0	12.3	5.3	5.3	6.3	
一世代（夫婦のみ）	917	31.4	29.7	7.3	17.2	6.5	3.7	4.1	
一世代（兄弟姉妹のみ）	9	11.1	22.2	22.2	0	11.1	0	33.3	
二世帯同居（あなたと親）	38	26.3	15.8	0	18.4	10.5	2.6	26.3	
二世帯同居（あなたと子）	0	0	0	0	0	0	0	0	
三世帯同居（あなたと子と孫）	0	0	0	0	0	0	0	0	
三世帯同居（あなたと親と子）	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	18	27.8	44.4	11.1	11.1	0	5.6	0	

【子との交流頻度別 世帯構成】

	回答者数 (N)	(%)							無回答
		毎日	週に1 〜2回	月に1 〜2回	年に数回	どこの1 年間ほとん	その他		
単身世帯（ひとり暮らし）	301	20.9	30.6	26.6	10.0	4.7	4.3	3.0	
一世代（夫婦のみ）	917	17.0	29.3	33.6	14.1	1.3	2.4	2.3	
一世代（兄弟姉妹のみ）	9	0	22.2	11.1	22.2	0	0	44.4	
二世帯同居（あなたと親）	38	13.2	15.8	36.8	5.3	0	2.6	26.3	
二世帯同居（あなたと子）	0	0	0	0	0	0	0	0	
三世帯同居（あなたと子と孫）	0	0	0	0	0	0	0	0	
三世帯同居（あなたと親と子）	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	18	16.7	38.9	22.2	11.1	0	11.1	0	

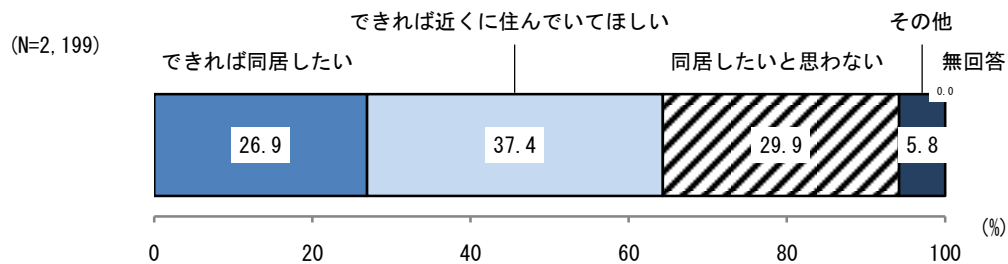
〔6〕子との同居意向

≪「子がいる方」のみ≫

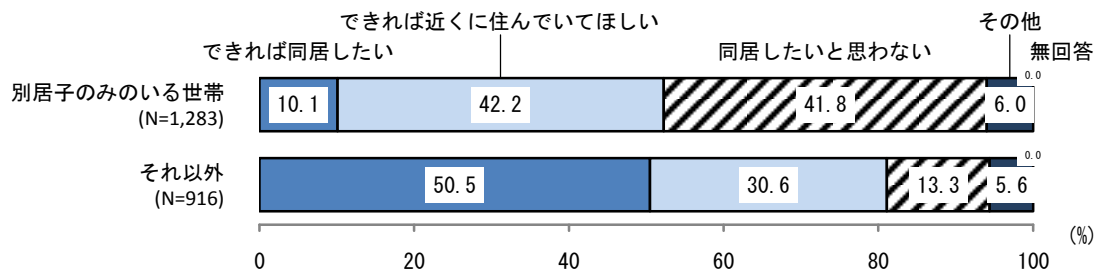
問6 あなたは子と同居したい（し続けたい）ですか。（○は1つ）

子との同居意向については、「できれば近くに住んでいてほしい」が37.4%と最も多く、次いで、「同居したいと思わない」が29.9%、「できれば同居したい」が26.9%となっています。

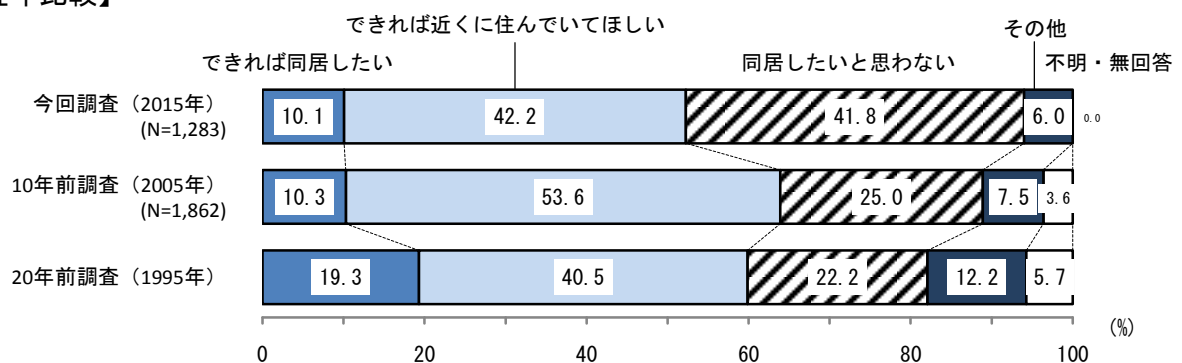
経年的には、選択肢が異なるため単純比較できませんが、過去の調査結果と比較すると、「同居したいと思わない」が多くなり、「できれば同居したい」が少なくなる傾向が見られます。



【同居の状況別 子との同居意向】



【経年比較】



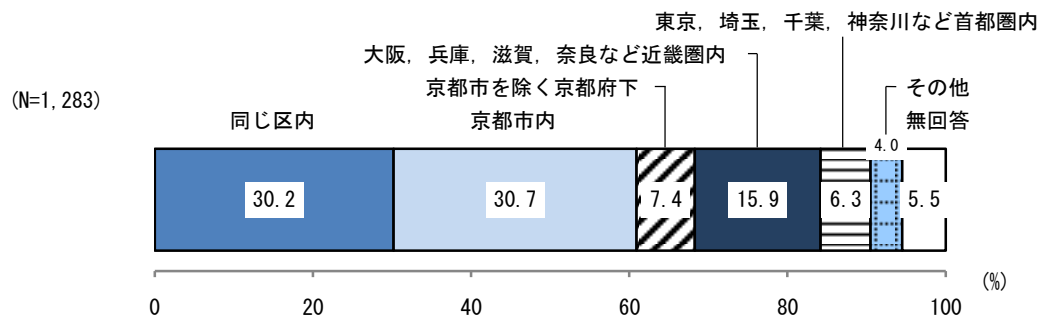
※10年前調査（2005年）、20年前調査（1995年）は、別居子のみの方を対象としたため、今回調査（2015年）も、別居子のみの方を集計し、経年比較した。また、10年前調査（2005年）、20年前調査（1995年）は、「できれば同居したいと思う」「同居したいと思わないが、近くに住んでいてほしい」「同居したいと思わない」「その他」「わからない」の5区分で調査。経年比較では、「わからない」は「その他」として集計した。

〔 7 〕 子の居住地

≪ 「子がいる方で、子と同居をしていない方」のみ ≫

問 7-1 子はどこに住んでおられますか。（最も近くにお住まいの子の居住地 1 つに○）

子の居住地については、「京都市内」が 30.7%と最も多く、次いで、「同じ区内」が 30.2%、「大阪、兵庫、滋賀、奈良など近畿圏内」が 15.9%となっています。



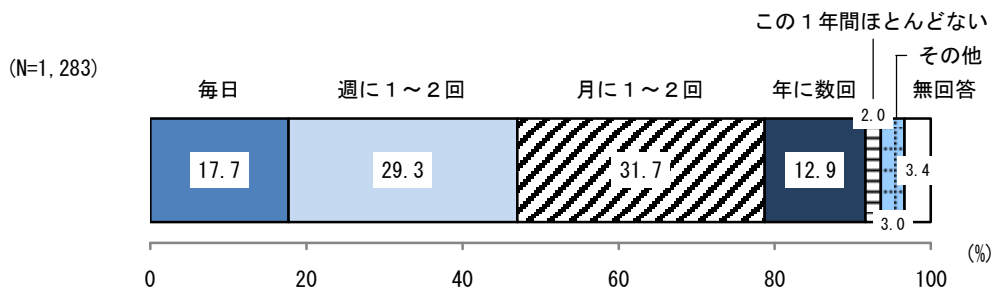
〔８〕子との交流頻度

≪「子がいる方で、子と同居をしていない方」のみ≫

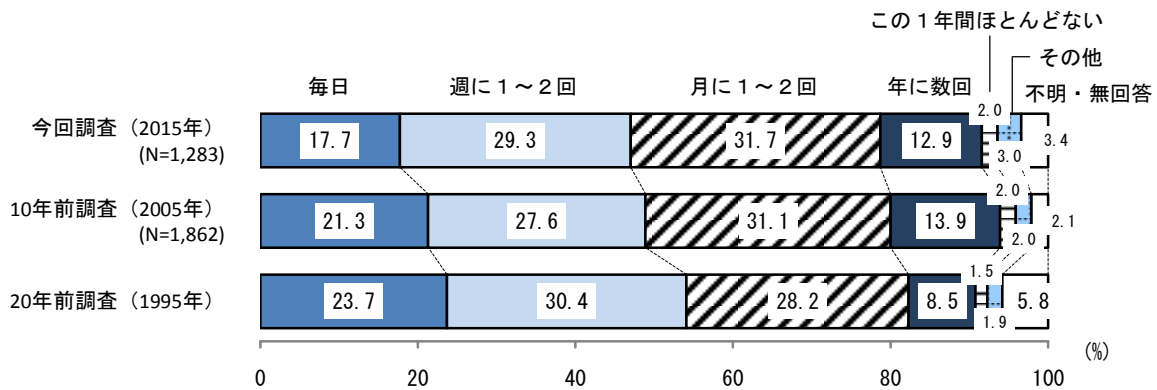
問 7-2 子との交流頻度は（手紙や電話等も含みます。）。（○は1つ）

子との交流頻度については、「月に1～2回」が31.7%と最も多く、次いで、「週に1～2回」が29.3%、「毎日」が17.7%となっています。

経年的には、20年前調査（1995年）と比較すると、「毎日」、「週に1～2回」が微減、「月に1～2回」、「年に数回」が微増しています。



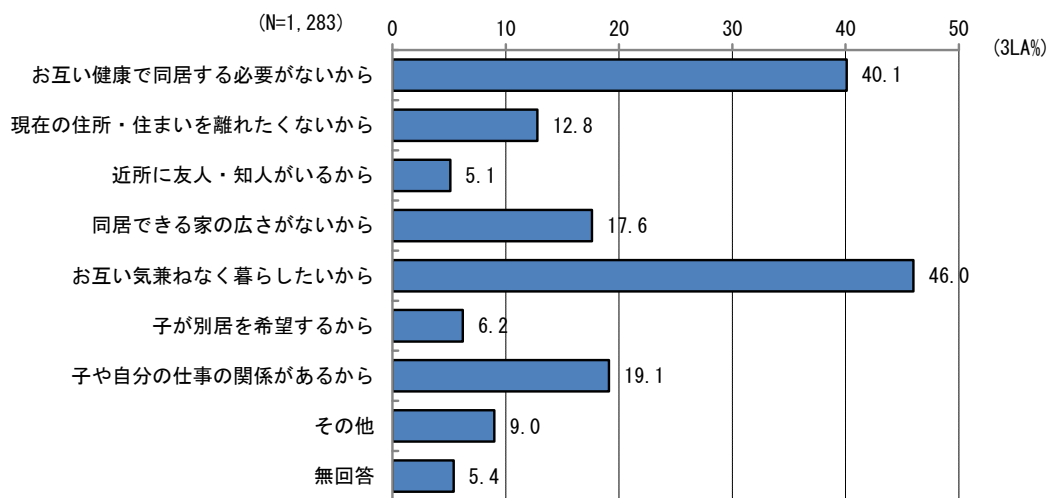
【経年比較】



〔 9 〕 子と同居していない理由

« 「子がいる方で、子と同居をしていない方」のみ »
 問 7-3 子と同居していない理由は。(〇は3つまで)

子と同居していない理由については、「お互い気兼ねなく暮らしたいから」が 46.0%と最も多く、次いで、「お互い健康で同居する必要があるから」が 40.1%、「子や自分の仕事のあるから」が 19.1%となっています。



1 健康に関することについて

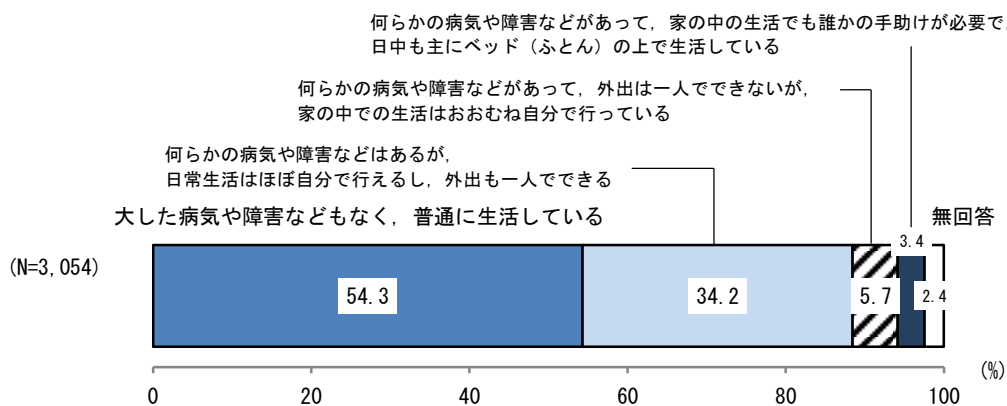
〔1〕日ごろの健康状態

問8 あなたの日ごろの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

日ごろの健康状態については、「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」が54.3%と最も多く、次いで、「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる」が34.2%、「何らかの病気や障害などがあって、外出は一人でできないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている」が5.7%となっています。

経年的には、選択肢が異なるため単純比較できませんが、大きな傾向の変化は見られません。

年齢別でみると、「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」は、「60～64歳」が75.4%と最も多く、年齢が上がるほど少なくなっています。また、「何らかの病気や障害などがあって、外出は一人でできないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている」と「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している」は、年齢が上がるほど多くなっており、「85歳以上」では、それぞれ20.9%と16.5%と、最も多くなっています。

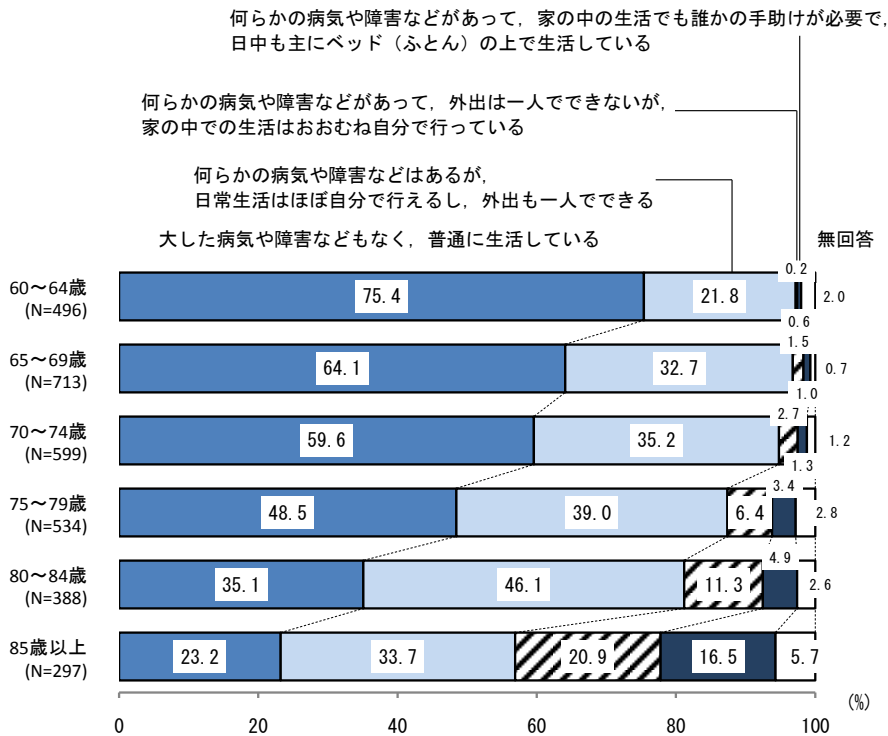


II-1. 高齢者生活実態調査

【経年比較】

	回答者数 (N)	大した病気や障害などもなく、普通に生活している	大した病気や障害などもなく、普通に生活している	大した病気や障害などもなく、普通に生活している	大した病気や障害などもなく、普通に生活している	大した病気や障害などもなく、普通に生活している	大した病気や障害などもなく、普通に生活している	大した病気や障害などもなく、普通に生活している	不明・無回答
今回調査 (2015年)	3,054	54.3	34.3	5.7	3.4	2.4			
10年前調査 (2005年)	3,633	6.4	44.3	35.5	6.3	3.0	2.4	2.1	

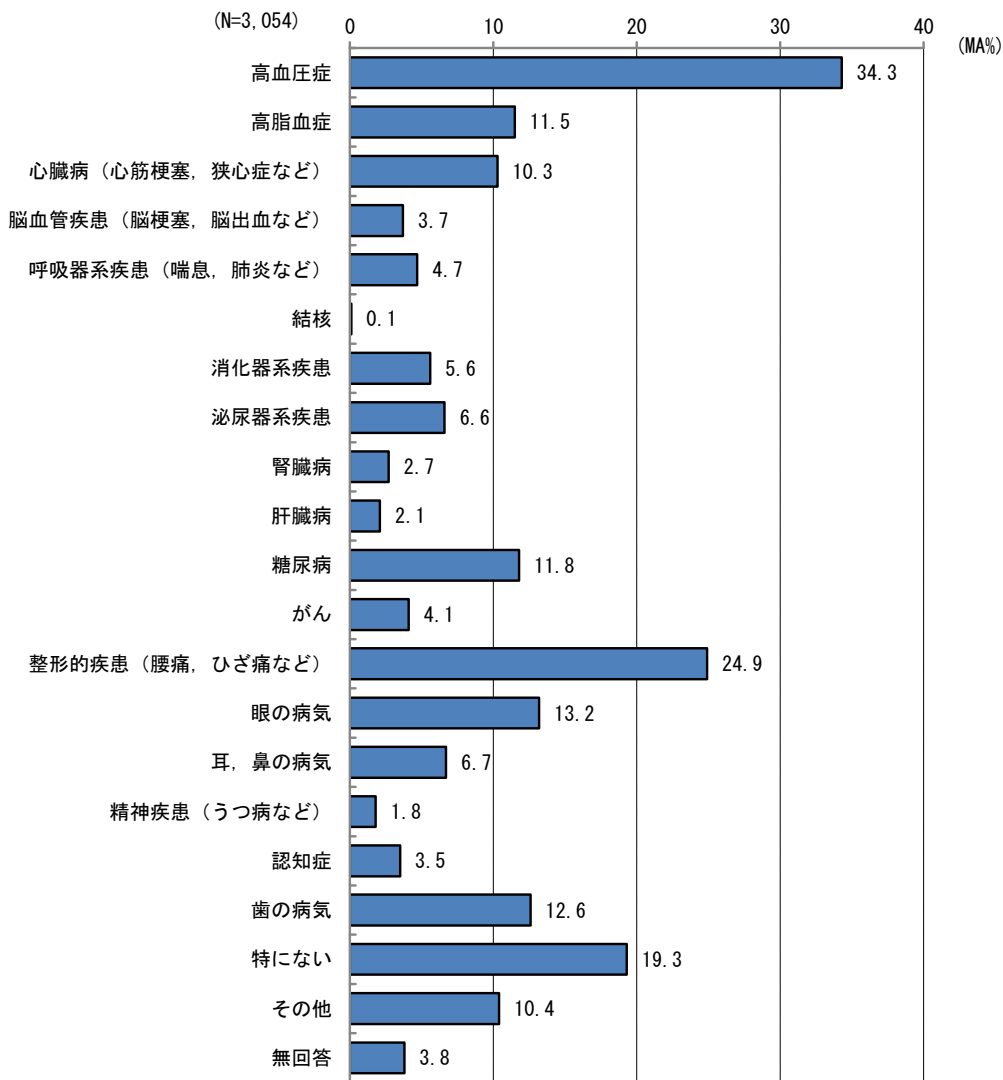
【年齢別 日ごろの健康状態】



〔２〕現在、治療中又は日常生活に支障がある病気の有無

問９ あなたは現在、治療中又は日常生活に支障がある病気はありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

現在、治療中又は日常生活に支障がある病気の有無については、「高血圧症」が 34.3%と最も多く、次いで、「整形的疾患（腰痛，ひざ痛など）」が 24.9%、「特にない」が 19.3%となっています。



2 就労に関することについて

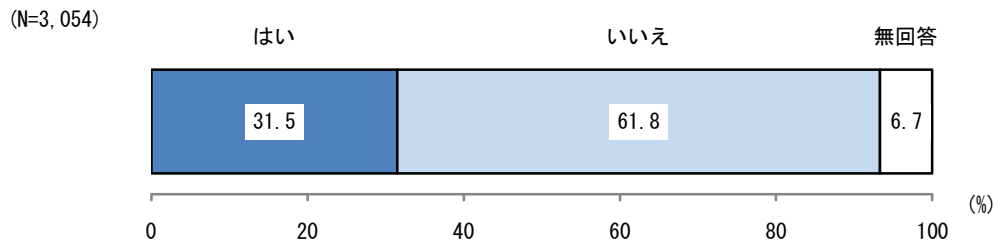
〔1〕就労状況

問10-1 あなたは現在、収入になる仕事をしていますか。（どちらかに○）

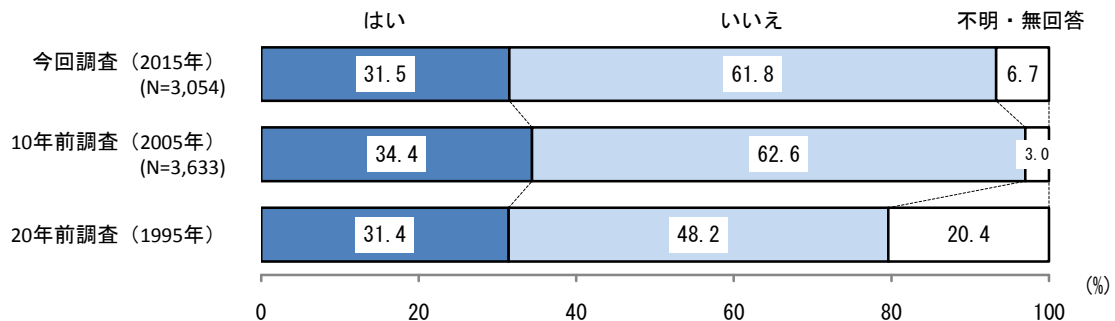
就労状況については、「はい」（仕事をしている）が31.5%、「いいえ」（仕事をしていない）が61.8%となっています。

経年的には、選択肢が異なるため単純比較できませんが、大きな傾向の変化は見られません。

年齢別でみると、「はい」は、「60～64歳」が64.5%と最も多く、年齢が上がるほど少なくなっています。

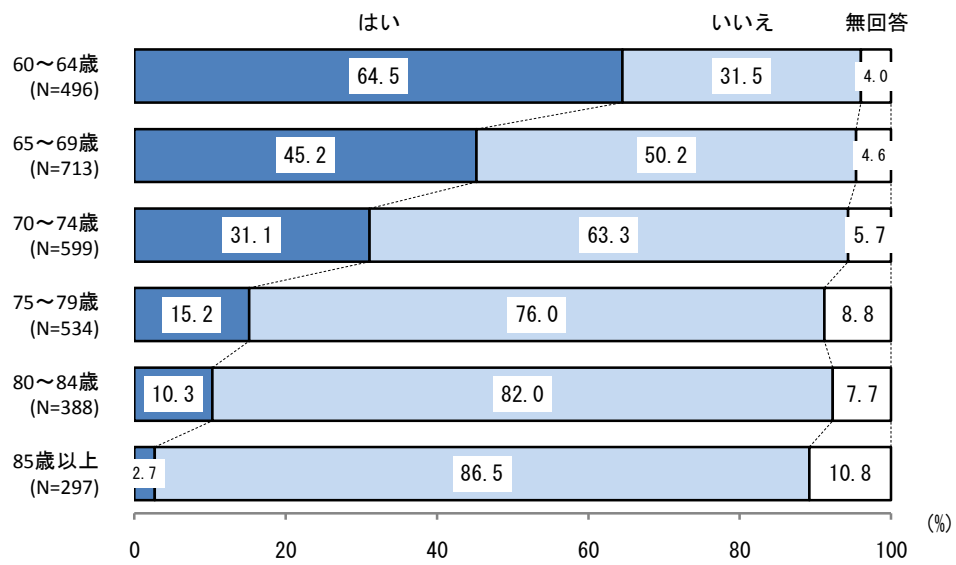


【経年比較】



※ただし、20年前調査（1995年）は「仕事をしている」「適当な仕事がない」「病気がちでしていない」「家族が反対でしていない」「生活に困らないのでしていない」「働きたくないからしていない」「その他の理由でしていない」の7区分で調査。

【年齢別 就労状況】

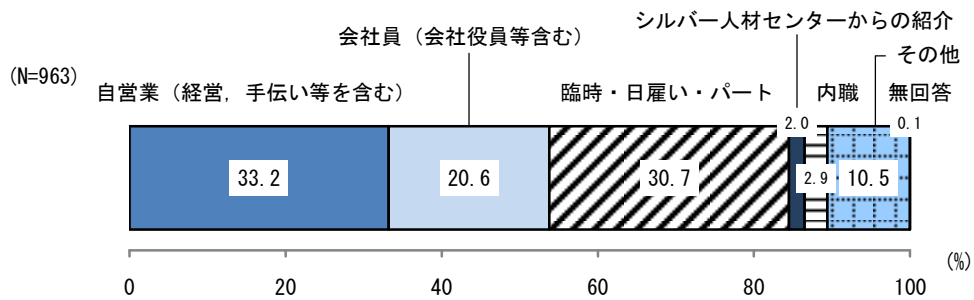


〔２〕就労形態

《問10-1で「はい」を選択された方のみ》

問10-2 「はい」を選ばれた方にお伺いします。あなたの主な就労形態は何ですか。
(○は1つ)

就労形態については、「自営業（経営，手伝い等を含む）」が33.2%と最も多く，次いで，「臨時・日雇い・パート」が30.7%，「会社員（会社役員等含む）」が20.6%となっています。

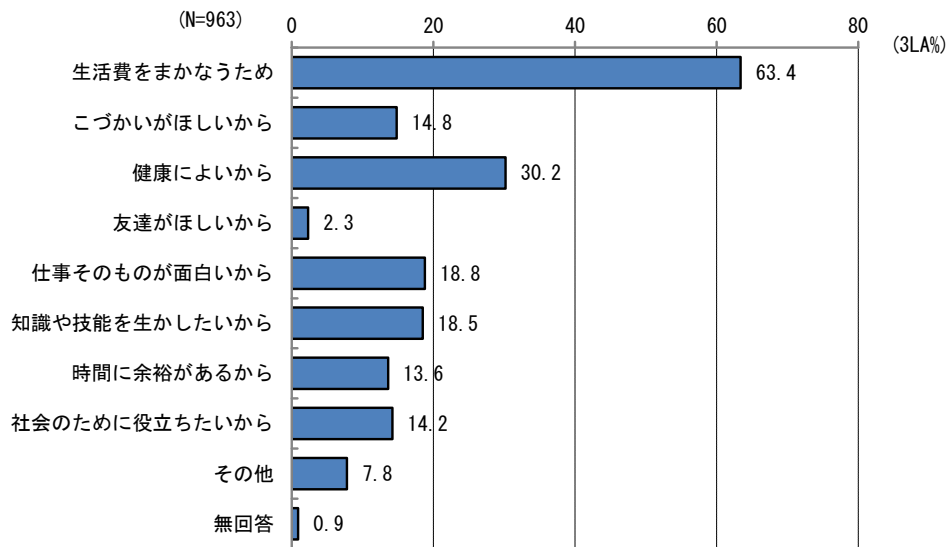


〔３〕働いている理由

《問10-1で「はい」を選択された方のみ》
 問10-3 働いている主な理由は何ですか。（〇は3つまで）

働いている理由については、「生活費をまかなうため」が63.4%と最も多く、次いで、「健康によいから」が30.2%、「仕事そのものが面白いから」が18.8%となっています。

経年的には、選択肢が異なるため単純比較できませんが、過去の調査結果と比較すると、「生活費をまかなうため」（過去の調査では「生活費の不足を補うため」を含む）と「健康によいから」が少なくなる傾向が見られます。



【経年比較】

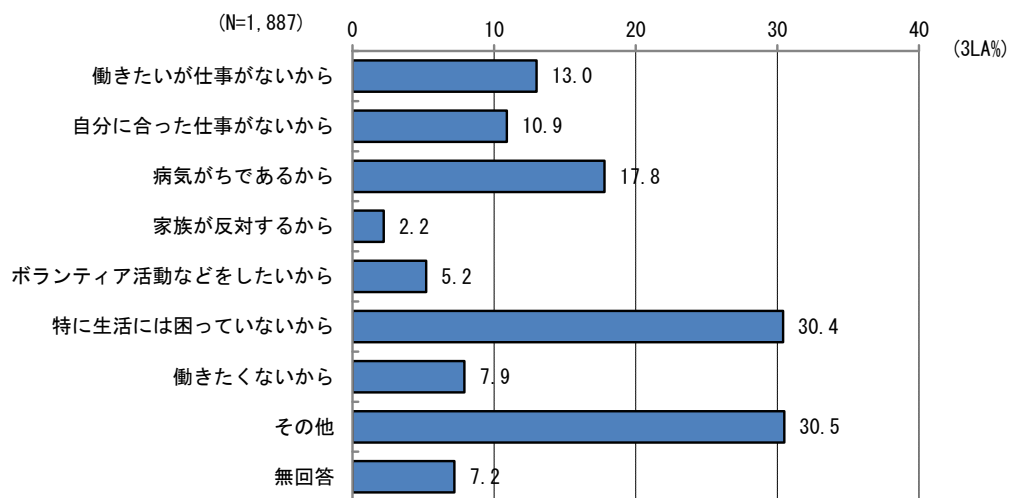
	回答者数 (N)	生活費をまかなうため	生活費の不足を補うため	こづかいが欲しいから	健康によいから	友達がほしいから	仕事そのものが面白いから	-	屈みないでいるから	何もしないでいるから	社会のために役立ちたいから	その他	不明・無回答
今回調査 (2015年)	963	63.4	14.8	30.2	2.3	18.8	18.5	13.6	14.2	7.8	0.9		
10年前調査 (2005年)	1,249	46.0	30.4	12.1	38.0	3.0	25.5	-	19.7	14.9	5.7	1.7	
20年前調査 (1995年)	-	51.7	19.1	10.5	40.5	2.3	23.0	-	16.4	16.3	4.6	1.6	

〔４〕働いていない理由

《問10-1で「いいえ」を選択された方のみ》

問10-4 「いいえ」を選ばれた方にお伺いします。その主な理由はなんですか。
(○は3つまで)

働いていない理由については、「特に生活には困っていないから」が30.4%と最も多く、次いで、「病気がちであるから」が17.8%、「働きたいが仕事がないから」が13.0%となっています。また、「その他」は30.5%となっています。

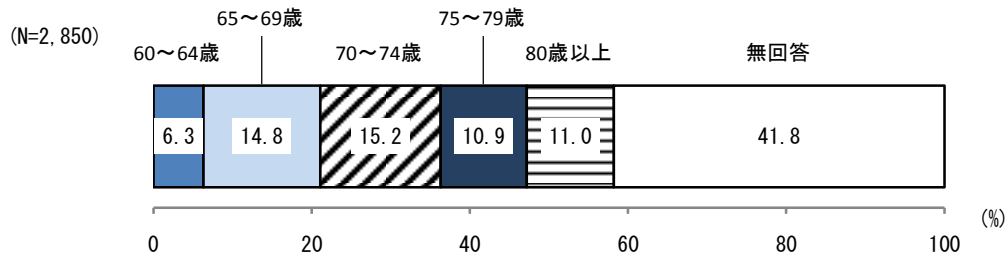


〔５〕何歳まで働きたいか

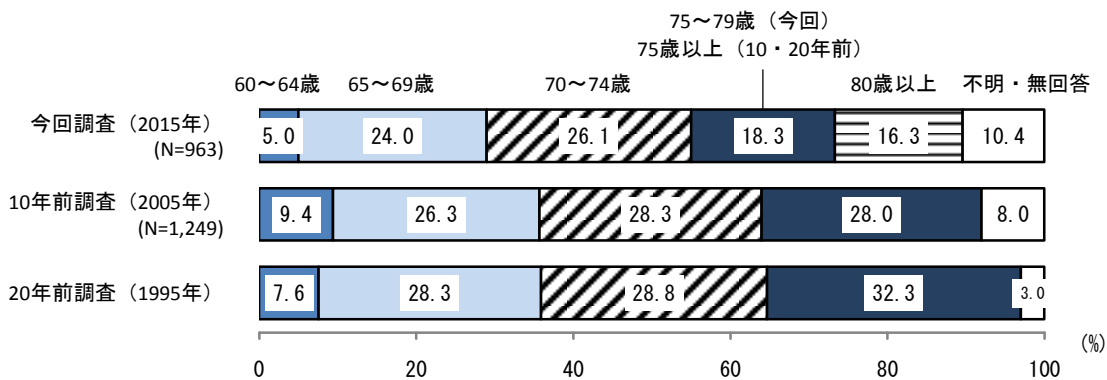
問10-5 何歳まで働きたいですか。(○は1つ)

何歳まで働きたいかについては、「70～74歳」が15.2%と最も多く、次いで、「65～69歳」が14.8%、「80歳以上」が11.0%となっています。

経年的には、選択肢が異なるため単純比較できませんが、過去の調査結果と比較すると、「60～64歳」、「65～69歳」、「70～74歳」が概ね少なくなる傾向が見られます。



【経年比較】



※ただし、10年前調査(2005年)、20年前調査(1995年)は仕事をしている方が対象。「60～64歳」「65～69歳」「70～74歳」「75歳以上」の4区分で調査。

※今回調査(2015年)は仕事をしている方のみ集計し、経年比較した。

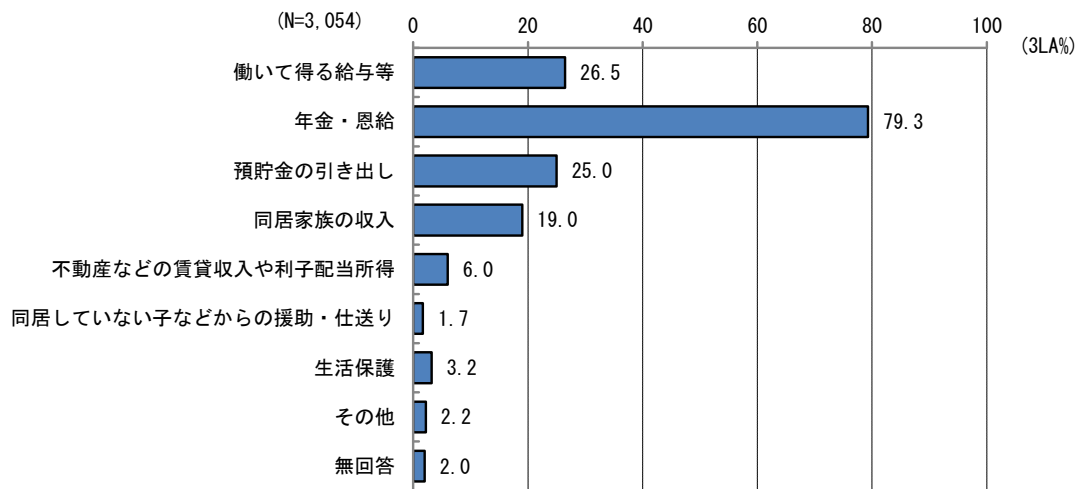
3 収入に関することについて

〔1〕 どのようにして生活費を得ているか

問11 あなたは生活費をどのようにして得ていますか。(〇は3つまで)

どのようにして生活費を得ているかについては、「年金・恩給」が79.3%と最も多く、次いで、「働いて得る給与等」が26.5%、「預貯金の引き出し」が25.0%となっています。

経年的には、選択肢が異なるため単純比較できませんが、過去の調査結果と比較すると、「預貯金の引き出し」が多くなる傾向が見られます。



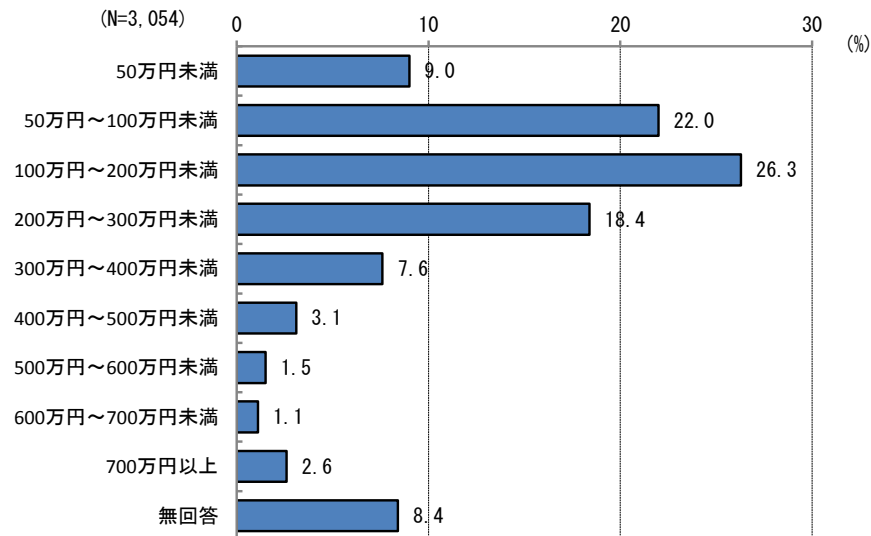
【経年比較】

	回答者数 (N)	働いて得る給与等	年金・恩給	預貯金の引き出し	同居家族の収入	不動産などの賃貸収入や利子配当所得	同居していない子などからの援助・仕送り	生活保護	その他	無回答
今回調査 (2015年)	3,054	26.5	79.3	25.0	19.0	6.0	1.7	3.2	2.2	2.0
10年前調査 (2005年)	3,633	25.5	75.9	18.0	14.1	6.8	3.4	2.6	2.0	2.3
20年前調査 (1995年)	-	27.2	65.9	12.7	17.4	7.7	4.7	2.9	3.1	5.6

〔２〕年間個人総収入額

問12 あなた個人の年間の総収入（年金などを含め，税込みで）はどのくらいですか。
（〇は1つ）

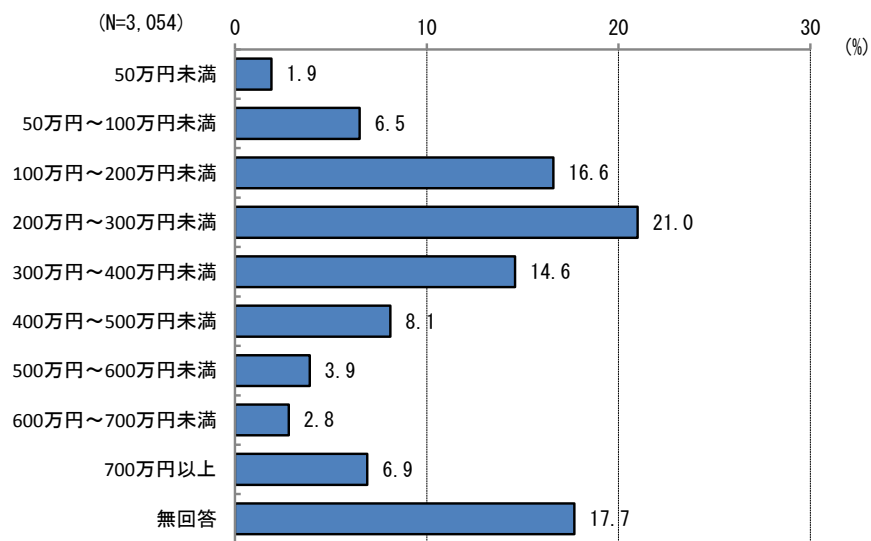
年間の個人総収入額については、「100万円～200万円未満」が26.3%と最も多く，次いで，「50万円～100万円未満」が22.0%，「200万円～300万円未満」が18.4%となっています。



〔３〕年間世帯総収入額

問13 あなたの世帯（同居して同一生計を営む世帯）の年間の総収入
（年金などを含め、税込みで）はどのくらいですか。（○は1つ）

年間の世帯総収入額については、「200万円～300万円未満」が21.0%と最も多く、次いで、「100万円～200万円未満」が16.6%、「300万円～400万円未満」が14.6%となっています。



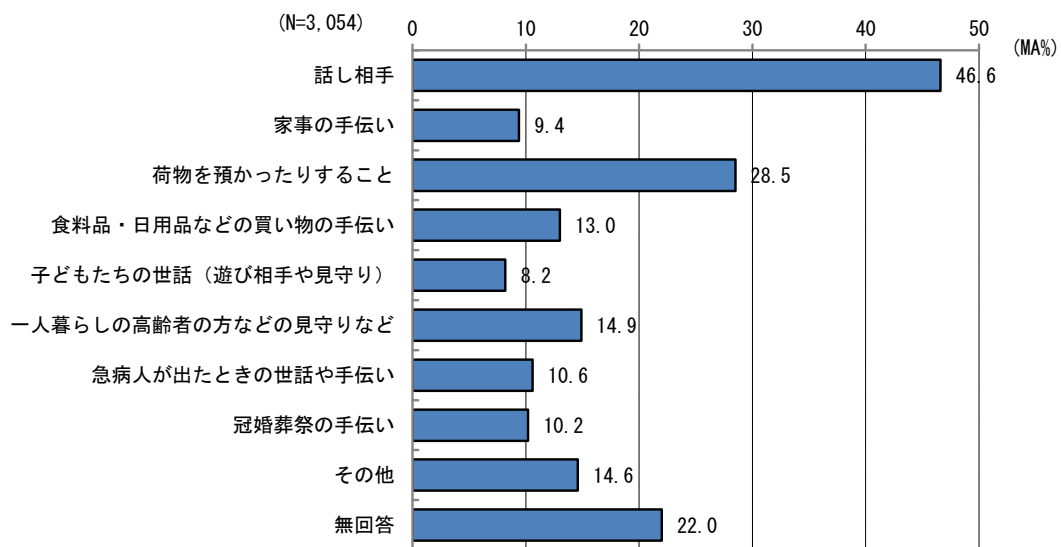
4 近所づきあい・外出に関することについて

〔１〕御近所で手助けや協力ができることがあるか

問14-1 あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

御近所で手助けや協力ができることがあるかについては、「話し相手」が46.6%と最も多く、次いで、「荷物を預かったりすること」が28.5%、「一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど」が14.9%となっています。

年齢別でみると、全ての年齢層で「話し相手」が最も多くなっています。また、「その他」、「無回答」を除き、概ね年齢が上がるほど少なくなる傾向が見られます。



【年齢別 御近所で手助けや協力ができること】

	回答者数 (N)	話し相手	家事の手伝い	荷物を預かったりすること	食料品・日用品などの買い物の手伝い	子どもたちの世話（遊び相手や見守り）	一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど	急病人が出たときの世話や手伝い	冠婚葬祭の手伝い	その他	無回答
60～64歳	496	47.6	11.5	36.5	16.7	11.5	20.4	14.3	15.7	12.1	16.9
65～69歳	713	49.9	8.1	33.2	14.4	9.5	19.1	12.9	13.7	13.0	18.1
70～74歳	599	52.1	11.5	31.1	16.4	9.3	18.7	12.5	10.7	13.4	18.0
75～79歳	534	48.7	10.5	30.0	14.8	8.6	12.2	10.5	7.7	14.6	20.0
80～84歳	388	44.8	8.2	19.6	6.2	3.9	7.7	5.2	4.9	16.0	26.5
85歳以上	297	26.9	4.7	9.1	2.4	1.7	3.0	2.4	2.4	23.2	44.1

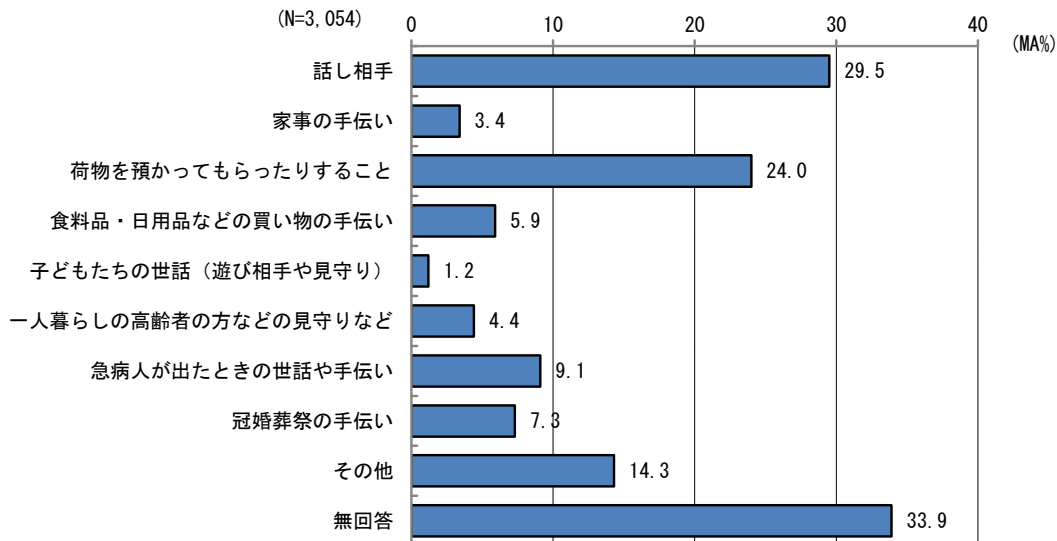
〔２〕御近所に頼むことができそうなことがあるか

問14-2 あなた自身が御近所に頼むことができそうなことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

御近所に頼むことができそうなことがあるかについては、「話し相手」が29.5%と最も多く、次いで、「荷物を預かってもらったりすること」が24.0%、「急病人が出たときの世話や手伝い」が9.1%となっています。また、「無回答」は33.9%となっています。

経年的には、選択肢が異なるため単純比較できませんが、10年前調査(2005年)と比較すると、「話し相手」が多くなる一方で、「食料品・日用品などの買い物の手伝い」、「冠婚葬祭の手伝い」が少なくなる傾向が見られます。

年齢別でみると、「60～64歳」では「荷物を預かってもらったりすること」が最も多くなっています。一方、65歳以上では「話し相手」が最も多くなっています。



【経年比較】

	回答者数 (N)	話し相手	家事の手伝い	荷物を預かったりすること	食料品・日用品などの買い物の手伝い	子どもたちの世話（遊び相手や見守り）	一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど	急病人が出たときの世話や手伝い	冠婚葬祭の手伝い	その他	-	-	(MA%) 不明・無回答
今回調査 (2015年)	3054	29.5	3.4	24.0	5.9	1.2	4.4	9.1	7.3	14.3	-	-	33.9
10年前調査 (2005年)	3,633	20.3	7.8	-	13.2	3.5	6.1	10.7	12.3	1.0	6.9	15.5	45.0

【年齢別 御近所に頼むことができそうなこと】

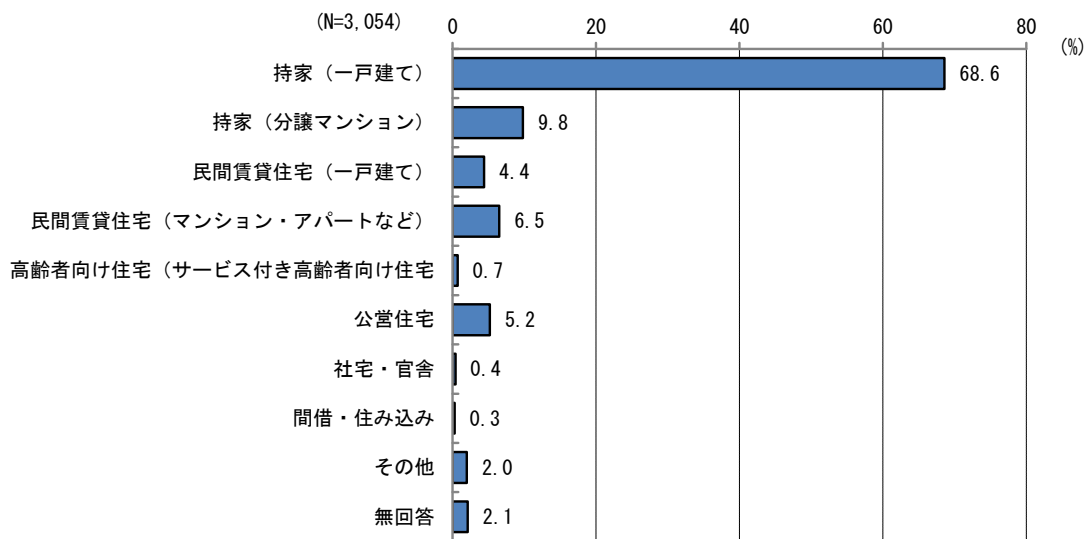
	回答者数 (N)	話し相手	家事の手伝い	荷物を預かってもらったこと	食料品・日用品などの買い物の手伝い	子どもたちの世話（遊び相手や見守り）	一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど	急病人が出たときの世話や手伝い	冠婚葬祭の手伝い	その他	無回答	(MA%)
60～64歳	496	25.4	1.8	33.3	4.2	1.2	4.0	9.1	8.1	12.7	30.2	
65～69歳	713	27.9	2.9	25.8	6.5	1.0	5.0	9.8	10.8	14.0	32.7	
70～74歳	599	33.4	4.0	26.5	8.7	2.2	5.2	11.9	7.8	12.0	31.2	
75～79歳	534	30.5	3.7	20.8	5.8	0.9	3.7	9.2	5.1	16.9	34.5	
80～84歳	388	34.5	5.4	18.8	4.1	1.5	4.9	7.5	4.9	14.2	34.3	
85歳以上	297	24.9	2.4	11.8	3.7	0	2.7	4.0	4.0	18.5	46.5	

5 住まいに関することについて

〔1〕 住まい

問15 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

現在の住まいについては、「持家（一戸建て）」が68.6%と最も多く、次いで、「持家（分譲マンション）」が9.8%、「民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が6.5%となっています。
世帯構成別でみると、すべての世帯構成で「持家（一戸建て）」が最も多くなっていますが、「単身世帯（ひとり暮らし）」では45.7%と、他の世帯構成と比べて少なくなっています。



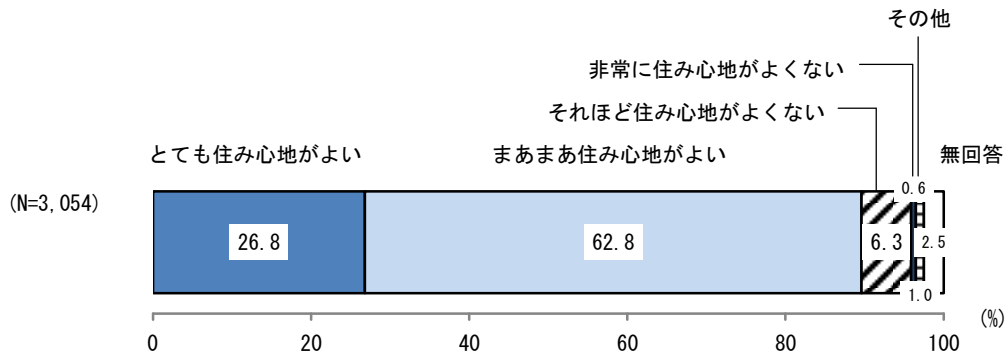
【世帯構成別 住まい】

	回答者数 (N)	持家（一戸建て）	持家（分譲マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）	高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅） （ホームなど）	公営住宅	社宅・官舎	間借・住み込み	その他	無回答
単身世帯（ひとり暮らし）	582	45.7	12.0	4.8	18.6	1.7	9.1	0.7	0.5	3.1	3.8
一世代（夫婦のみ）	1,267	72.1	11.8	3.9	3.8	0.2	5.4	0.5	0.1	1.2	1.2
一世代（兄弟姉妹のみ）	32	65.6	9.4	12.5	3.1	0	6.3	0	0	3.1	0
二世帯同居（あなたと親）	78	78.2	2.6	5.1	5.1	0	2.6	0	0	5.1	1.3
二世帯同居（あなたと子）	744	76.3	7.9	4.8	3.2	0.1	3.4	0.4	0.4	1.3	2.0
三世帯同居（あなたと子と孫）	195	89.2	4.1	2.1	2.6	0.5	0	0	0	0.5	1.0
三世帯同居（あなたと親と子）	38	86.8	0	5.3	0	0	0	0	0	5.3	2.6
その他	41	34.1	7.3	4.9	7.3	12.2	9.8	0	2.4	17.1	4.9

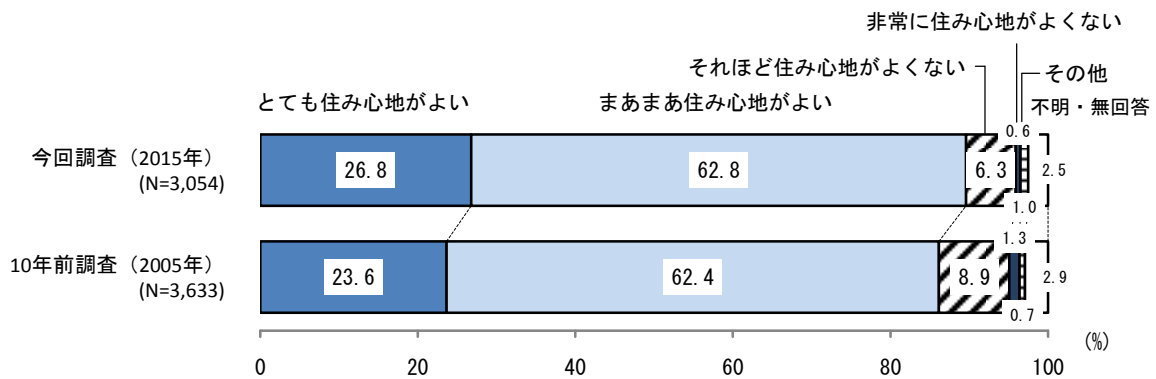
〔２〕居住地域の住み心地

問16-1 あなたにとって、あなたが今、お住まいの地域（中学校区の範囲程度）の住み心地はどうか。（○は1つ）

居住地域の住み心地については、「まあまあ住み心地がよい」が62.8%と最も多く、次いで、「とても住み心地がよい」が26.8%、「それほど住み心地がよくない」が6.3%となっています。経年的には、大きな傾向の変化は見られません。



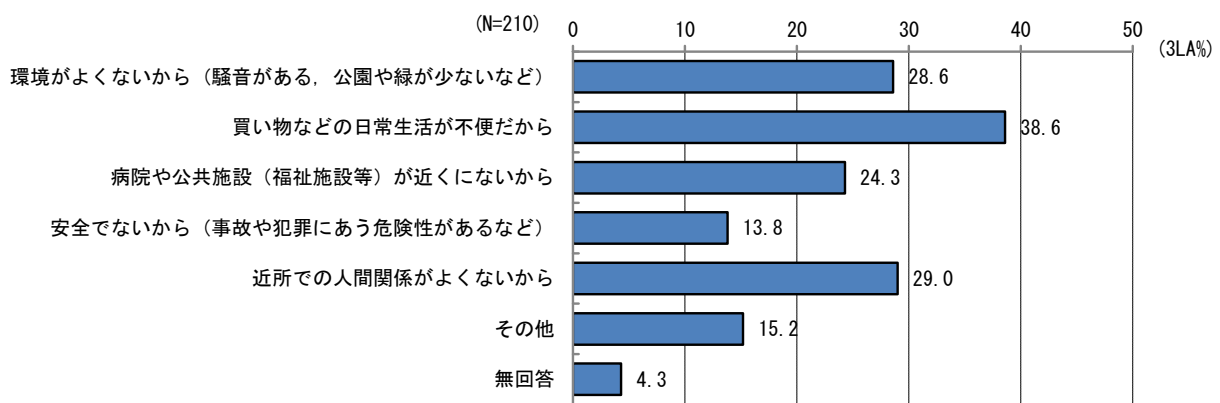
【経年比較】



〔3〕 住み心地がよくない理由

《問16-1で「それほど住み心地がよくない」または「非常に住み心地がよくない」を選択された方のみ》
 問16-2 上記問16-1で「それほど住み心地がよくない」、「非常に住み心地がよくない」とお答えの方にお聞きします。「住み心地がよくない」主な理由は何ですか。
 (〇は3つまで)

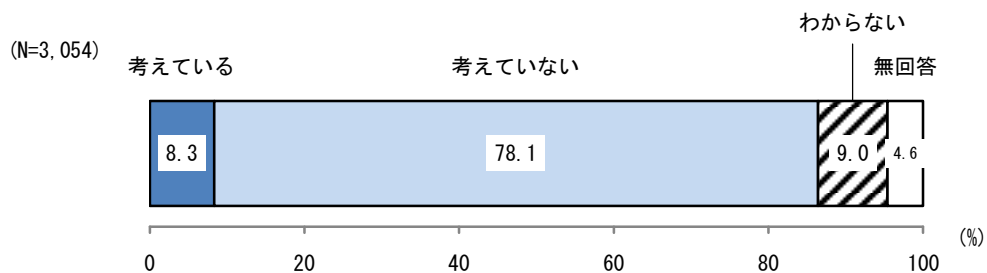
住み心地がよくない理由については、「買い物などの日常生活が不便だから」が38.6%と最も多く、次いで、「近所での人間関係がよくないから」が29.0%、「環境がよくないから（騒音がある、公園や緑が少ないなど）」が28.6%となっています。



〔4〕 住み替えの意向

問17-1 あなたは、今のお住まいからの住み替えを考えていますか。(〇は1つ)

住み替えの意向については、「考えている」が8.3%、「考えていない」が78.1%、「わからない」が9.0%となっています。



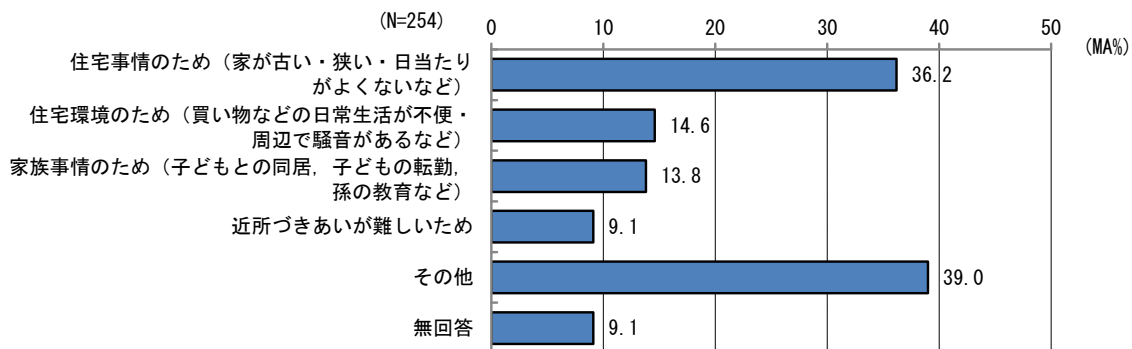
〔５〕 住み替えを考える理由・希望地域

《問17-1で「考えている」を選択された方のみ》

問17-2 上記問17-1で「考えている」とお答えの方にお聞きします。

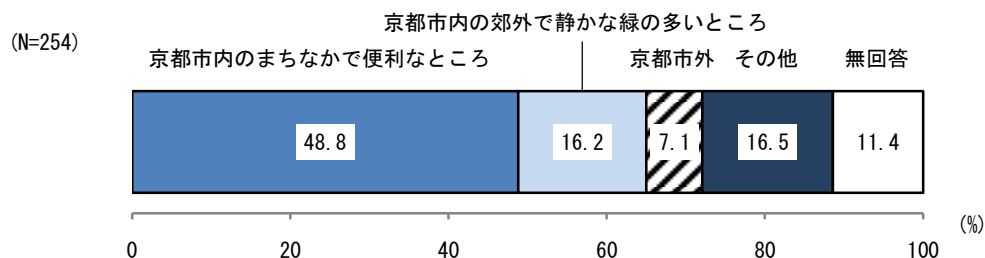
○ 住み替えを考えている理由は何でしょうか。（あてはまるもの全てに○）

住み替えを考えている理由については、「住宅事情のため（家が古い・狭い・日当たりがよくないなど）」が36.2%と最も多く、次いで、「住宅環境のため（買い物などの日常生活が不便・周辺で騒音があるなど）」が14.6%、「家族事情のため（子どもとの同居，子どもの転勤，孫の教育など）」が13.8%となっています。また、「その他」は39.0%となっています。



○ 住み替えはどのような地域を希望しますか。（○は1つ）

住み替えを希望する地域は、「京都市内のまちなかで便利なところ」が48.8%と最も多く、次いで、「京都市内の郊外で静かな緑の多いところ」が16.2%、「京都市外」が7.1%となっています。



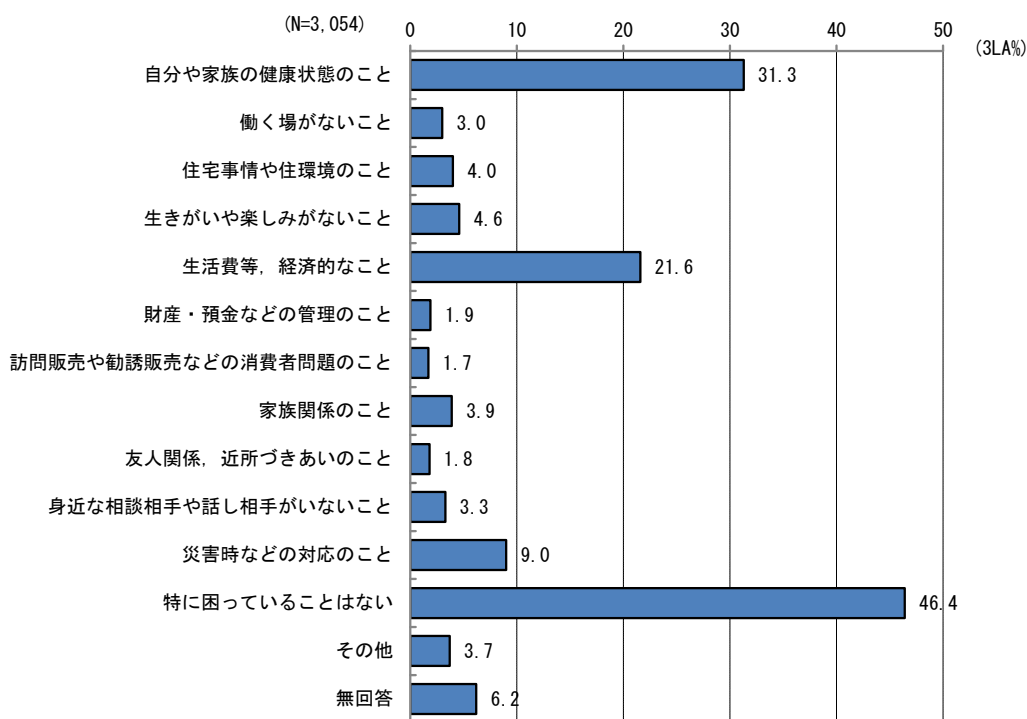
6 生活の困りごと・相談相手について

〔1〕困っていることの有無

問18 あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。(〇は3つまで)

今の生活で困っていることについては、「特に困っていることはない」が46.4%と最も多く、次いで、「自分や家族の健康状態のこと」が31.3%、「生活費等、経済的なこと」が21.6%となっています。

健康状態別でみると、「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」では、「特に困っていることはない」が最も多くなっています。一方、「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」以外では、「自分や家族の健康状態のこと」が最も多くなっています。



【健康状態別 困っていることの有無】

健康状態	回答者数 (N)	(3LA%)													
		自分や家族の健康状態のこと	働く場がないこと	住宅事情や住環境のこと	生きがいや楽しみがないこと	生活費等、経済的なこと	財産・預金などの管理のこと	訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと	家族関係のこと	友人関係、近所づきあいのこと	身近な相談相手や話し相手がないこと	災害時などの対応のこと	特に困っていることはない	その他	無回答
大した病気や障害などもなく、普通に生活している	1,659	20.0	3.1	3.0	2.1	16.7	1.6	1.1	3.4	1.7	1.9	6.6	58.6	3.7	5.6
何らかの病気や障害などがあるが、日常生活はほぼ自分でできるし、外出も一人できる	1,046	43.6	3.7	5.4	6.6	28.6	2.5	2.5	4.8	1.9	4.9	11.1	34.2	4.0	5.4
何らかの病気や障害などがあって、外出は一人できないが、家の中の生活はおおむね自分でやっている	173	55.5	0	5.8	12.7	23.7	1.7	2.3	5.2	3.5	5.2	17.3	26.0	2.9	6.4
何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド(ふとん)の上で生活している	104	46.2	1.0	4.8	9.6	26.0	1.9	1.9	2.9	1.0	5.8	16.3	20.2	3.8	12.5

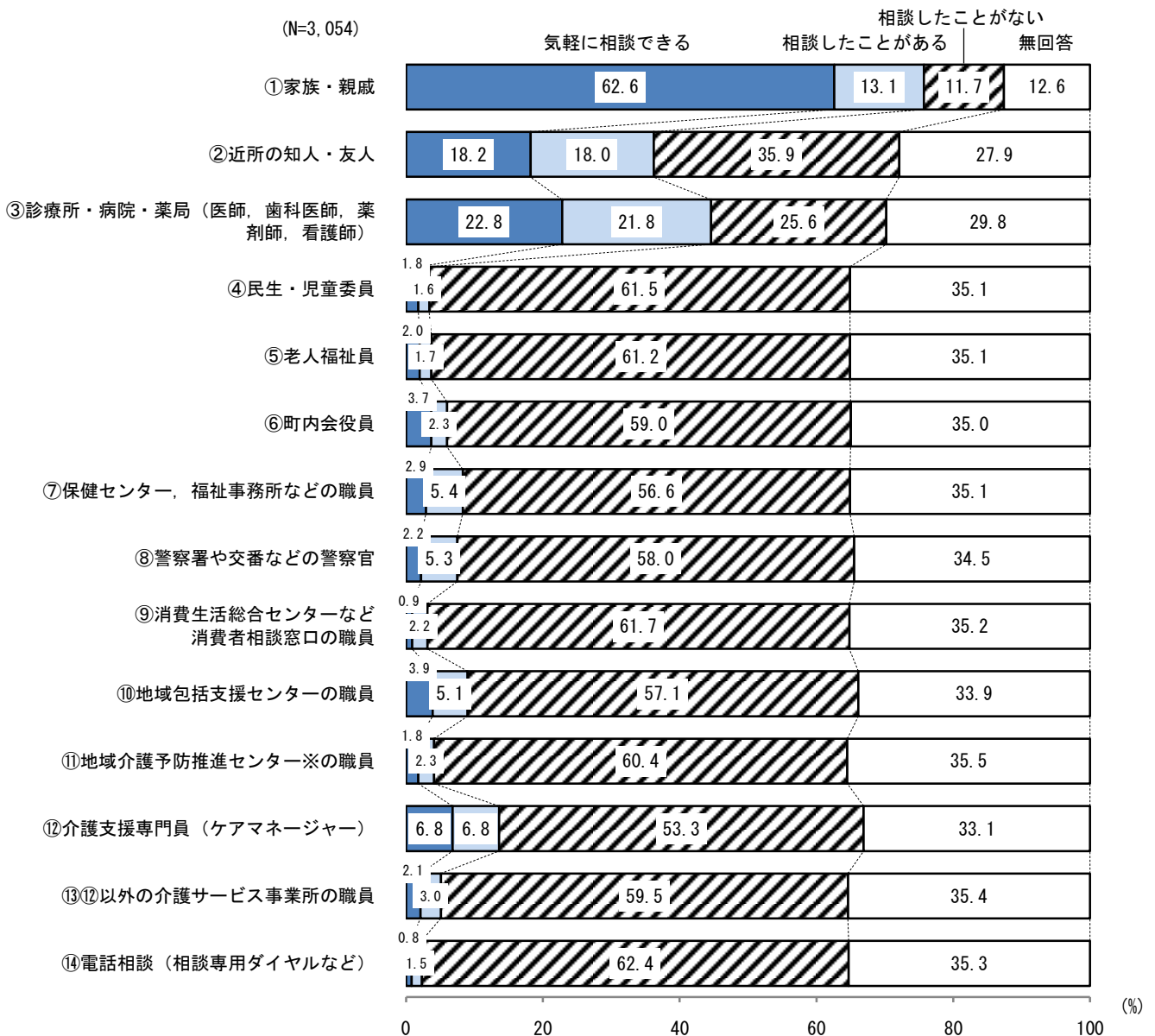
〔２〕相談相手

問19 あなたに悩みや心配ごとがある場合、相談できる相手はどのような人ですか。
 (①～⑭のそれぞれについて 1, 2, 3 のどれか1つに○)

※地域介護予防推進センターは、65歳以上の方を対象に、市民の皆様が介護を必要とせずいつまでも元気に暮らせるよう、介護予防の普及推進を図っています。

悩みや心配ごとがある場合、「気軽に相談できる」は、「①家族・親戚」が62.6%と最も多く、次いで、「③診療所・病院・薬局（医師，歯科医師，薬剤師，看護師）」が22.8%、「②近所の知人・友人」が18.2%となっています。

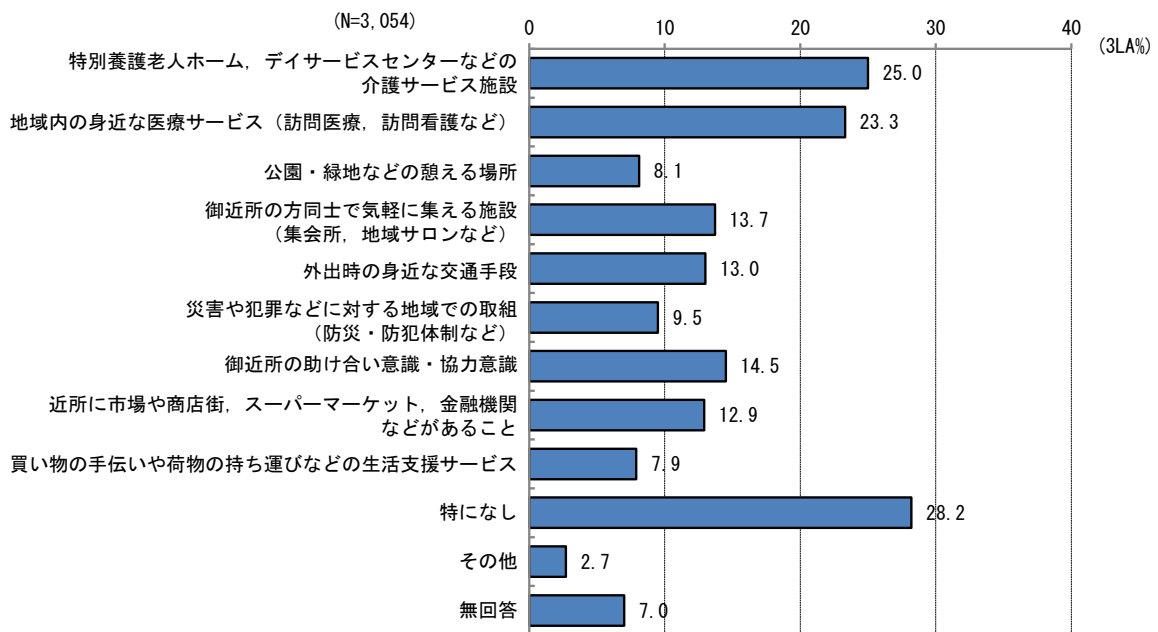
「相談したことがある」は、「③診療所・病院・薬局（医師，歯科医師，薬剤師，看護師）」が21.8%と最も多く、次いで、「②近所の知人・友人」が18.0%、「①家族・親戚」が13.1%となっています。「相談したことがない」は、①，②，③以外、すべて50%を超えています。



〔３〕現在の居住地域で生活していく上で、今後必要だと感じること

問20 あなたは、今お住まいの地域（中学校区の範囲程度）で生活していく上で、今後、必要とお感じのことは何ですか。（〇は3つまで）

現在の居住地域で生活していく上で、今後、必要と感じることについては、「特になし」が28.2%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの介護サービス施設」が25.0%、「地域内の身近な医療サービス（訪問医療、訪問看護など）」が23.3%、「特になし」が23.3%となっています。

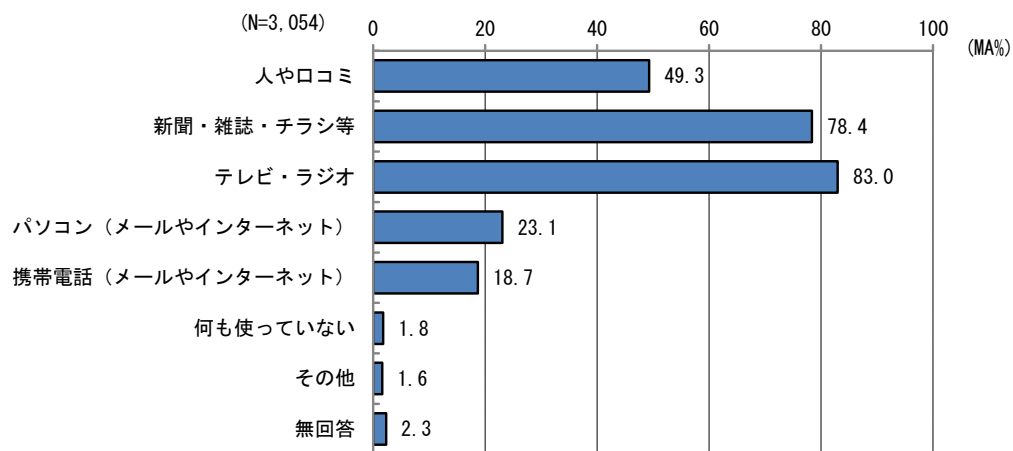


7 情報入手について

〔1〕生活に必要な情報をどのようなものから得ているか

問21 あなたは、ふだん生活に必要な情報をどのようなものから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

生活に必要な情報をどのようなものから得ているかについては、「テレビ・ラジオ」が83.0%と最も多く、次いで、「新聞・雑誌・チラシ等」が78.4%、「人や口コミ」が49.3%となっています。

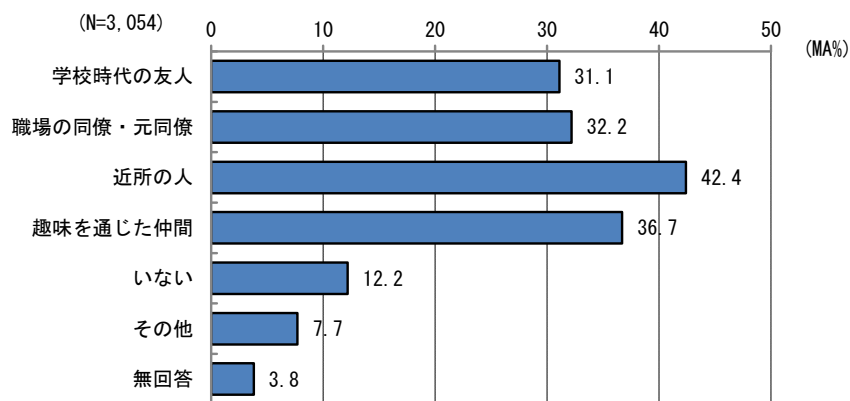


8 友人関係・社会参加活動・生きがい活動について

〔1〕ふだん親しくしている友人・仲間について

問22 あなたが、ふだん親しくしている友人・仲間はどのような方ですか。
(あてはまるものすべてに○)

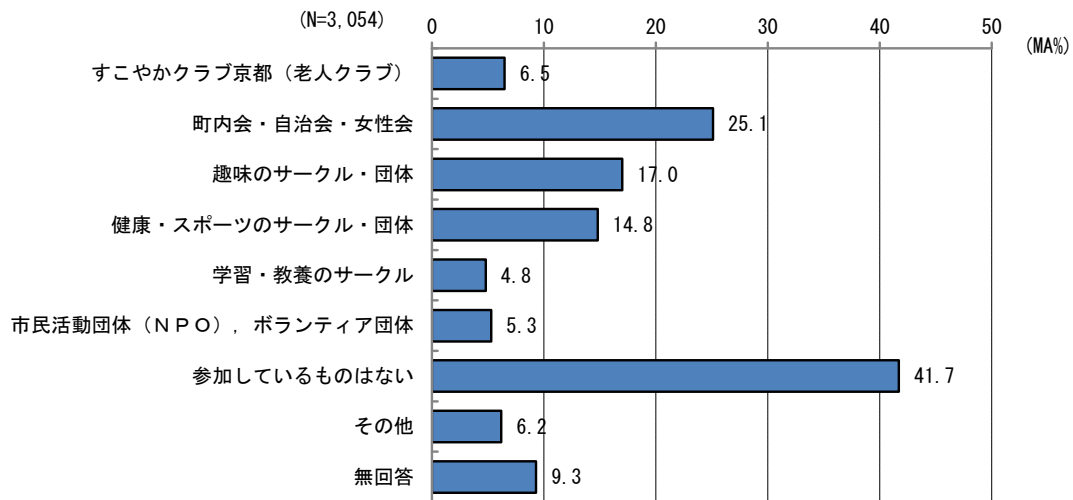
ふだん親しくしている友人・仲間については、「近所の人」が42.4%と最も多く、次いで、「趣味を通じた仲間」が36.7%、「職場の同僚・元同僚」が32.2%となっています。



〔２〕現在参加している団体や組織の有無

問23 あなたは、現在参加している団体や組織はありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

現在参加している団体や組織の有無については、「参加しているものはない」が 41.7%と最も多く、次いで、「町内会・自治会・女性会」が 25.1%、「趣味のサークル・団体」が 17.0%となっています。

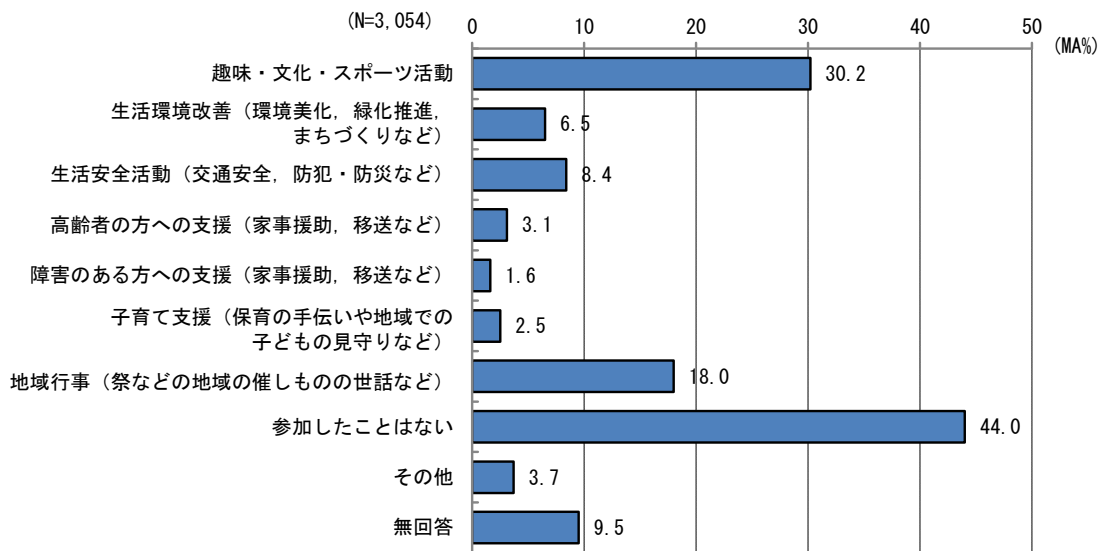


〔3〕 過去1年間における活動への参加状況

問24-1 あなたは、この1年間に、個人又は友人、あるいはグループで自主的に
行われている次のような活動に参加したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

過去1年間における活動への参加状況については、「参加したことはない」が44.0%と最も多く、次いで、「趣味・文化・スポーツ活動」が30.2%、「地域行事（祭などの地域の催しものの世話など）」が18.0%となっています。

年齢別でみると、すべての年齢層で「参加したことはない」が最も多くなっています。なお、「趣味・文化・スポーツ活動」、「地域行事（祭などの地域の催しものの世話など）」は、概ね年齢が上がるほど少なくなる傾向が見られます。



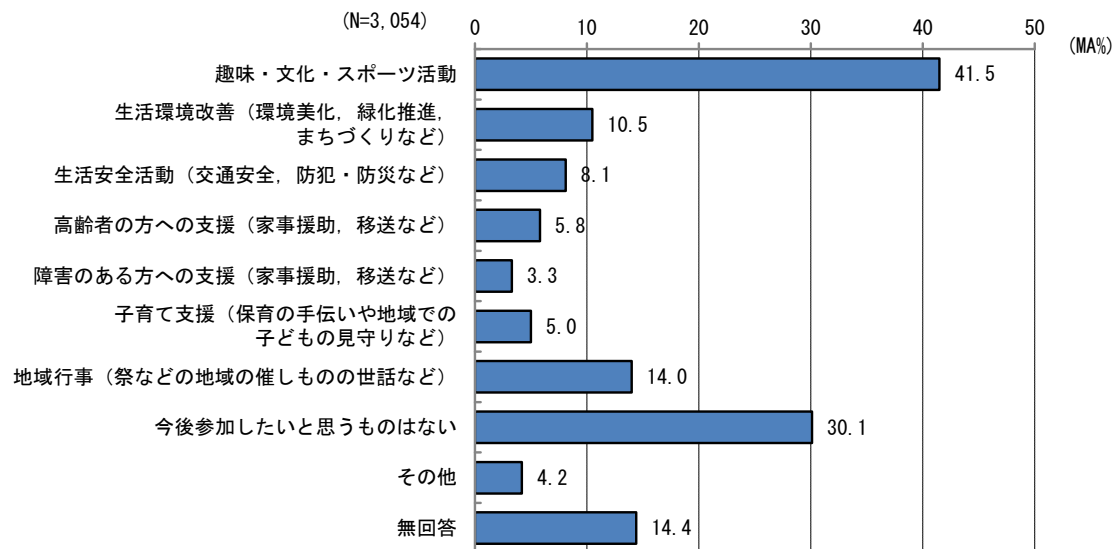
【年齢別 過去1年間における活動への参加状況】

	回答者数 (N)	趣味・文化・スポーツ活動	生活環境改善（環境美化，緑化推進，まちづくりなど）	生活安全活動（交通安全，防犯・防災など）	高齢者の方への支援（家事援助，移送など）	障害のある方への支援（家事援助，移送など）	子育て支援（保育の手伝いや地域での子どもの見守りなど）	地域行事（祭などの地域の催しものの世話など）	参加したことはない	その他	無回答
60～64歳	496	29.4	5.6	5.6	2.8	2.6	1.8	21.8	47.0	2.8	4.6
65～69歳	713	33.2	6.9	10.0	3.2	1.5	3.4	20.8	47.7	2.7	3.8
70～74歳	599	34.9	8.7	10.0	4.2	1.8	3.2	20.5	40.7	3.8	5.8
75～79歳	534	33.7	7.5	11.4	3.2	1.9	2.2	17.6	37.5	4.1	12.7
80～84歳	388	26.5	5.4	7.0	2.1	0.8	1.5	13.9	41.2	3.6	17.0
85歳以上	297	13.5	2.4	2.7	2.7	0.3	1.7	7.4	52.9	6.7	21.5

〔４〕活動への参加意向

問24-2 あなたは、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に、今後参加したいと思うものはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

今後参加したいと思う活動については、「趣味・文化・スポーツ活動」が41.5%と最も多く、次いで、「今後参加したいと思うものはない」が30.1%、「地域行事（祭などの地域の催しものの世話など）」が14.0%となっています。



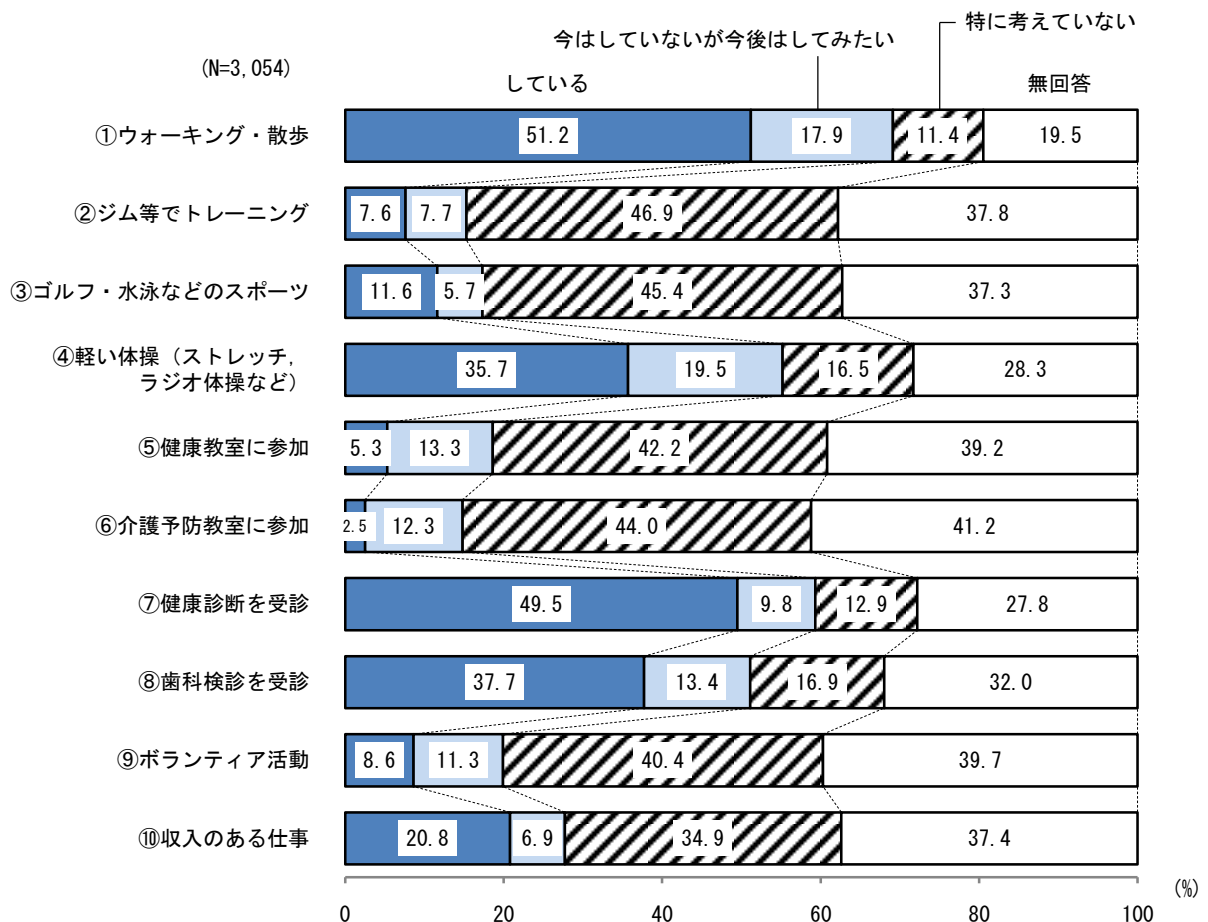
9 健康づくりや介護予防, 見守りについて

〔1〕健康づくりや介護予防のためにしていること

問25 あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことをしていますか。
 (①～⑩のそれぞれについて 1, 2, 3 のどれか1つに○)

健康づくりや介護予防のためにしていることは、「①ウォーキング・散歩」が 51.2%と最も多く、次いで、「⑦健康診断を受診」が 49.5%、「⑧歯科検診を受診」が 37.7%となっています。

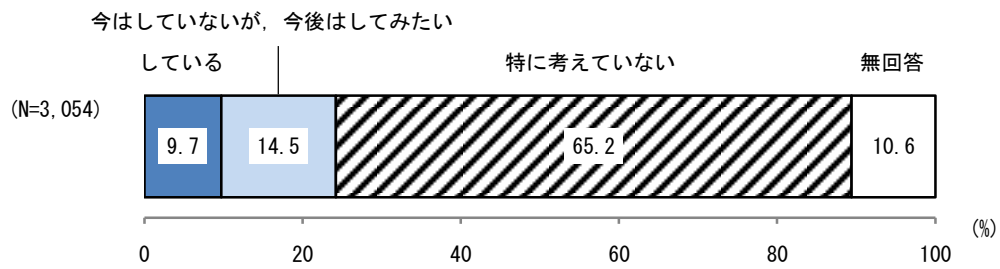
今はしていないが今後はしてみたいことは、「④軽い体操（ストレッチ、ラジオ体操など）」が 19.5%と最も多く、次いで、「①ウォーキング・散歩」が 17.9%、「⑧歯科検診を受診」が 13.4%となっています。一方、「②ジム等でトレーニング」「③ゴルフ・水泳などのスポーツ」「⑤健康教室に参加」「⑥介護予防教室に参加」「⑨ボランティア活動」は、「特に考えていない」が、いずれも 40%を超えています。



〔２〕 地域の高齢者の見守りをしているか

問26 あなたは、地域の高齢者の見守り（安否確認や話し相手等）をしていますか。
（○は1つ）

地域の高齢者の見守りをしているかについては、「特に考えていない」が65.2%と最も多く、次いで、「今はしていないが、今後はしてみたい」が14.5%、「している」が9.7%となっています。



〔3〕 地域の方から見守りを受けたいか

問27-1 地域の方（民生・児童委員や御近所の方）から見守りを受けたいと思いますか。
（○は1つ）

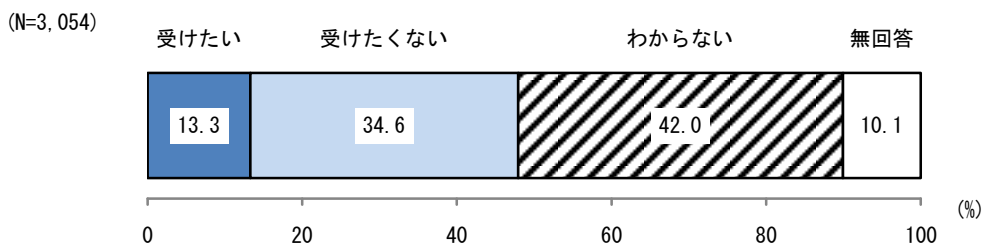
地域の方（民生・児童委員や御近所の方）から見守りを受けたいと思うかについては、「受けたい」が13.3%、「受けたくない」が34.6%、「わからない」が42.0%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「受けたい」が多くなり、80歳以上では20%を超えています。一方で、「無回答」も年齢が上がるほど多くなっています。

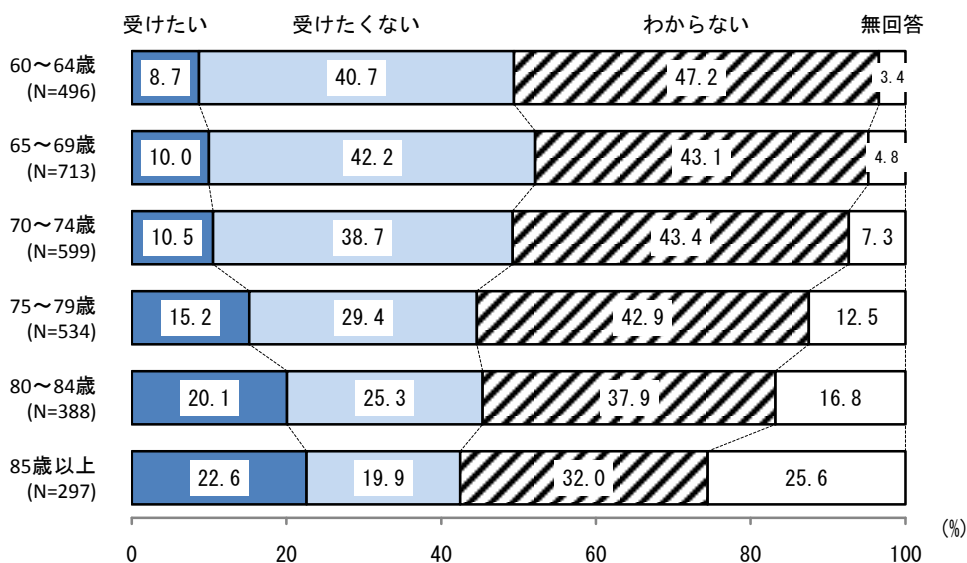
世帯構成別でみると、「受けたい」は、「単身世帯（ひとり暮らし）」で21.5%と、他の世帯構成に比べて多くなっています。

子の居住地域別でみると、「受けたくない」は、「同じ区内」、「京都市内」、「京都市を除く京都府下」に比べて、「近畿圏内」、「首都圏内」で多くなっています。

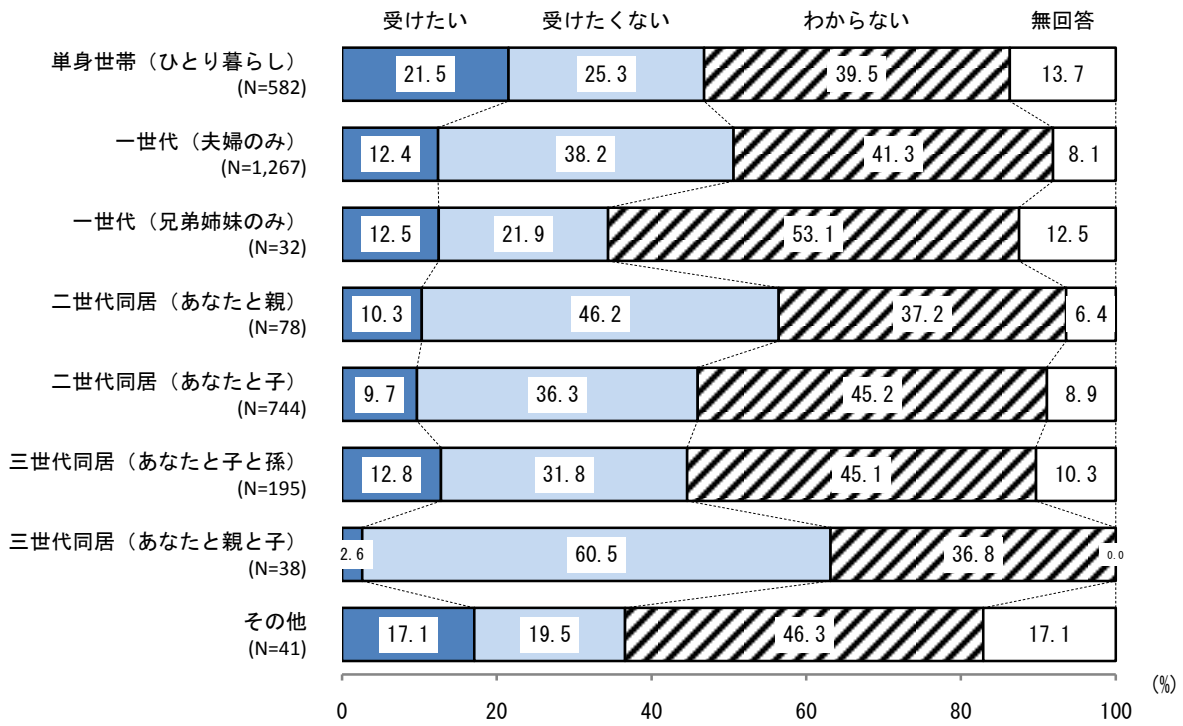
健康状態別でみると、「受けたくない」は、健康状態が低下するほど少なくなっています。一方で、「無回答」は健康状態が低下するほど多くなっています。



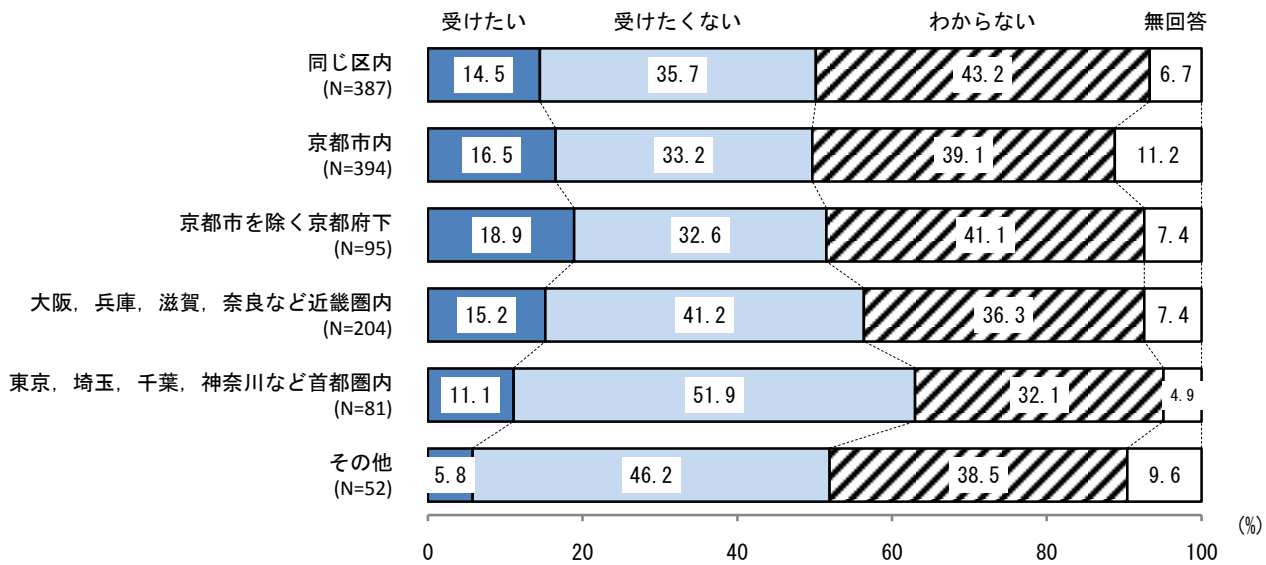
【年齢別 地域の方から見守りを受けたいか】



【世帯構成別 地域の方から見守りを受けたいか】

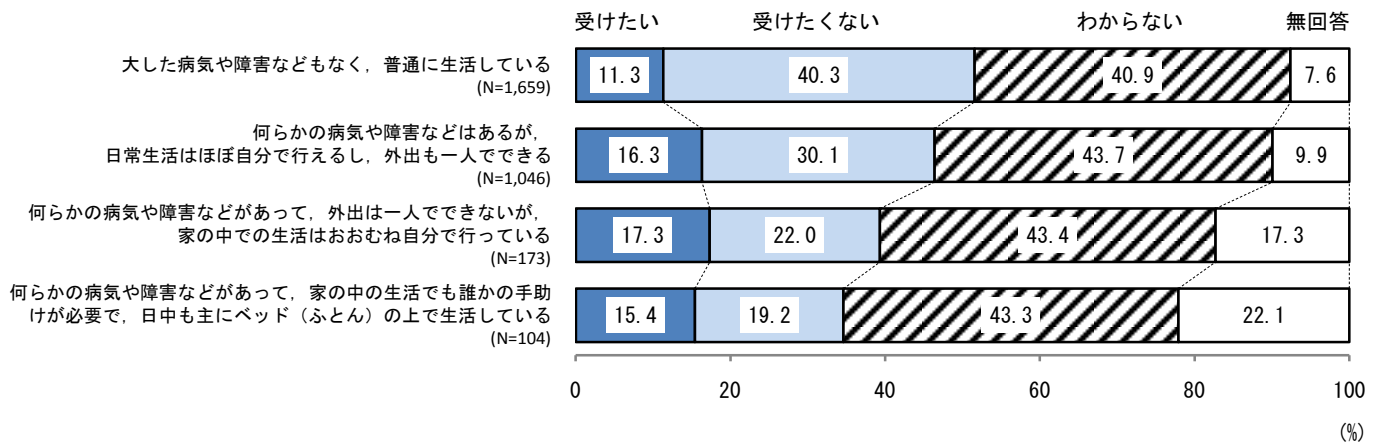


【子の居住地域別 地域の方から見守りを受けたいか】



Ⅱ－１．高齢者生活実態調査

【健康状態別 地域の方から見守りを受けたいか】



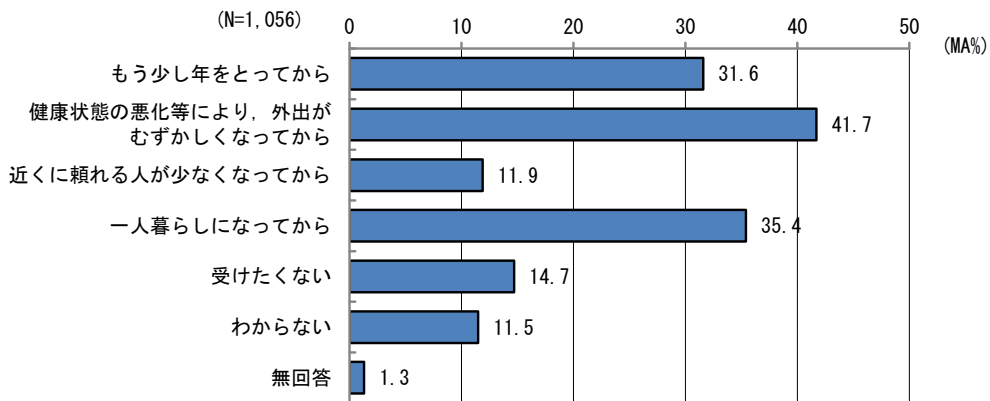
〔４〕今後、どういふ状況になったら見守りを受けたいか

《問27-1で「受けたくない」を選択された方のみ》
 問27-2 今後、どういふ状況になったら、地域の方の見守りを受けたいと思いますか。
 （あてはまるものすべてに○）

今後、どういふ状況になったら見守りを受けたいかについては、「健康状態の悪化等により、外出がむずかしくなつてから」が41.7%と最も多く、次いで、「一人暮らしになつてから」が35.4%、「もう少し年をとつてから」が31.6%となっています。

年齢別でみると、75歳未満の各年齢層では「健康状態の悪化等により、外出がむずかしくなつてから」がそれぞれ40%を、また、80歳未満の各年齢層では「一人暮らしになつてから」がそれぞれ30%を超えています。また、「85歳以上」では「受けたくない」が30.5%と最も多くなっています。

健康状態別でみると、「大した病気や障害などもなく、普通に生活している」、「何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える」では、「健康状態の悪化等により、外出がむずかしくなつてから」がそれぞれ40%を、また、「もう少し年をとつてから」がそれぞれ20%を超えており、他の健康状態に比べて多くなっています。



【年齢別 今後、どういふ状況になったら見守りを受けたいか】

	回答者数 (N)	(MA%)						
		もう少し年をとつてから	健康状態の悪化等により、外出がむずかしくなつてから	近くに頼れる人が少なくなつてから	一人暮らしになつてから	受けたくない	わからない	無回答
60～64歳	202	34.7	47.0	10.9	35.1	13.9	9.4	1.0
65～69歳	301	37.5	40.9	14.0	39.5	13.0	12.6	0
70～74歳	232	36.2	48.3	12.5	40.1	10.3	9.9	0.9
75～79歳	157	27.4	38.9	9.6	31.8	13.4	14.0	0.6
80～84歳	98	17.3	34.7	12.2	28.6	22.4	11.2	4.1
85歳以上	59	8.5	22.0	10.2	20.3	30.5	13.6	8.5

II - 1. 高齢者生活実態調査

【健康状態別 今後、どういう状況になったら見守りを受けたいか】

(MA%)

	回答者数 (N)	もう少し年をとってから	健康状態の悪化等により、外出がむずかしくなってから	近くに頼れる人が少なくなつてから	一人暮らしになつてから	受けたくない	わからない	無回答
大した病気や障害などもなく、普通に生活している	668	35.0	42.1	12.6	35.6	13.8	11.1	1.0
何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人できる	315	29.5	44.4	11.1	34.3	14.6	11.7	1.3
何らかの病気や障害などがあって、外出は一人できないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている	38	7.9	23.7	7.9	39.5	15.8	13.2	7.9
何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している	20	5.0	20.0	10.0	35.0	35.0	10.0	0

〔５〕一人暮らしの場合、若しくは、今後、一人暮らしになった時に、地域包括支援センター職員による訪問を受けたいと思うか

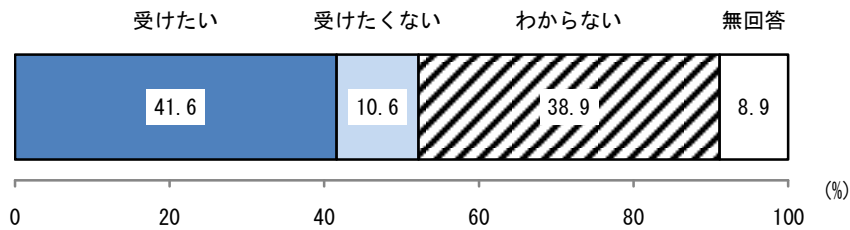
問28-1 65歳以上の一人暮らし高齢者世帯を、地域包括支援センター（京都市が運営を委託している公的な相談窓口）の職員が日常生活での困りごと等の相談に応じるとともに、御希望に応じて民生・児童委員等による日ごろの見守りにつなげるための訪問活動をしています。一人暮らしの場合、若しくは、今後一人暮らしになった時、訪問を受けたいと思いますか。（○は1つ）

一人暮らしの場合、若しくは、今後、一人暮らしになった時に、地域包括支援センター職員による訪問を受けたいと思うかについては、「受けたい」が41.6%と最も多く、次いで「わからない」が38.9%、「受けたくない」が10.6%、となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「無回答」が多くなっています。なお、84歳までの各年齢層では、大きな傾向の違いは見られません。

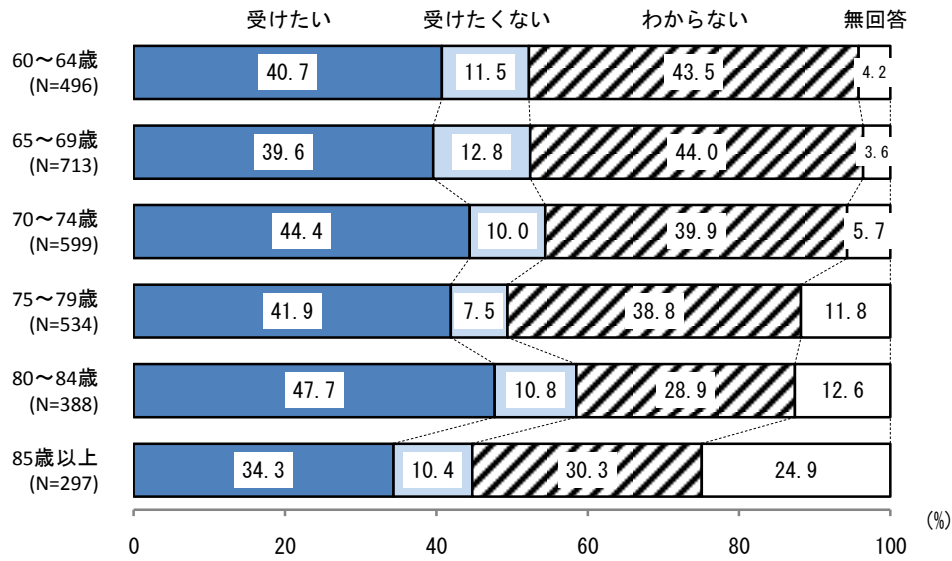
健康状態別でみると、健康状態が低下するほど「無回答」が多くなっています。なお、「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している」以外の各健康状態では、大きな傾向の違いは見られません。

(N=3,054)

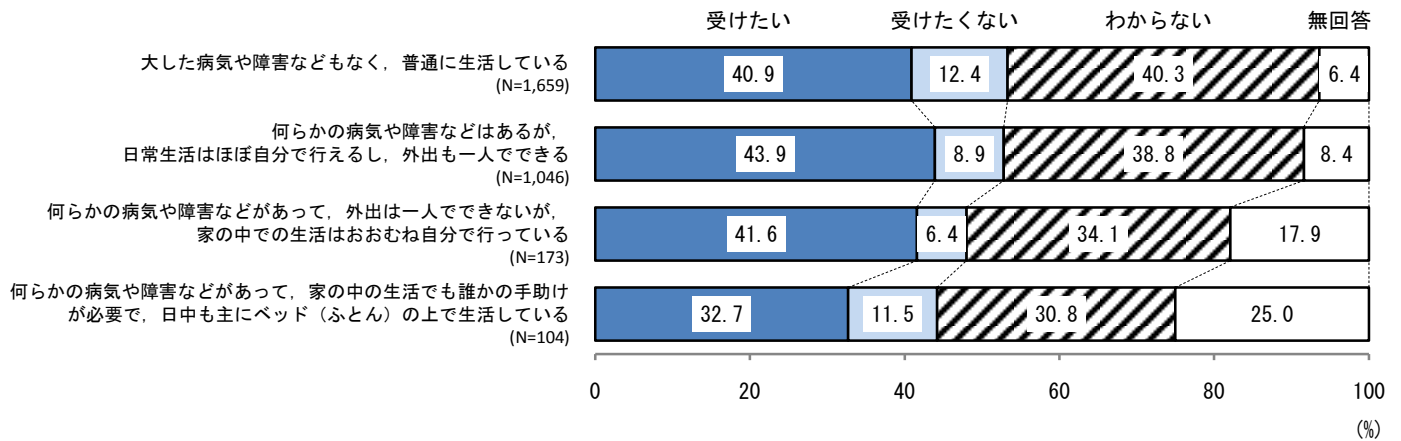


II-1. 高齢者生活実態調査

【年齢別 一人暮らしの場合、若しくは、今後、一人暮らしになった時に、職員訪問を受けたいと思うか】



【健康状態別 一人暮らしの場合、若しくは、今後、一人暮らしになった時に、職員訪問を受けたいと思うか】

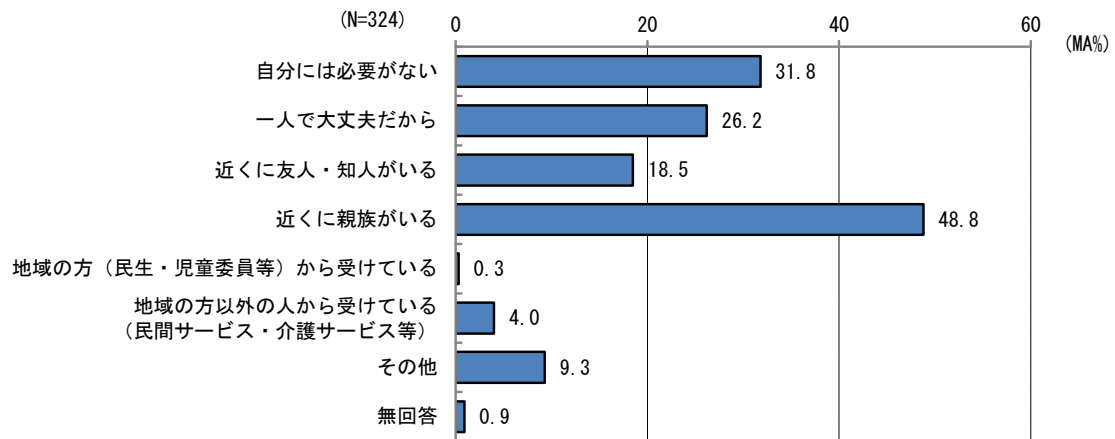


〔６〕職員訪問を受けたくない理由

《問28-1で「受けたくない」を選択された方のみ》

問28-2 受けたくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

職員訪問を受けたくない理由については、「近くに親族がいる」が48.8%と最も多く、次いで、「自分には必要がない」が31.8%、「一人で大丈夫だから」が26.2%となっています。



10 在宅医療等について

〔1〕かかりつけ医の有無

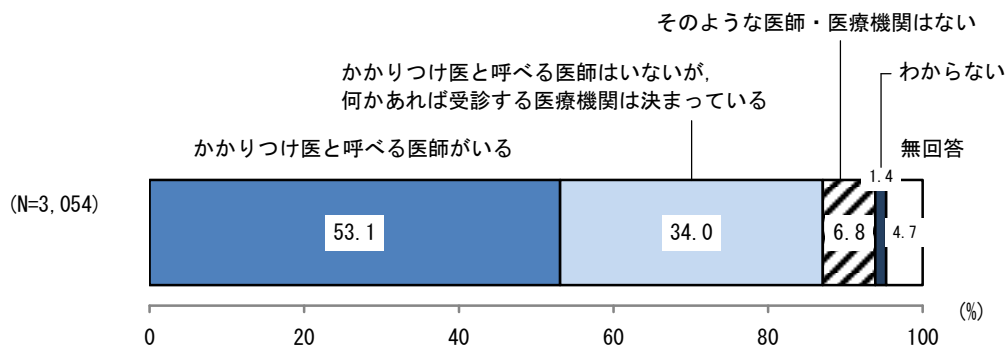
問29 あなたには、気軽に相談でき、何かあれば診療を受ける、決まった「かかりつけ医※」がいますか。（どれか1つに○）

※かかりつけ医とは、身近にあって、日常的に健康に関する相談ができ、また必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる医師のことを言います。

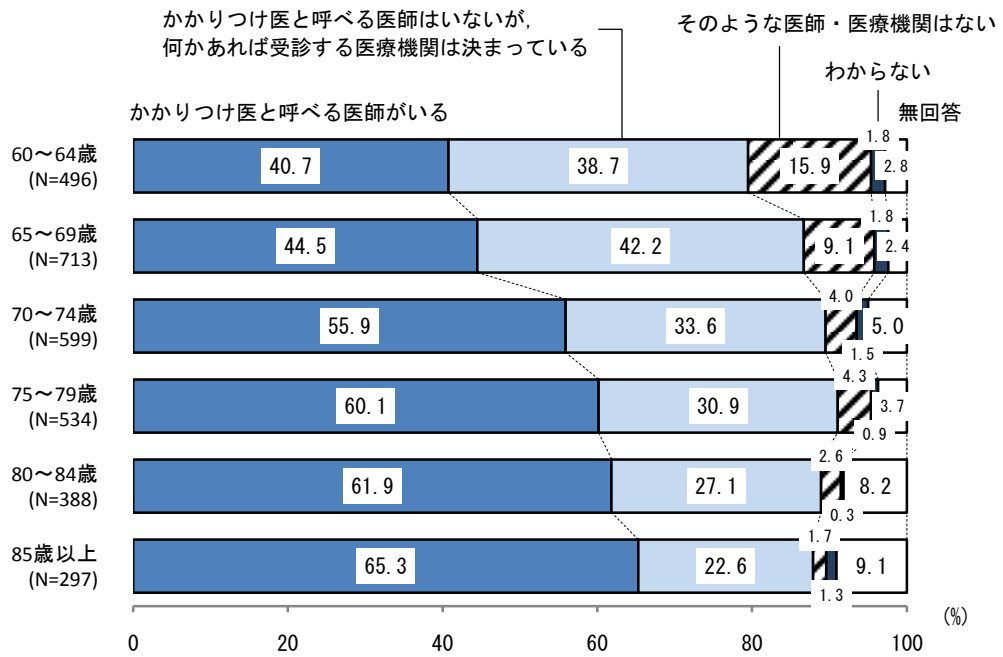
かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医と呼べる医師がいる」が53.1%と最も多く、次いで、「かかりつけ医と呼べる医師はいないが、何かあれば受診する医療機関は決まっている」が34.0%、「そのような医師・医療機関はない」が6.8%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど、「かかりつけ医と呼べる医師がいる」が多くなっています。

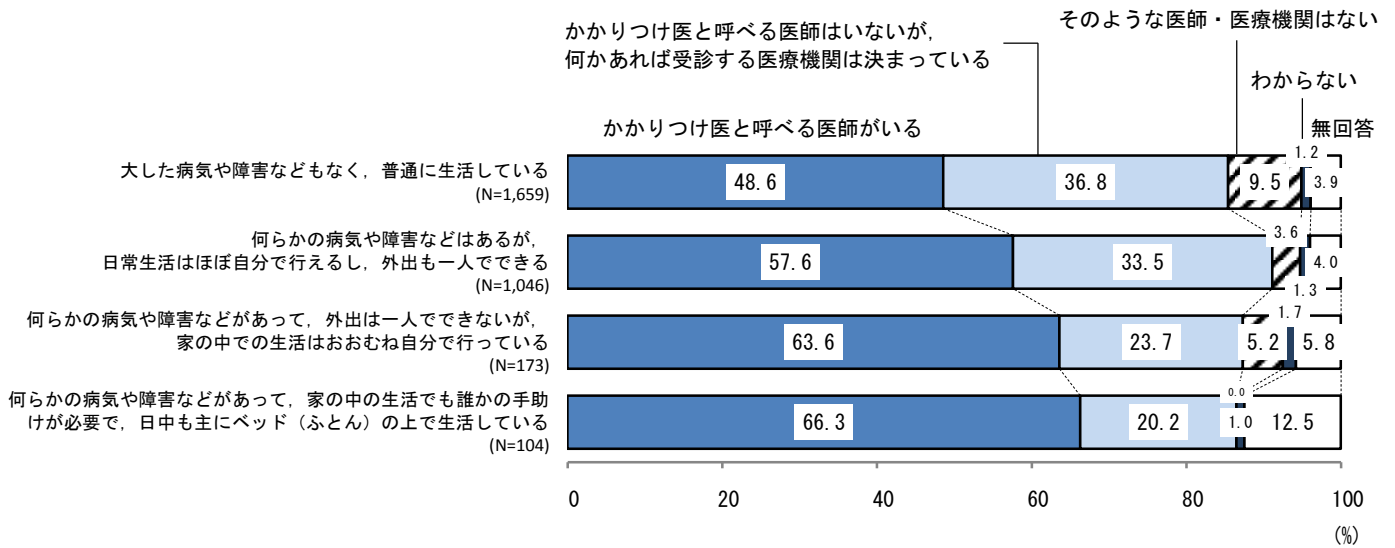
健康状態別でみると、健康状態が低下するほど、「かかりつけ医と呼べる医師がいる」が多くなっています。



【年齢別 かかりつけ医の有無】



【健康状態別 かかりつけ医の有無】



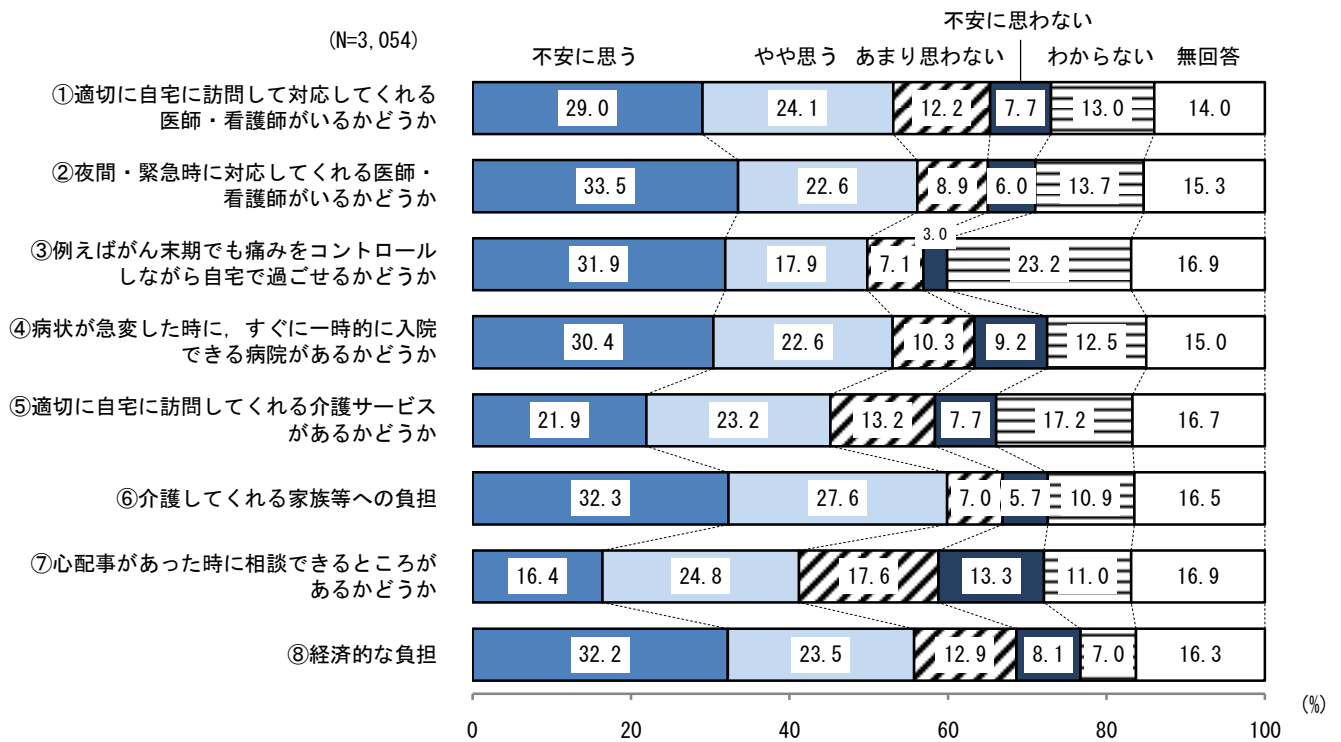
〔2〕 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

問30 もし、あなたが病気や老い等の理由で、自宅での療養を検討するとした場合、不安に思うことは何ですか。

(①～⑧のそれぞれについて 1, 2, 3, 4, 5 のどれか1つに○)

自宅での療養を検討する場合に不安に思うことについては、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「⑥介護してくれる家族等への負担」が 59.9%と最も多く、次いで、「②夜間・緊急時に対応してくれる医師・看護師がいるかどうか」が 56.1%、「⑧経済的な負担」が 55.7%となっています。

一方、「あまり思わない」と「不安に思わない」を合わせた割合は、「③例えばがん末期でも痛みをコントロールしながら自宅で過ごせるかどうか」が 10.1%と最も少なくなっています。また、「わからない」は、「③例えばがん末期でも痛みをコントロールしながら自宅で過ごせるかどうか」が 23.2%と最も多くなっています。



①適切に自宅に訪問して対応してくれる医師・看護師がいるかどうか

年齢別でみると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、「85歳以上」で30%を超えています。

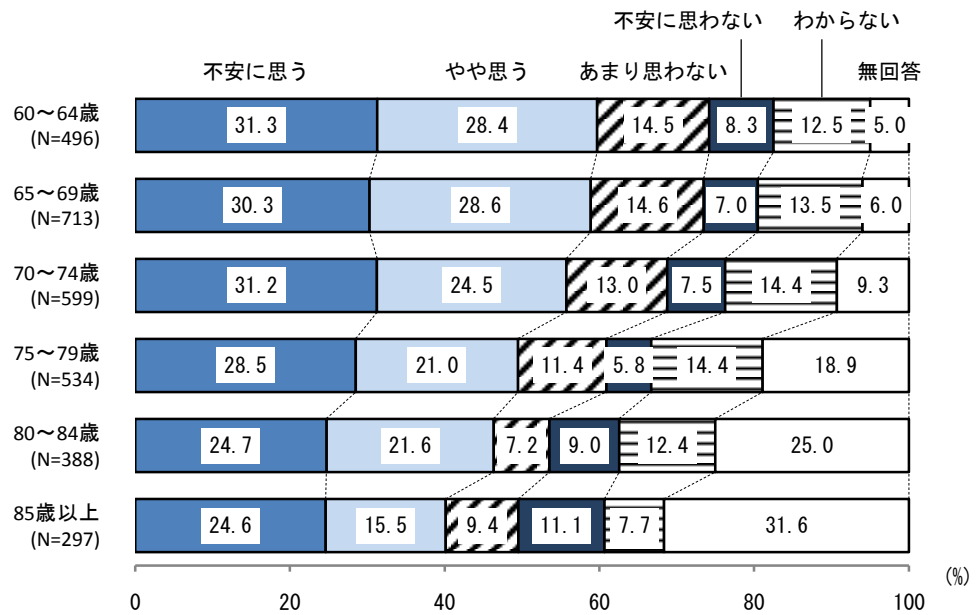
健康状態別でみると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は概ね少なくなる傾向が見られます。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなり、「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している」では約30%となっています。

持病の有無別でみると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「脳血管疾患」、「呼吸器系疾患」、「腎臓病」、「認知症」を除き50%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「腎臓病」が19.3%と最も多く、「無回答」は「認知症」が24.5%と最も多くなっています。

II-1. 高齢者生活実態調査

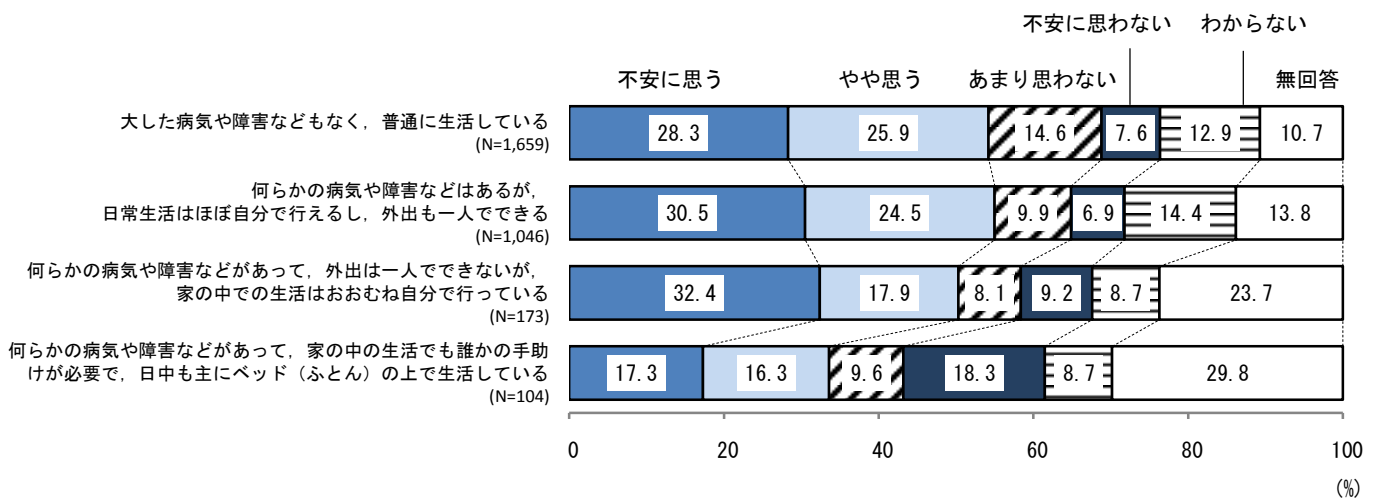
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

①適切に自宅に訪問して対応してくれる医師・看護師がいるかどうか



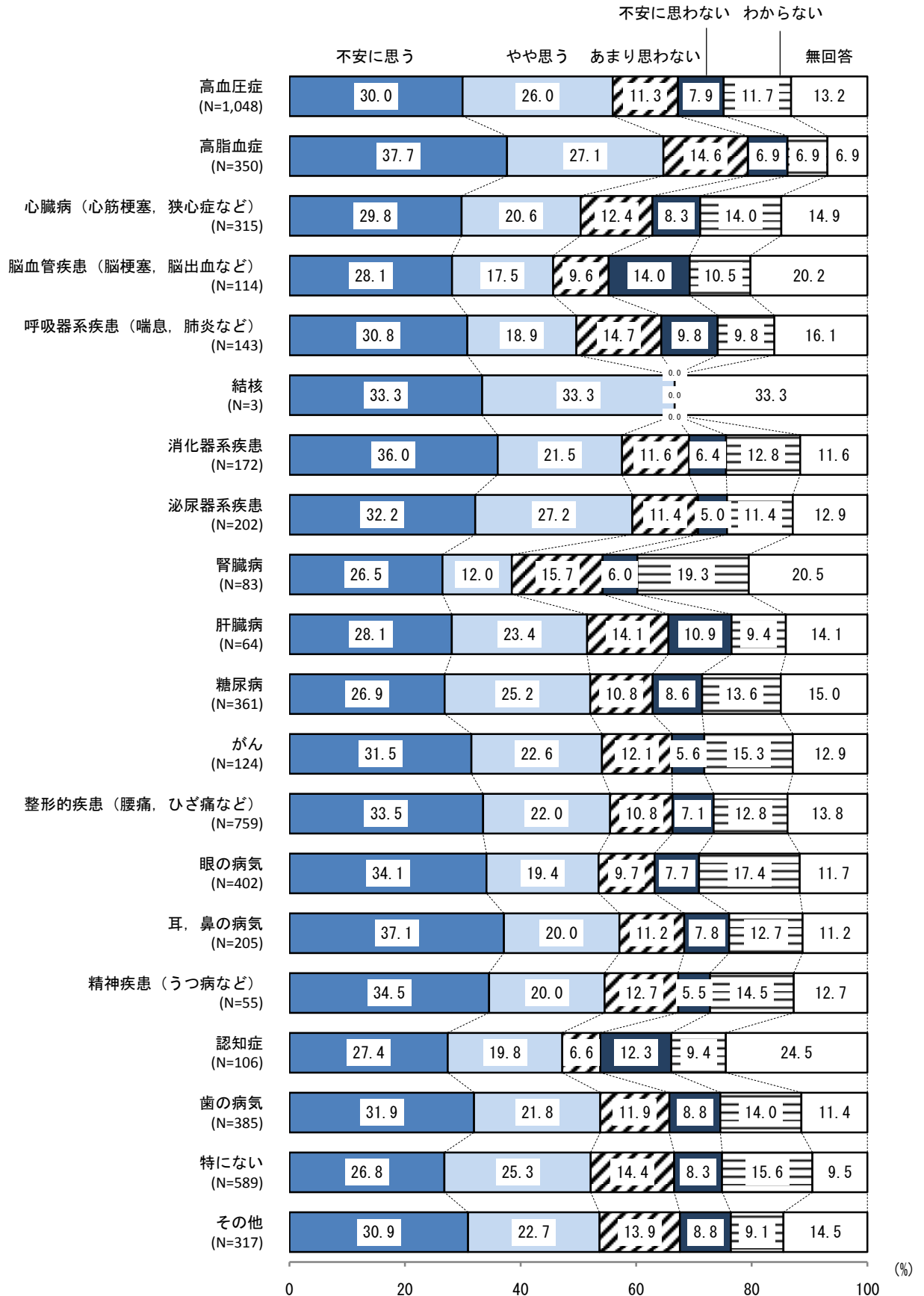
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

①適切に自宅に訪問して対応してくれる医師・看護師がいるかどうか



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

①適切に自宅に訪問して対応してくれる医師・看護師がいるかどうか



②夜間・緊急時に対応してくれる医師・看護師がいるかどうか

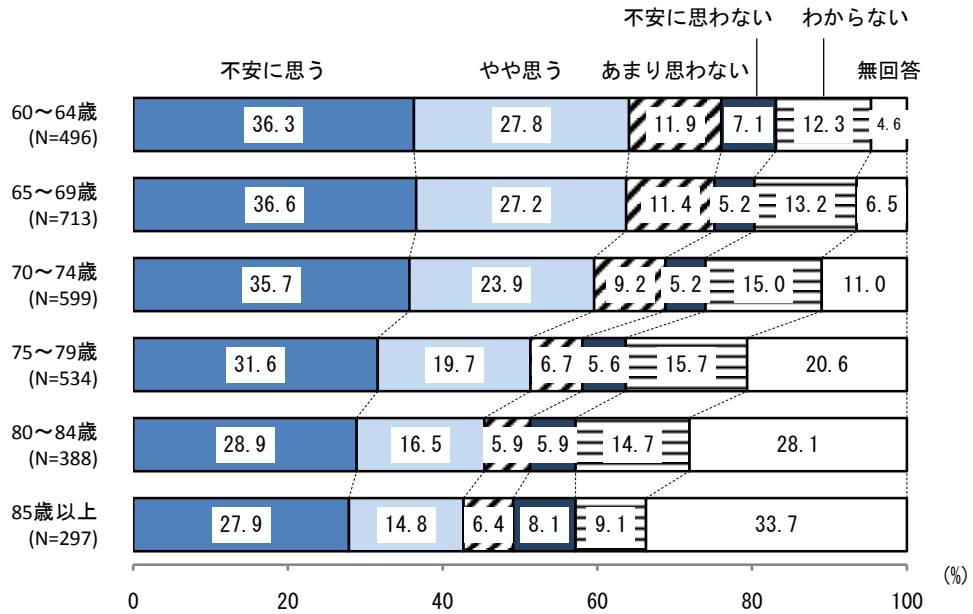
年齢別でみると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、「85歳以上」で30%を超えています。

健康状態別でみると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなり、「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド(ふとん)の上で生活している」では約30%となっています。

持病の有無別でみると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「脳血管疾患」、「呼吸器系疾患」、「腎臓病」を除き50%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「腎臓病」が20.5%と最も多く、「無回答」は「認知症」が23.6%と最も多くなっています。

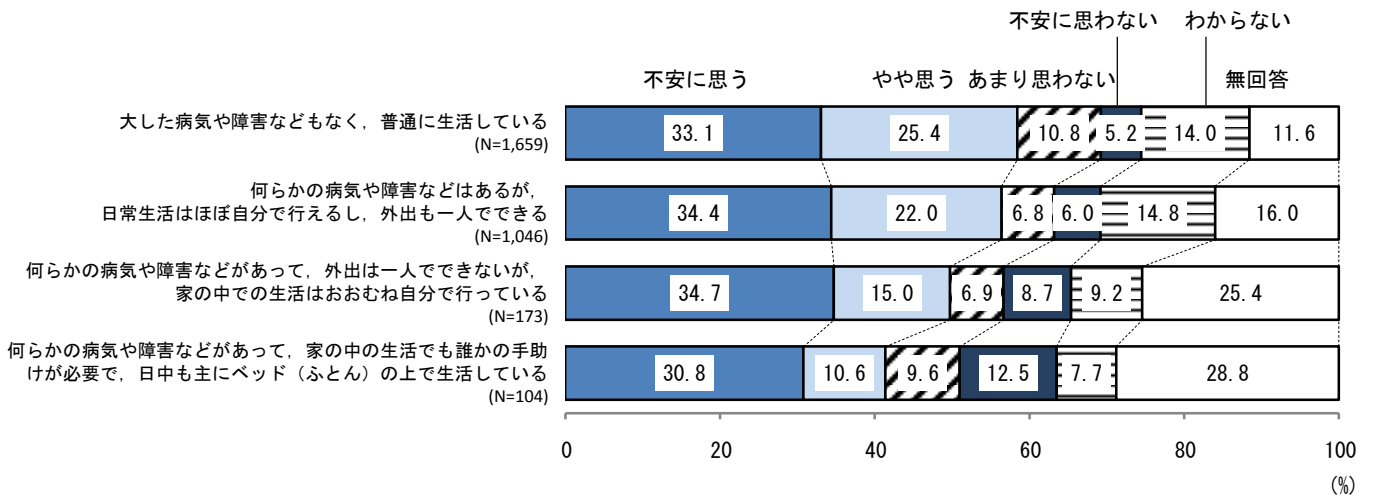
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

②夜間・緊急時に対応してくれる医師・看護師がいるかどうか



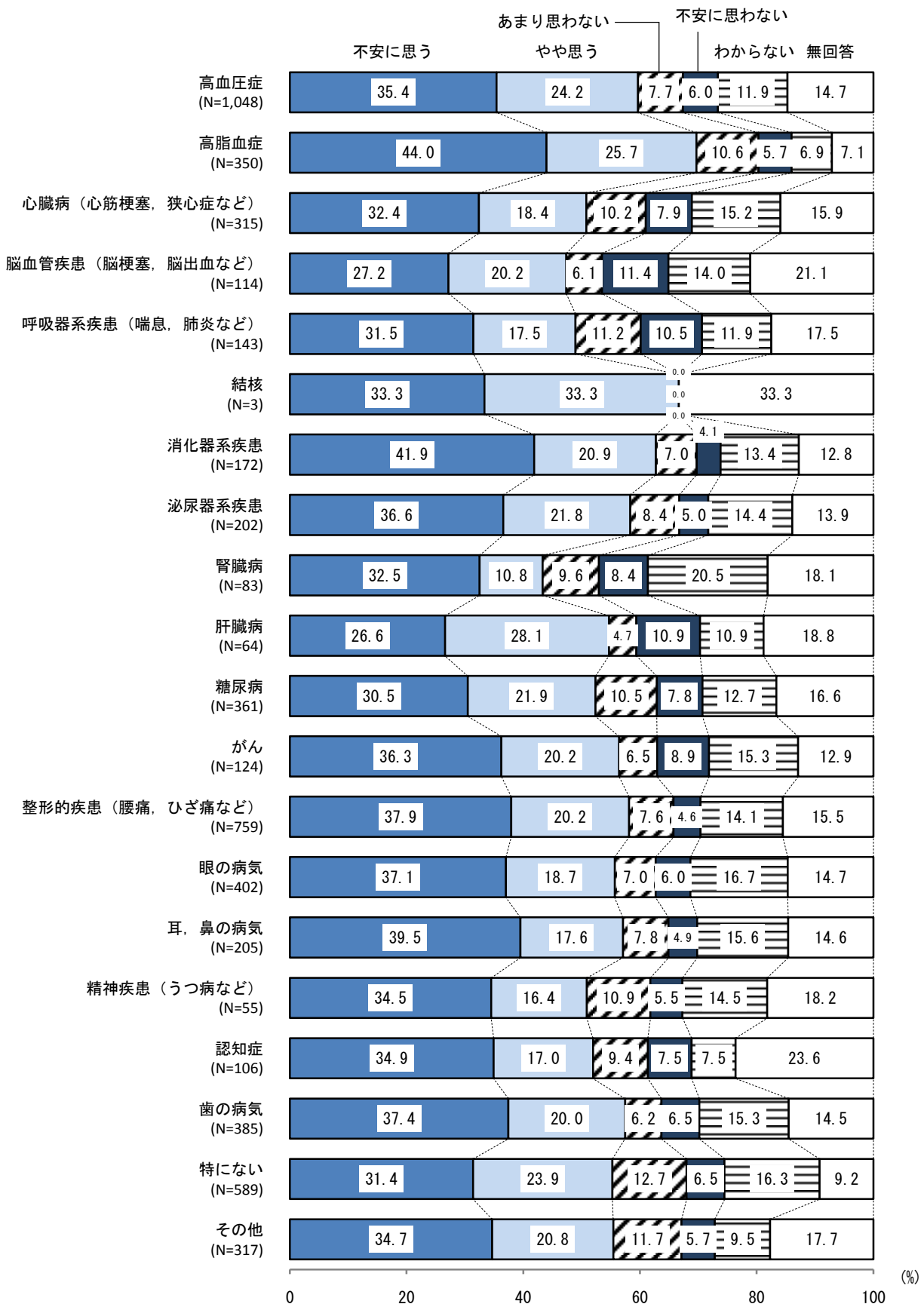
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

②夜間・緊急時に対応してくれる医師・看護師がいるかどうか



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

②夜間・緊急時に対応してくれる医師・看護師がいるかどうか】



③例えばがん末期でも痛みをコントロールしながら自宅で過ごせるかどうか

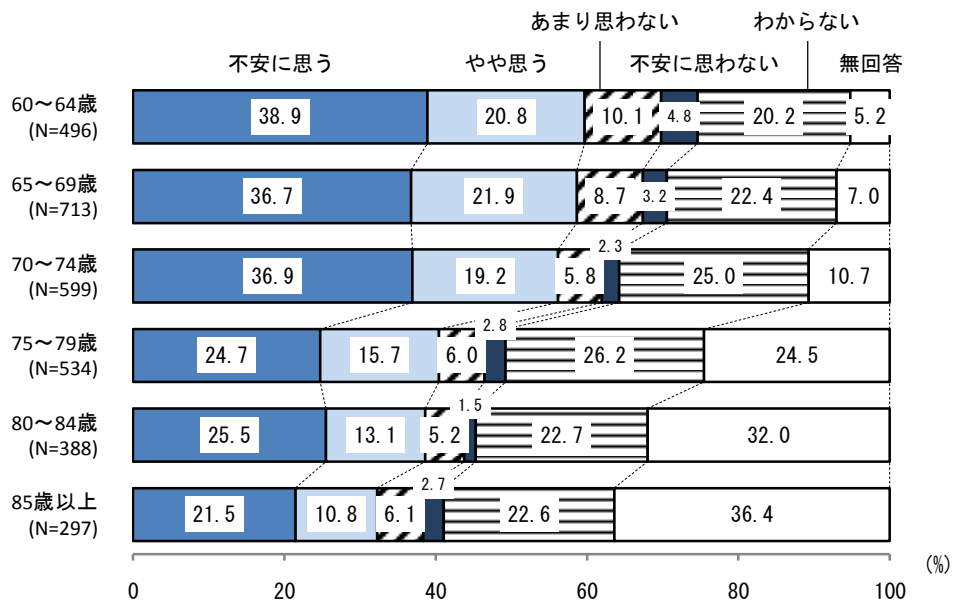
年齢別でみると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、80歳以上の各年齢層で、30%を超えています。

健康状態別でみると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなり、「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド(ふとん)の上で生活している」では約30%となっています。

持病の有無別でみると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「心臓病」、「脳血管疾患」、「呼吸器系疾患」、「結核」、「腎臓病」、「糖尿病」、「認知症」を除き50%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「腎臓病」が31.3%と最も多く、「無回答」は「認知症」が24.5%と最も多くなっています。

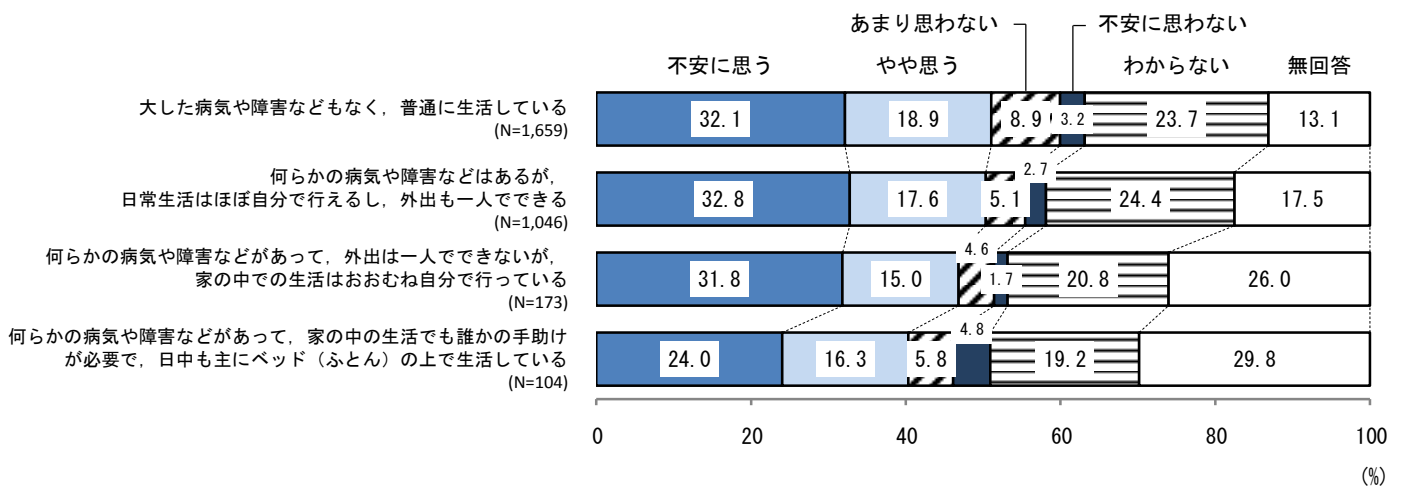
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

③例えばがん末期でも痛みをコントロールしながら自宅で過ごせるかどうか



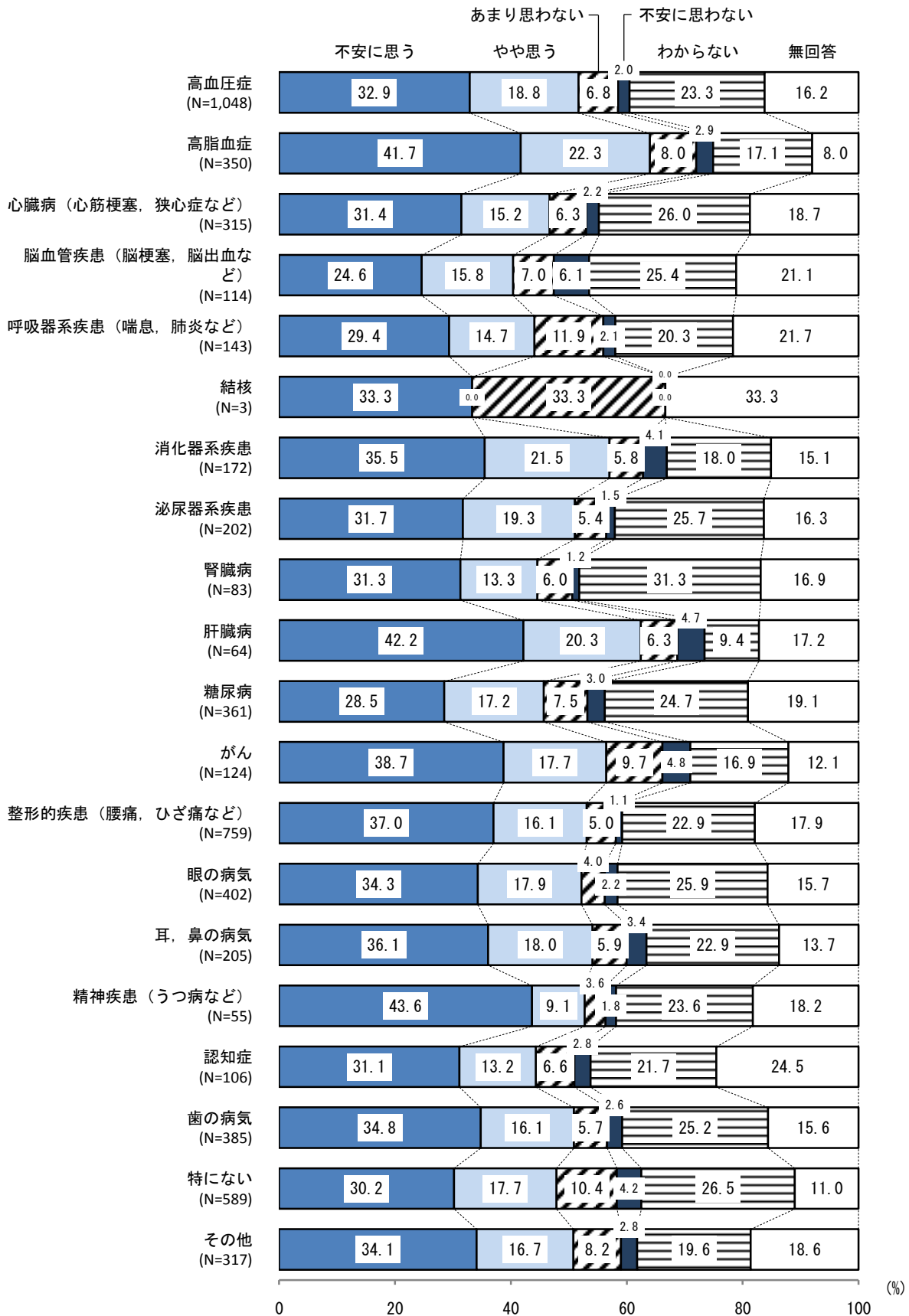
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

③例えばがん末期でも痛みをコントロールしながら自宅で過ごせるかどうか



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

③例えばがん末期でも痛みをコントロールしながら自宅で過ごせるかどうか



④病状が急変した時に、すぐに一時的に入院できる病院があるかどうか

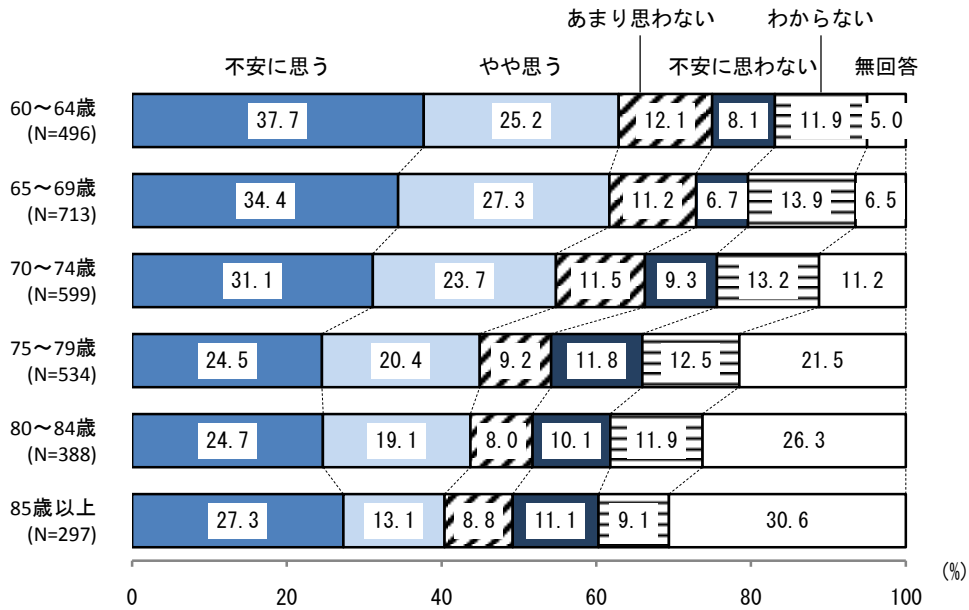
年齢別でみると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、「85歳以上」で30%を超えています。

健康状態別でみると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなり、「何らかの病気や障害などがあって、外出は一人でできないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている」と「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している」ではそれぞれ約4分の1となっています。

持病の有無別でみると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「心臓病」、「脳血管疾患」、「呼吸器系疾患」、「腎臓病」、「肝臓病」、「糖尿病」を除き50%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「特になし」が16.3%と最も多く、「無回答」は「認知症」が21.7%と最も多くなっています。

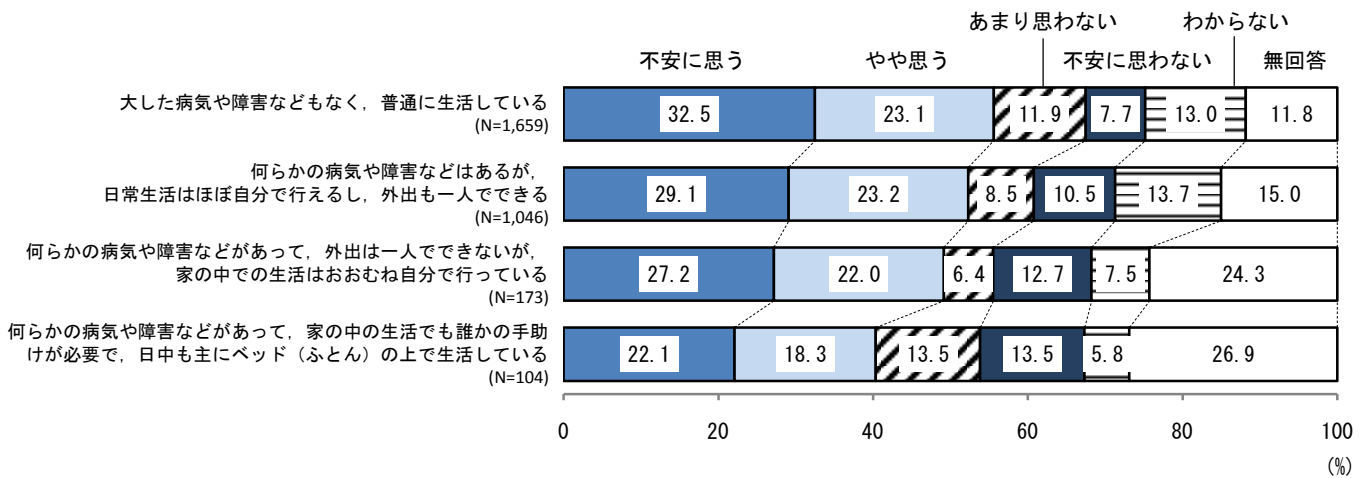
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

④病状が急変した時に、すぐに一時的に入院できる病院があるかどうか



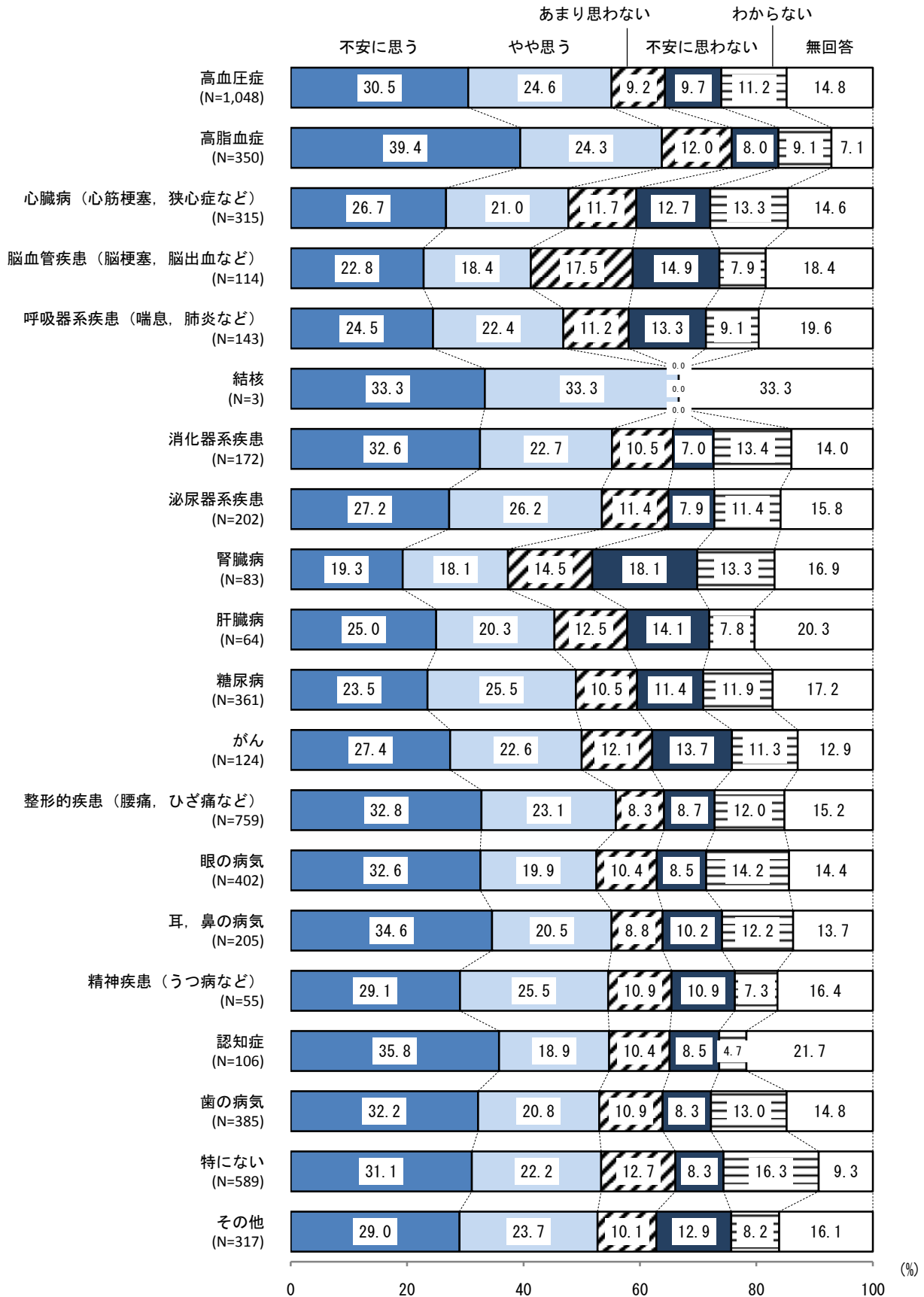
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

④病状が急変した時に、すぐに一時的に入院できる病院があるかどうか



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

④病状が急変した時に、すぐに一時的に入院できる病院があるかどうか



⑤適切に自宅に訪問してくれる介護サービスがあるかどうか

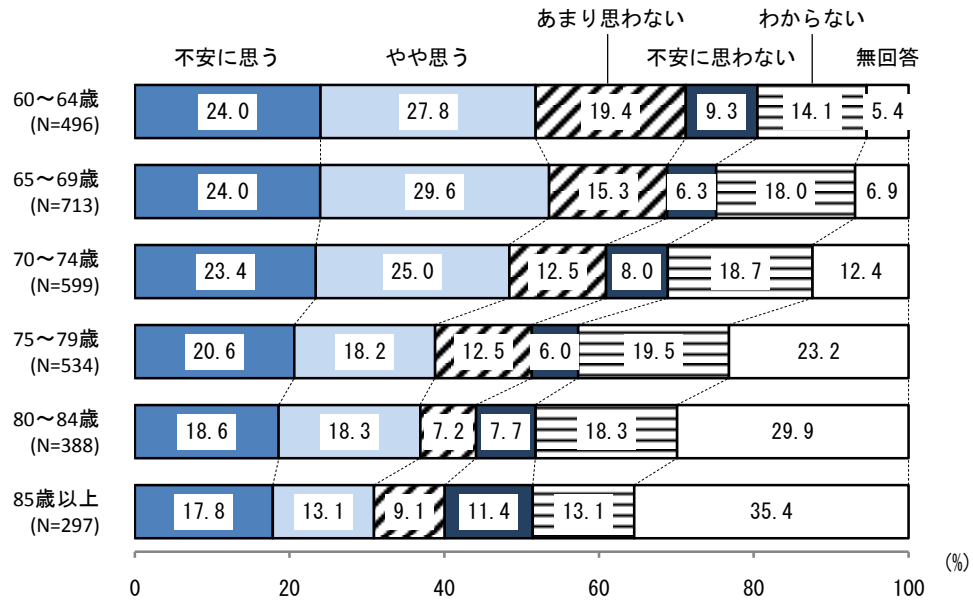
年齢別でみると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、「85歳以上」で30%を超えています。

健康状態別でみると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなり、「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド(ふとん)の上で生活している」では約30%となっています。

持病の有無別でみると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「脳血管疾患」、「腎臓病」、「肝臓病」、「がん」、「認知症」を除き40%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「腎臓病」が30.1%と最も多く、「無回答」は「肝臓病」が26.6%と最も多くなっています。

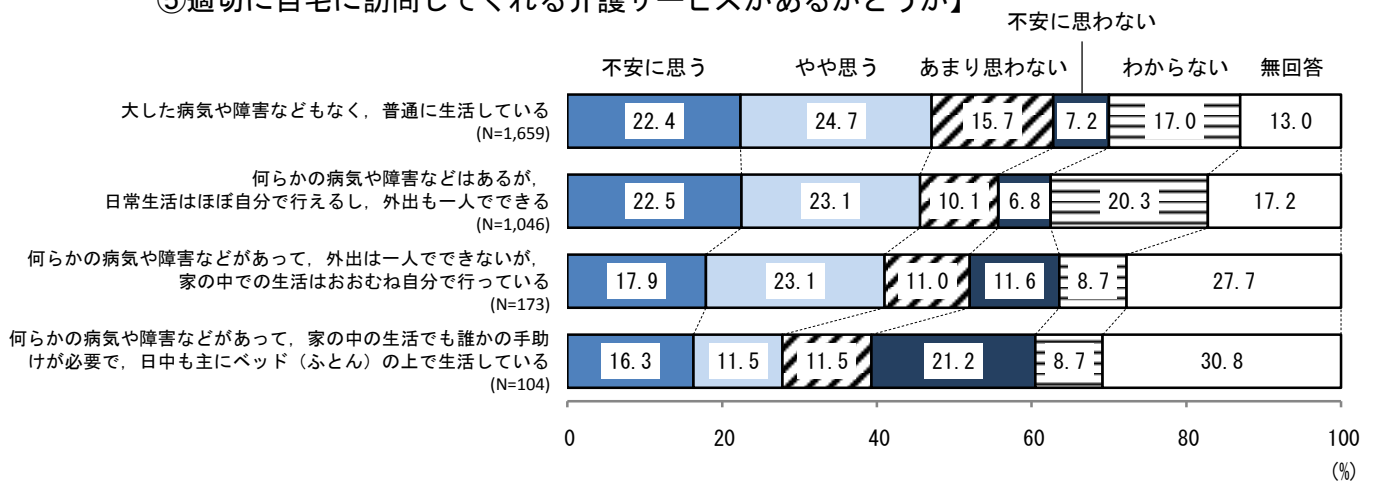
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑤適切に自宅に訪問してくれる介護サービスがあるかどうか



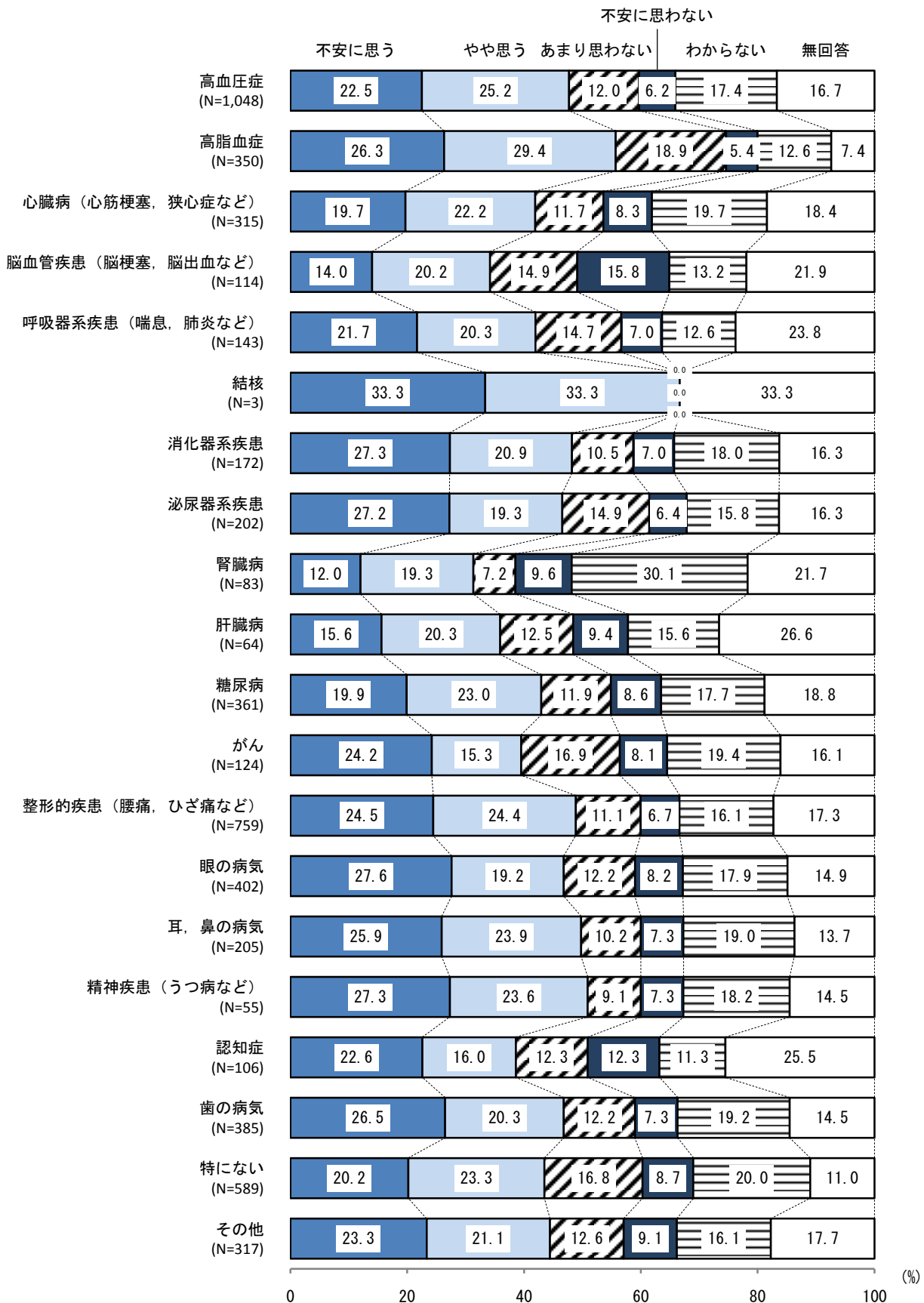
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑤適切に自宅に訪問してくれる介護サービスがあるかどうか



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑤適切に自宅に訪問してくれる介護サービスがあるかどうか】



⑥介護してくれる家族等への負担

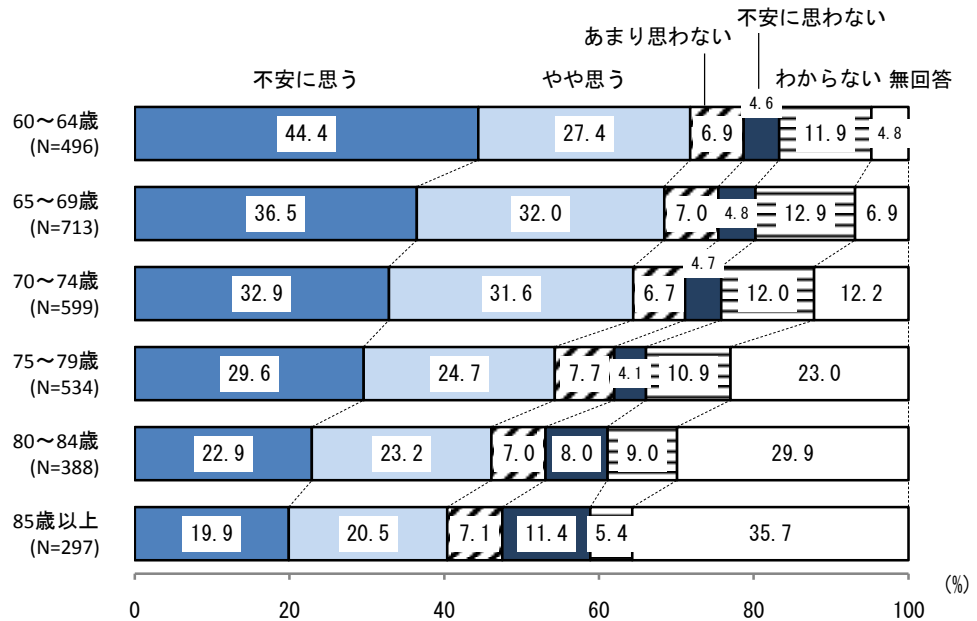
年齢別で見ると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、「85歳以上」で30%を超えています。

健康状態別で見ると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなり、「何らかの病気や障害などがあって、外出は一人でできないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている」と「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している」ではそれぞれ約4分の1となっています。

持病の有無別で見ると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「結核」、「腎臓病」、「認知症」を除き50%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「腎臓病」が15.7%と最も多く、「無回答」は「認知症」が24.5%と最も多くなっています。

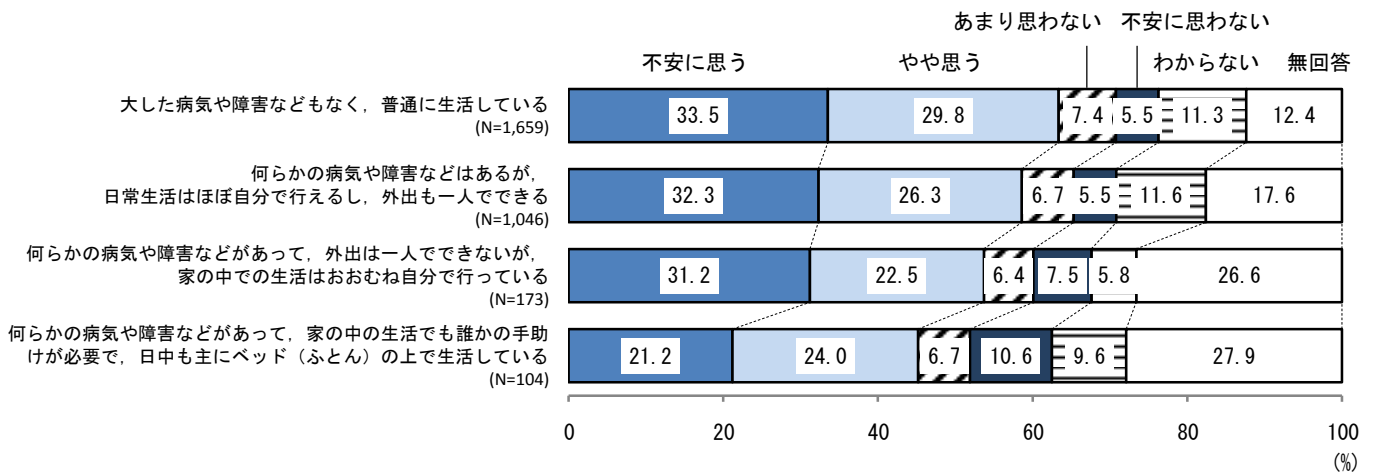
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑥介護してくれる家族等への負担



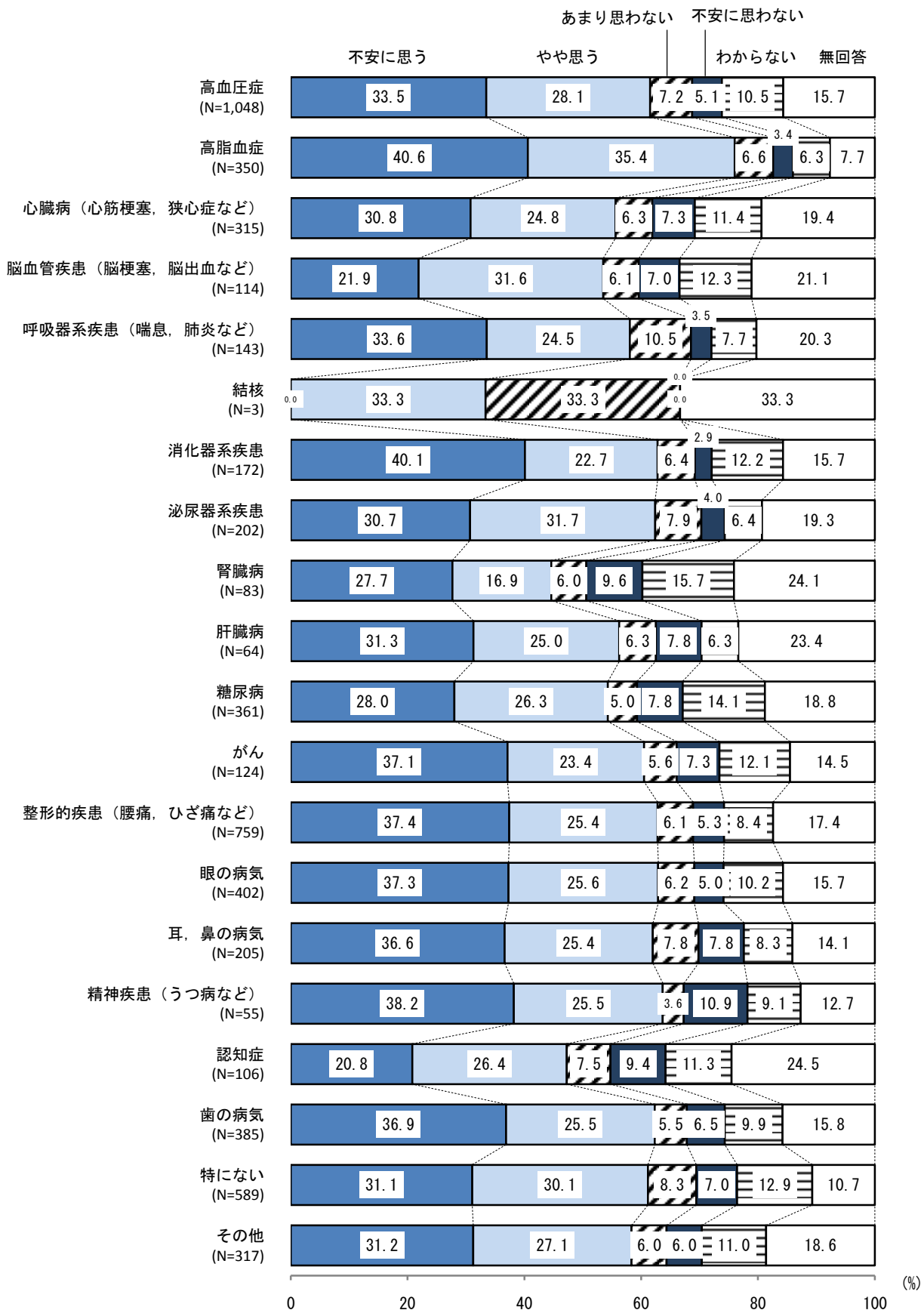
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑥介護してくれる家族等への負担



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑥介護してくれる家族等への負担】



⑦心配事があった時に相談できるところがあるかどうか

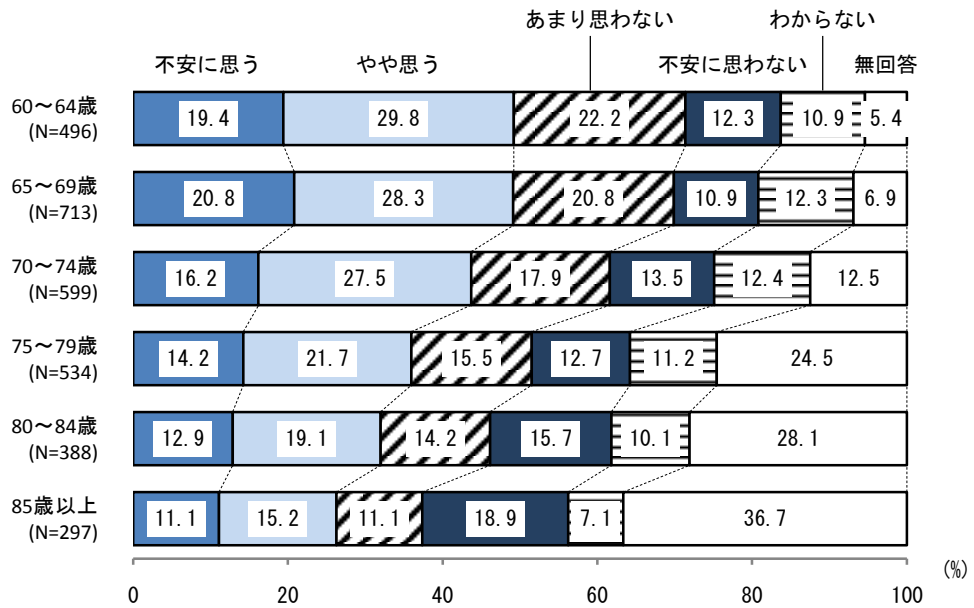
年齢別でみると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、「85歳以上」で30%を超えています。

健康状態別でみると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は概ね少なくなる傾向が見られます。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなり、「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している」では約30%となっています。

持病の有無別でみると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「脳血管疾患」、「結核」、「腎臓病」、「肝臓病」、「認知症」を除き50%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「特になし」が13.4%と最も多く、「無回答」は「肝臓病」が28.1%と最も多くなっています。

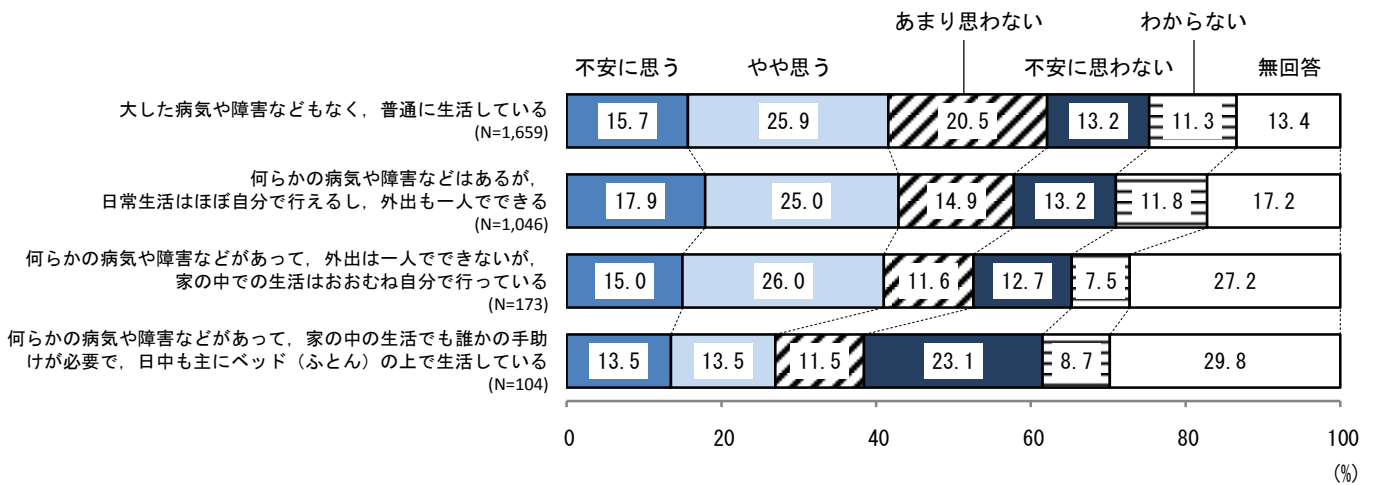
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑦心配事があった時に相談できるところがあるかどうか】



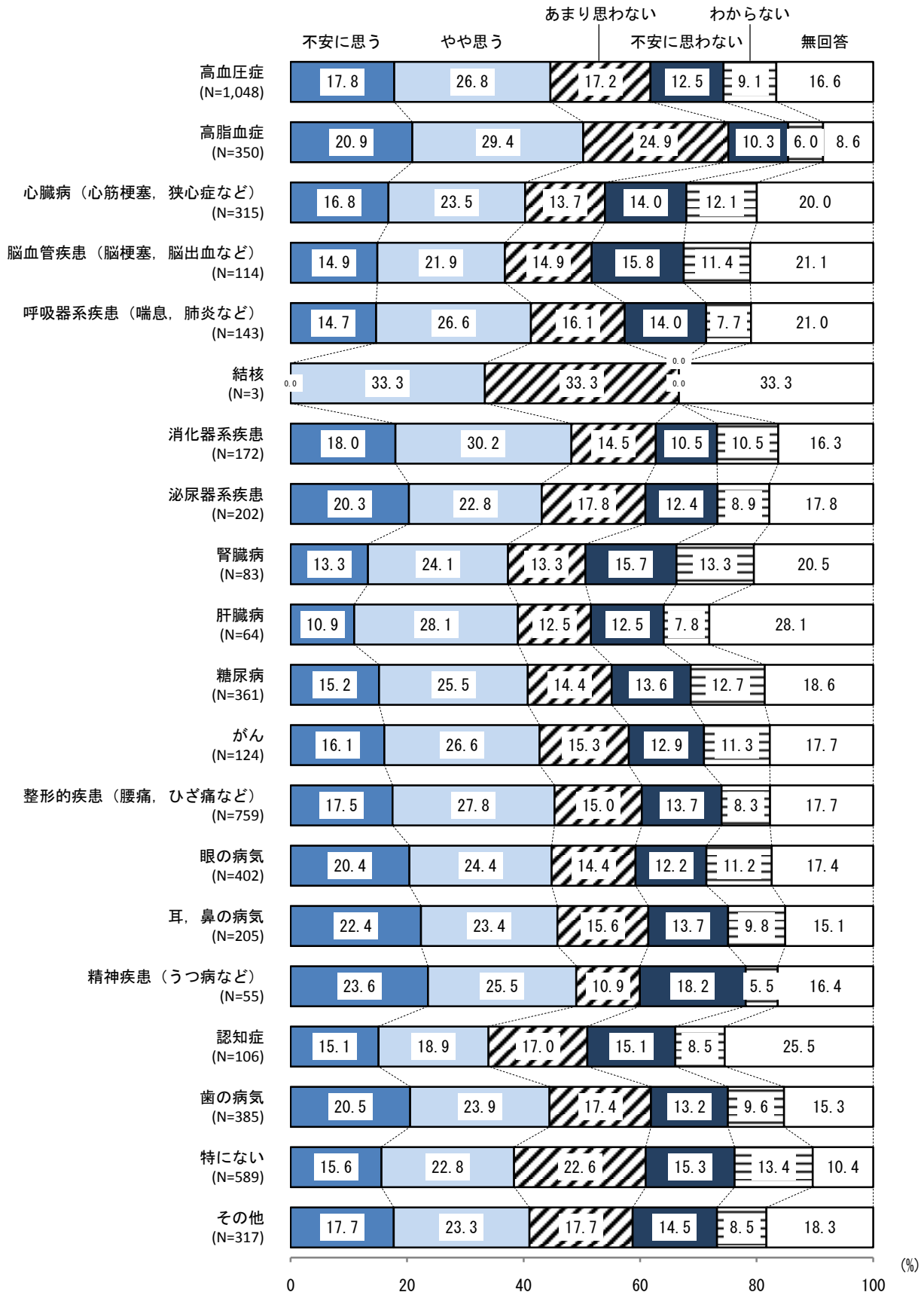
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑦心配事があった時に相談できるところがあるかどうか】



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑦心配事があった時に相談できるところがあるかどうか】



⑧経済的な負担

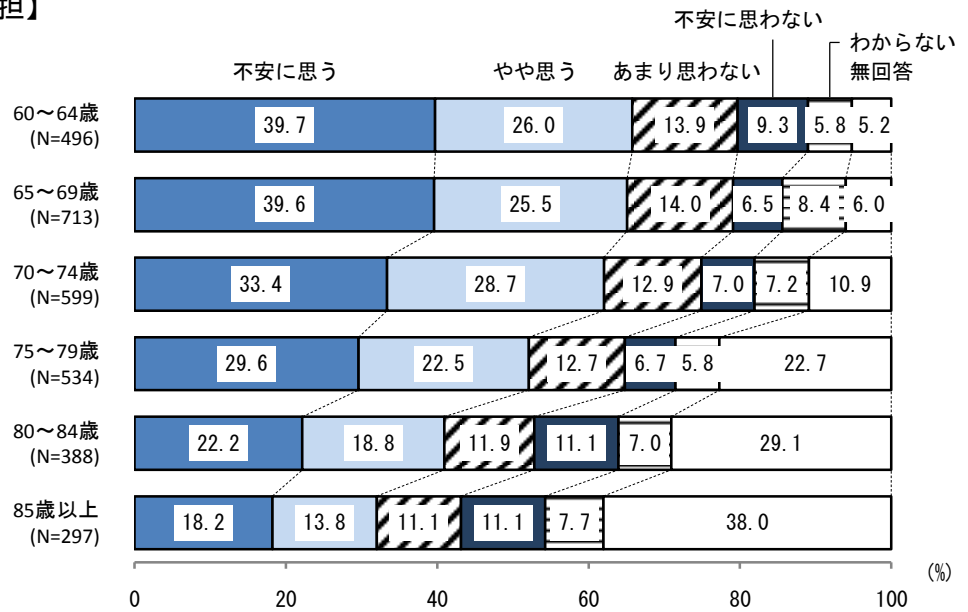
年齢別で見ると、年齢が上がるほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は少なくなっています。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなり、「85歳以上」で30%を超えています。

健康状態別で見ると、健康状態が低下するほど、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は概ね少なくなる傾向が見られます。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が概ね多くなる傾向があり、「何らかの病気や障害などがあって、外出は一人でできないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている」と「何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している」ではそれぞれ約4分の1となっています。

持病の有無別で見ると、「不安に思う」と「やや思う」を合わせた割合は、「心臓病」、「結核」、「腎臓病」、「認知症」を除き50%を超えています。また、サンプル数が少ない「結核」を除くと、「わからない」は「心臓病」が9.5%と最も多く、「無回答」は「認知症」が23.6%と最も多くなっています。

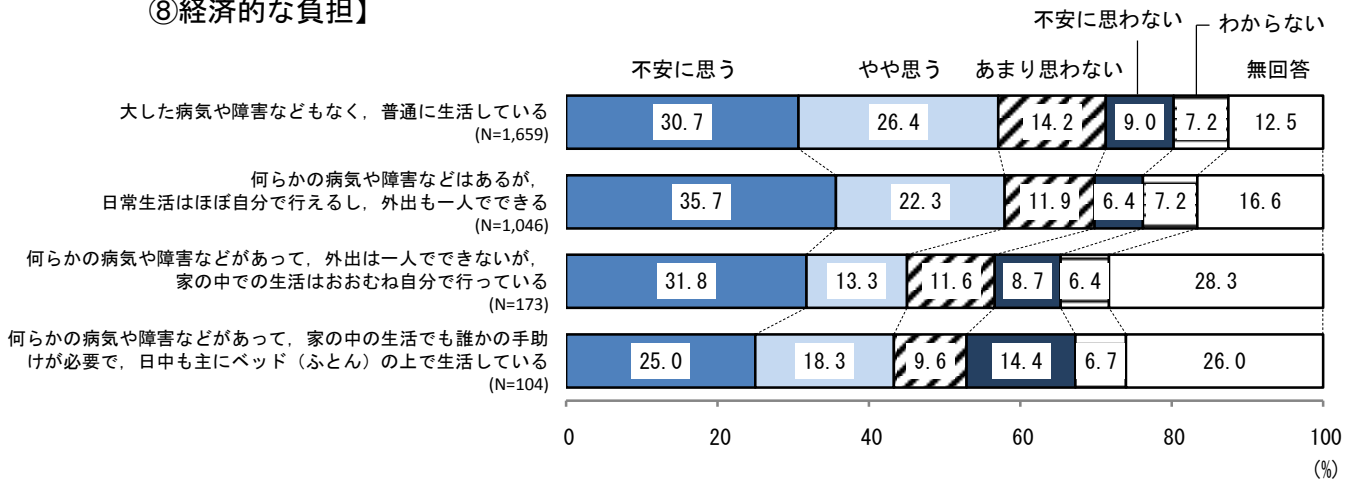
【年齢別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑧経済的な負担



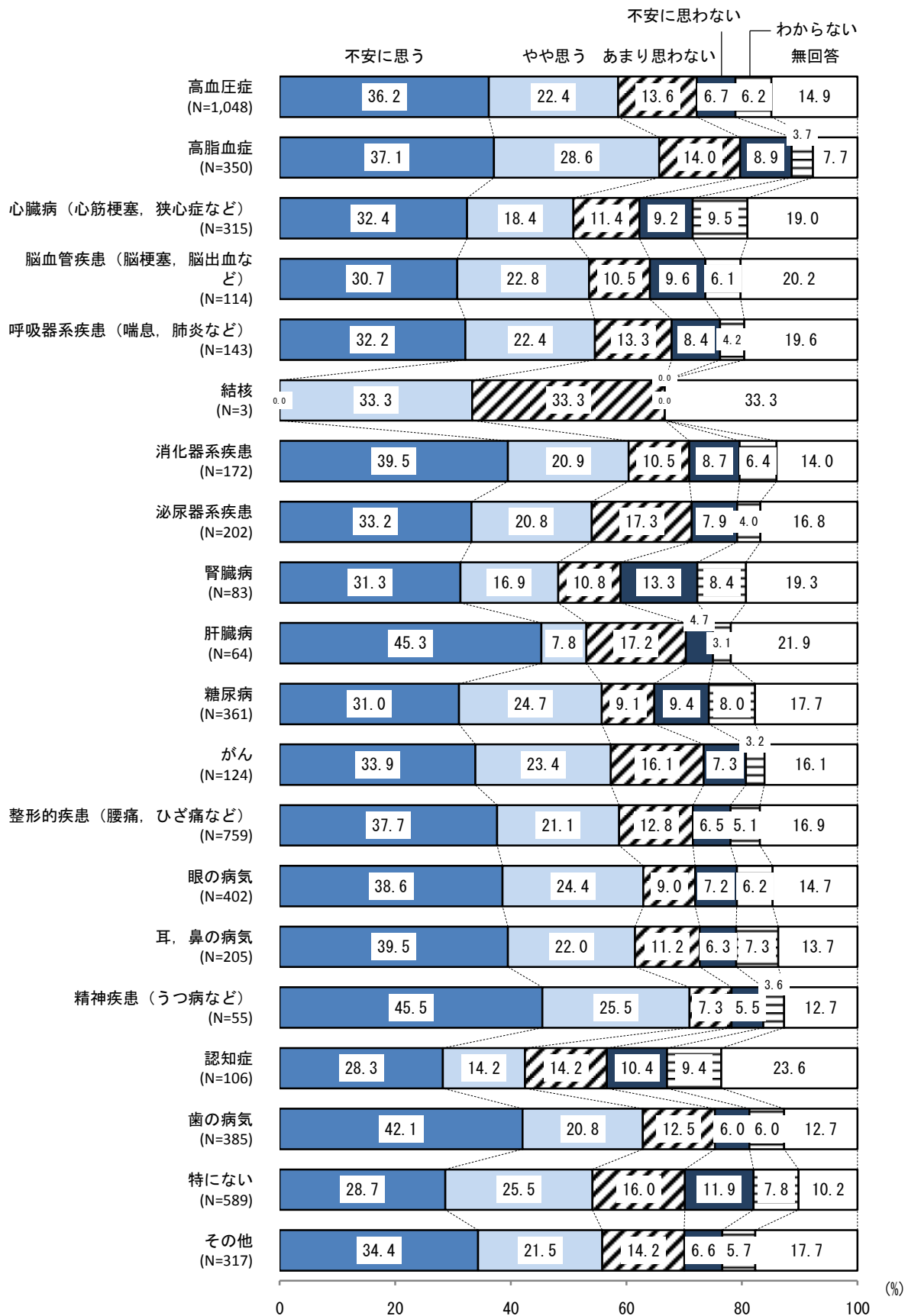
【健康状態別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑧経済的な負担



【持病の有無別 自宅での療養を検討する場合に不安に思うこと

⑧経済的な負担



〔３〕 治らない病気になった場合等に受けたい医療・介護の希望を伝えているか

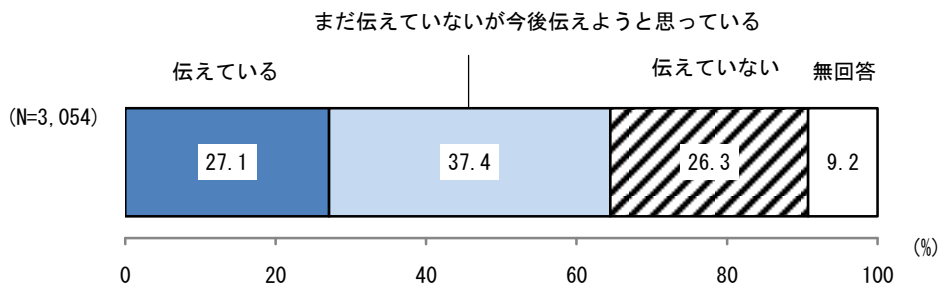
問31-1 もし、あなたが万一治らない病気になったり、死期が迫っていると診断された時に、どのような医療や介護が受けたいかを伝えておられますか。
 (①～③のそれぞれについて 1. 2. 3. のどれか1つに○)

①家族に対して

家族に対して受けたい医療・介護の希望を伝えているかについては、「伝えている」が27.1%、「まだ伝えていないが今後伝えようと思っている」が37.4%、「伝えていない」が26.3%となっています。

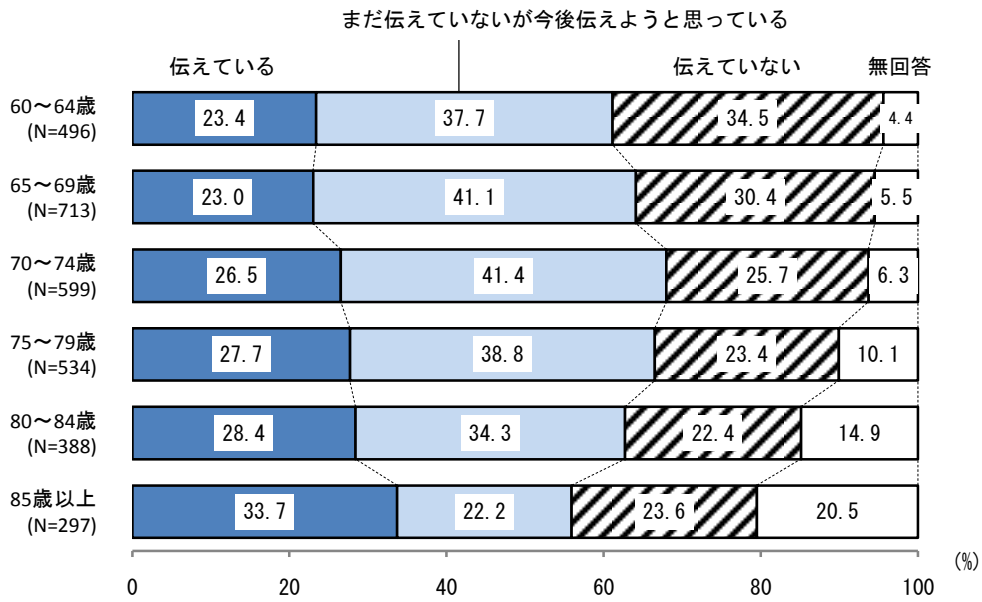
年齢別でみると、「伝えている」は、「85歳以上」が33.7%と最も多く、概ね年齢が下がるほど少なくなる傾向が見られます。なお、年齢が上がるほど、「無回答」も多くなっています。

健康状態別でみると、「伝えている」は、健康状態が低下するほど多くなっています。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」も多くなっています。

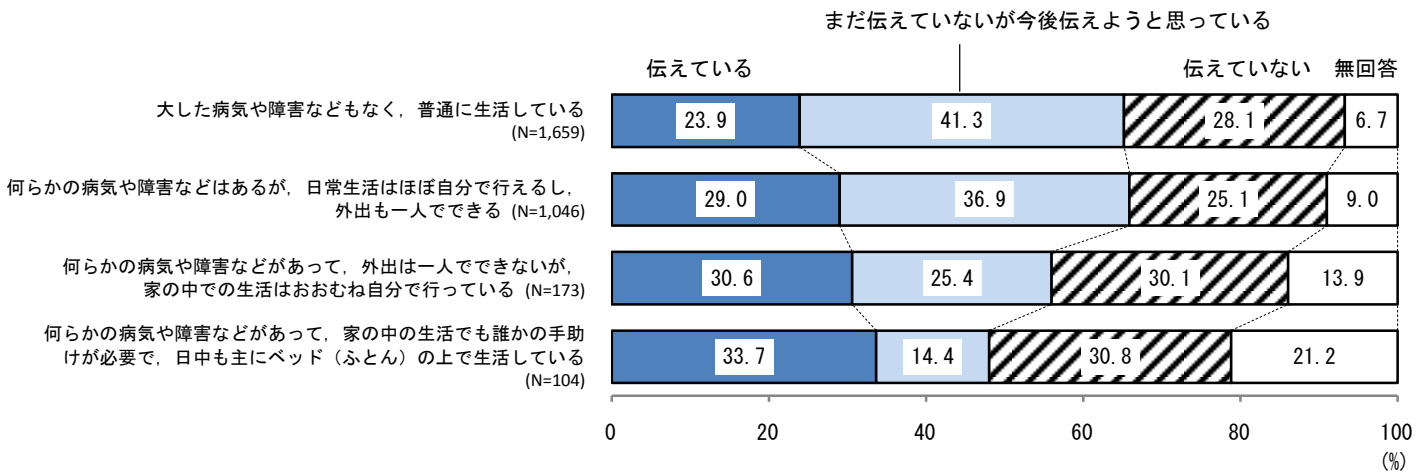


II-1. 高齢者生活実態調査

【年齢別 治らない病気になった場合等に受きたい医療・介護の希望を伝えているか
①家族に対して】



【健康状態別 治らない病気になった場合等に受きたい医療・介護の希望を伝えているか
①家族に対して】

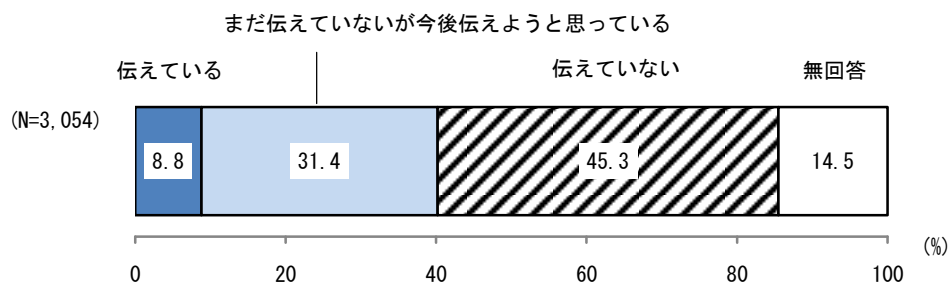


②医療機関等に対して

医療機関等に対して受けた医療・介護の希望を伝えているかについては、「伝えている」が8.8%、「まだ伝えていないが今後伝えようと思っている」が31.4%、「伝えていない」が45.3%となっています。

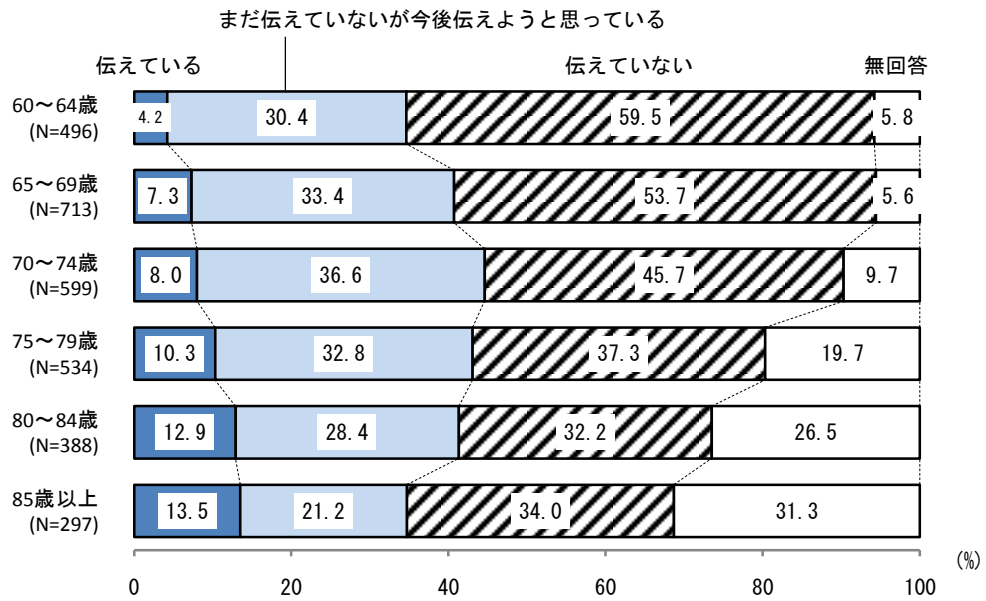
年齢別でみると、「伝えている」は、「85歳以上」が13.5%と最も多く、年齢が下がるほど少なくなっています。なお、概ね年齢が上がるほど、「無回答」も多くなる傾向が見られます。

健康状態別でみると、「伝えている」は、健康状態が低下するほど多くなっています。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」も多くなっています。

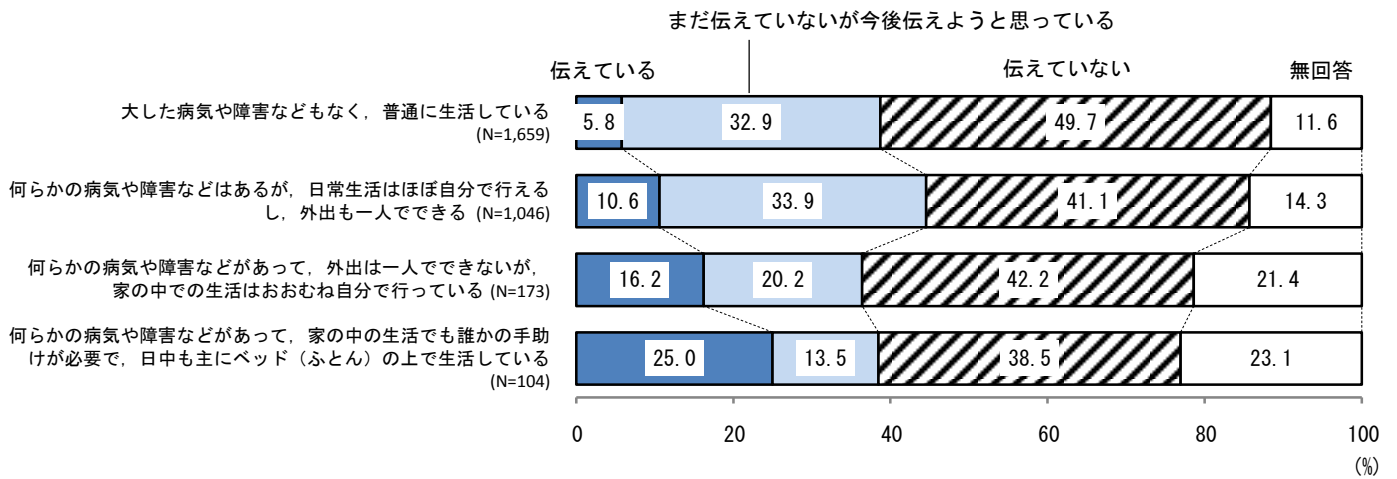


II - 1. 高齢者生活実態調査

【年齢別 治らない病気になった場合等に受たい医療・介護の希望を伝えているか
②医療機関等に対して】



【健康状態別 治らない病気になった場合等に受たい医療・介護の希望を伝えているか
②医療機関等に対して】



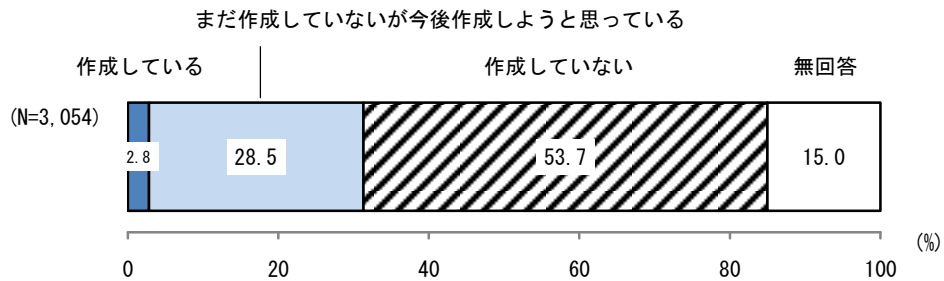
③「事前指示書※」について

※事前指示書とは、自分で意思決定することが困難になった場合に備えて、あらかじめどのような医療等を受けたいか、あるいは受けたくないかを書面で示したものを言います。

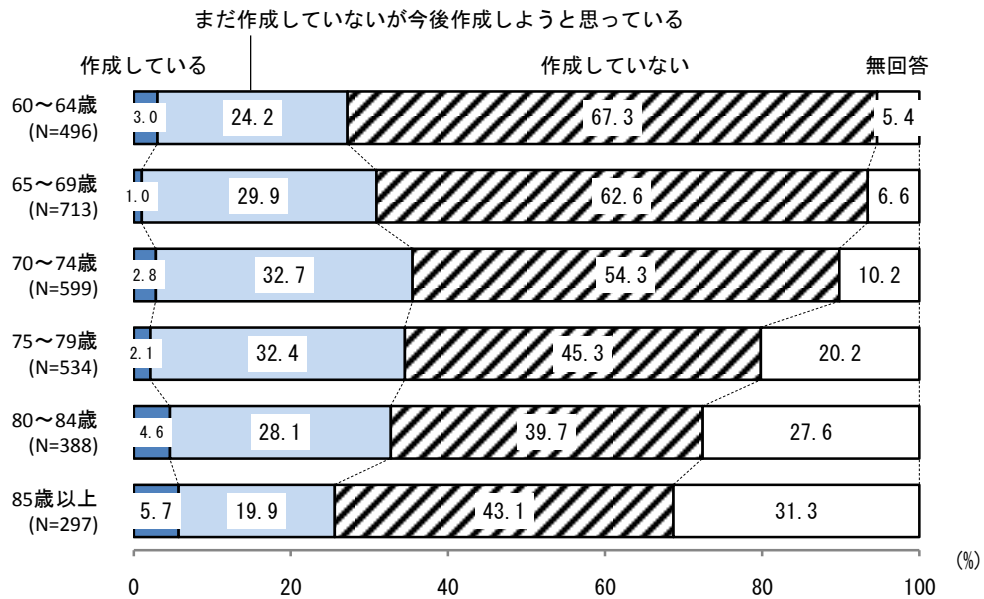
事前指示書の作成については、「作成している」が 2.8%、「まだ作成していないが今後作成しようと思っている」が 28.5%、「作成していない」が 53.7%となっています。

年齢別でみると、「作成している」は、各年齢層で大きな変化は見られません。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなっています。

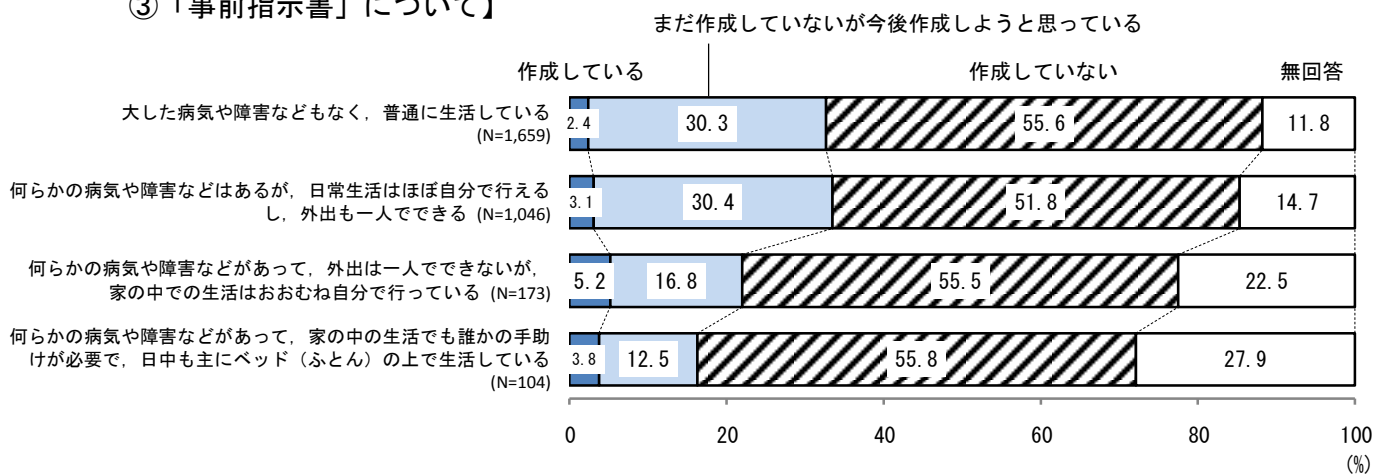
健康状態別でみると、「作成している」は、各健康状態で大きな変化は見られません。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなっています。



【年齢別 治らない病気になった場合等に受たい医療・介護の希望を作成しているか
③「事前指示書」について】



【健康状態別 治らない病気になった場合等に受たい医療・介護の希望を作成しているか
③「事前指示書」について】



〔４〕亡くなった後の財産相続・葬儀等の希望について

問31-2 あなたが亡くなった後の財産の相続や葬儀等をどうしてほしいかを伝えておられますか。

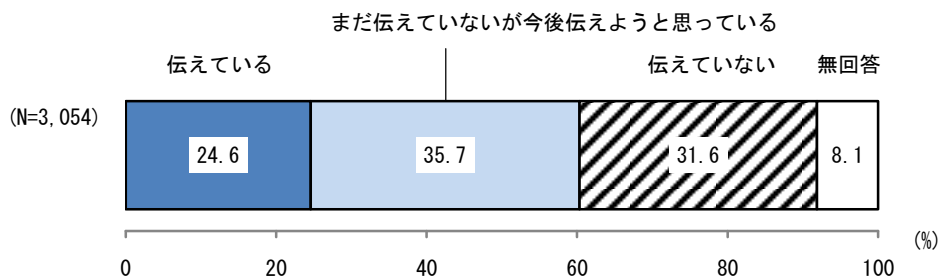
(①～③のそれぞれについて 1. 2. 3. のどれか1つに○)

①家族に対して

家族に対して亡くなった後の財産の相続や葬儀等の希望を伝えているかについては、「伝えている」が24.6%、「まだ伝えていないが今後伝えようと思っている」が35.7%、「伝えていない」が31.6%となっています。

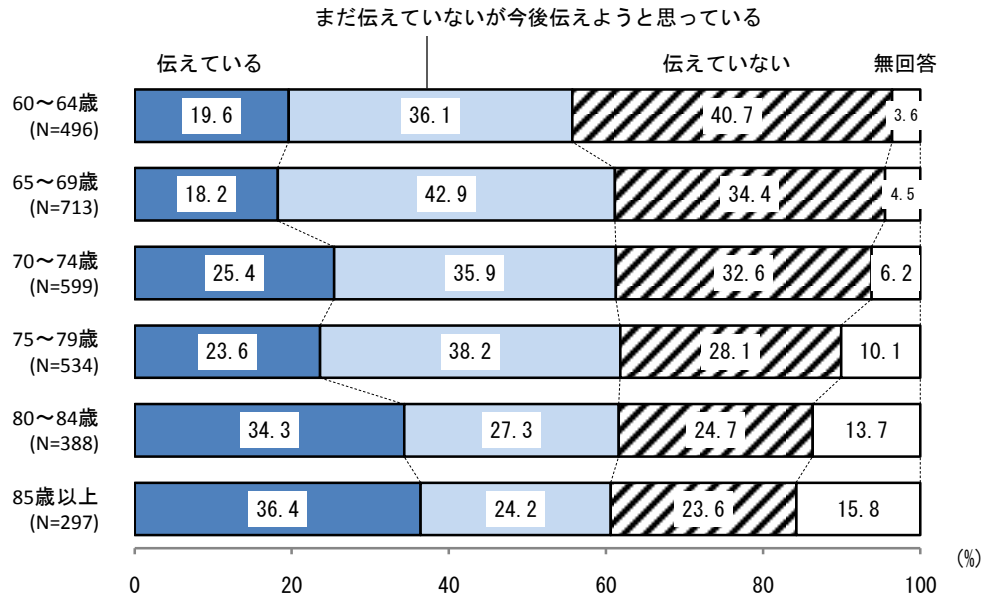
年齢別でみると、「伝えている」は、概ね年齢が上がるほど多くなる傾向が見られます。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」も多くなっています。

健康状態別でみると、「伝えている」は、概ね健康状態が低下するほど多くなる傾向が見られます。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」も多くなっています。



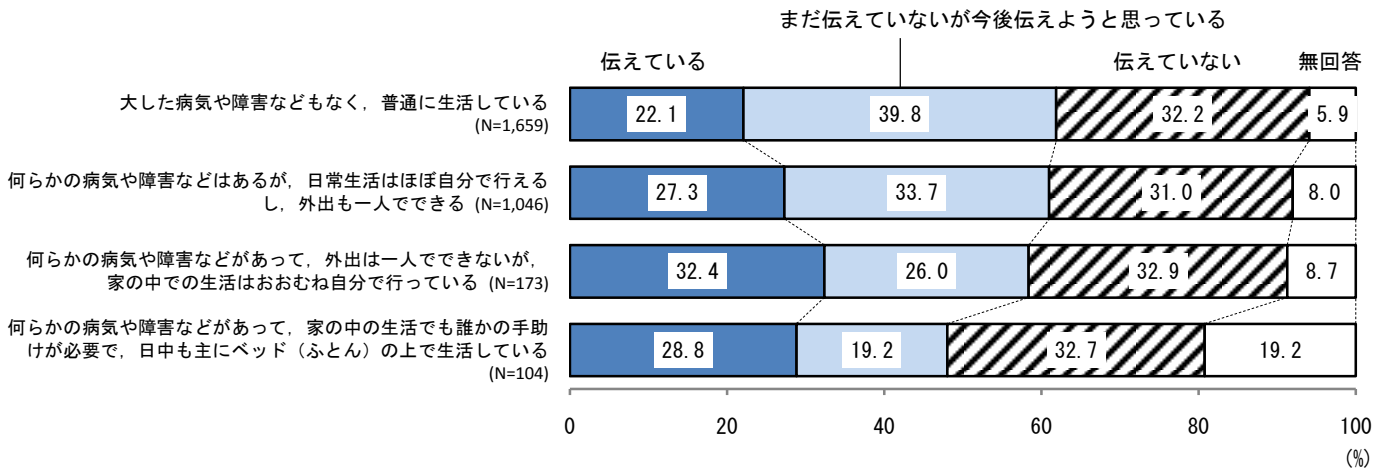
【年齢別 亡くなった後の財産相続・葬儀等の希望について

①家族に対して】



【健康状態別 亡くなった後の財産相続・葬儀等の希望について

①家族に対して】

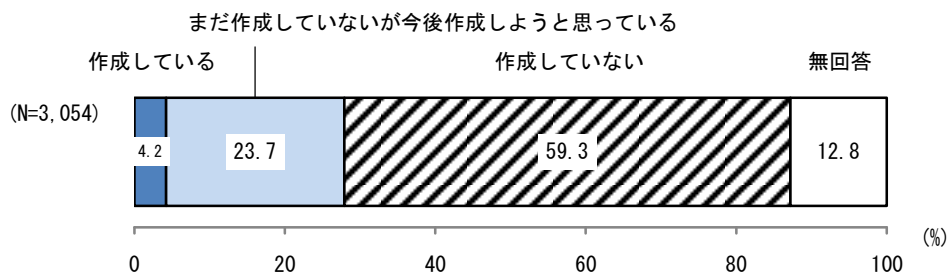


②遺言書について

遺言書については、「作成している」が 4.2%、「まだ作成していないが今後作成しようと思っている」が 23.7%、「作成していない」が 59.3%となっています。

年齢別でみると、「作成している」は概ね年齢が上がるほど多くなる傾向が見られます。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」も多くなっています。

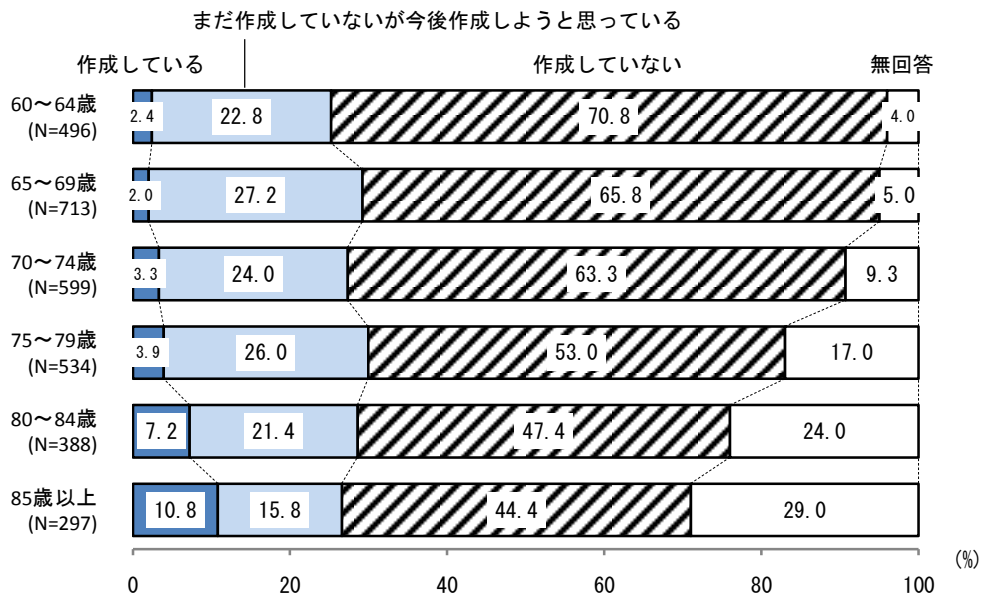
健康状態別でみると、「作成している」は、各健康状態で大きな変化は見られません。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」も多くなっています。



II-1. 高齢者生活実態調査

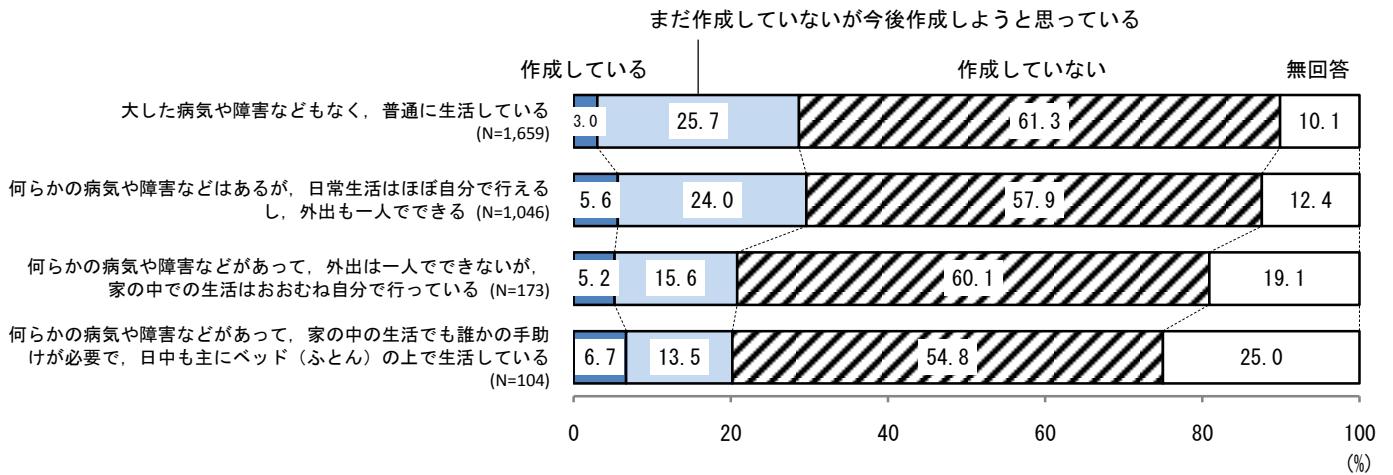
【年齢別 亡くなった後の財産相続・葬儀等の希望について

②遺言書について】



【健康状態別 亡くなった後の財産相続・葬儀等の希望について

②遺言書について】



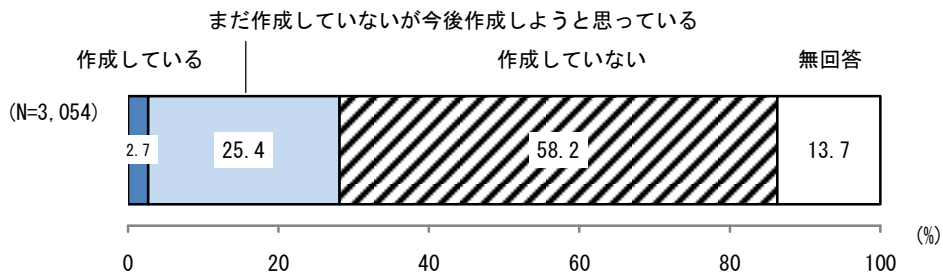
③エンディングノート※について

※エンディングノートとは、自分の人生の最期に備えて、財産処分や葬儀等についての自分の希望や意思を書面で示したものを言います。ただし、遺言書と異なり、法的拘束力はありません。

エンディングノートについては、「作成している」が 2.7%、「まだ作成していないが今後作成しようと思っている」が 25.4%、「作成していない」が 58.2%となっています。

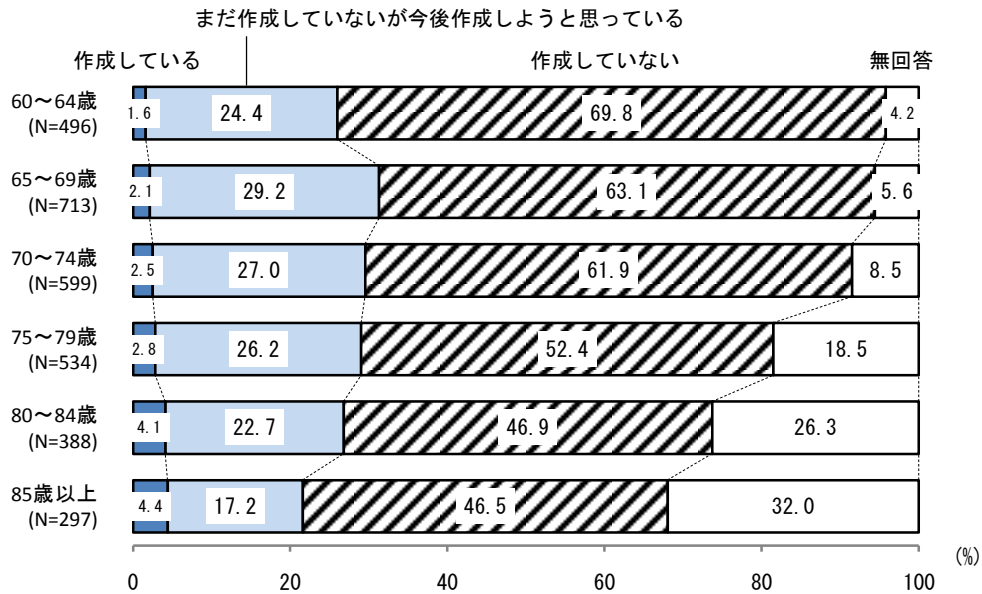
年齢別でみると、「作成している」は、各年齢層で大きな変化は見られません。一方で、年齢が上がるほど、「無回答」が多くなっています。

健康状態別でみると、「作成している」は、各健康状態で大きな変化は見られません。一方で、健康状態が低下するほど、「無回答」が多くなっています。



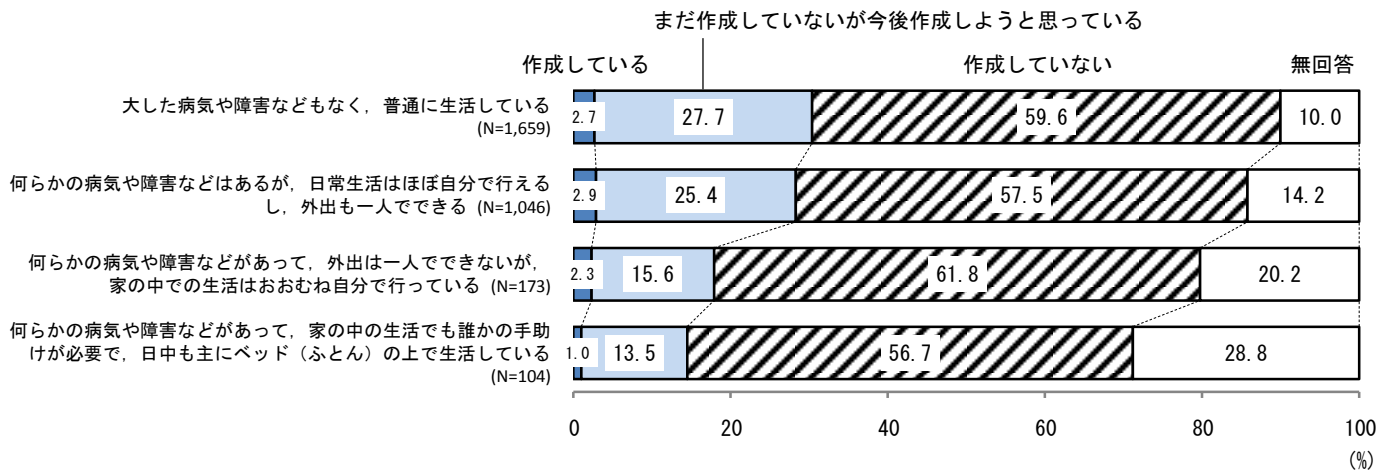
【年齢別 亡くなった後の財産相続・葬儀等の希望について

③エンディングノートについて】



【健康状態別 亡くなった後の財産相続・葬儀等の希望について

③エンディングノートについて】



1 1 自由意見

問32 本市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについて御意見がありましたら、御自由にお書きください。

自由意見欄には、551人（記入率18.0%）から延べ618件の回答がありました。回答内容では、「高齢者保健福祉施策」や「介護保険制度」に関する意見が多くあがっています。

介護保険制度	156
介護保険料が高い、利用者負担を減らしてほしい。	34
介護保険制度に助けられている、満足している、感謝している。	22
介護保険制度についてよく分からない、手続きが難しい。	22
将来、高齢者がさらに増加したときに介護保険を利用できるのか不安。	19
介護職の労働条件を改善してほしい、人手不足への対策をしてほしい。	17
介護保険サービスを充実してほしい、利用しやすくしてほしい。	12
介護保険料の適切な使い道を考えてほしい。	7
介護保険サービスを利用していない人の負担感が大きい。	8
介護職や相談員等の質の向上を図ってほしい。	6
介護保険料の負担に不公平感がある。	5
要介護度認定を適切に行ってほしい、早く行ってほしい。	4

在宅サービス	21
在宅で介護する家族への支援を増やしてほしい、同居家族がいても同様のサービスを受けられるようにしてほしい。	11
在宅で生活するための介護サービスを充実してほしい。	10

施設サービス	74
特別養護老人ホーム等、低料金で利用できる施設を増やしてほしい。	30
介護施設を増やしてほしい。	20
必要な施設にすぐに入れるようにしてほしい。	12
将来は施設へ入所したい。	6
グループホームなど、周囲と関わりながら過ごせる施設を増やしてほしい。	6

高齢者保健福祉施策	196
高齢者に役立つ情報提供を充実してほしい、サービスを知らない人にも情報が届くようにしてほしい。	30
将来の経済的な不安、年金収入のみのため不安。	19
高齢者福祉施策を充実させ、高齢者が安心して生活できる社会を作してほしい。	18
制度を充実させるだけでなく、自助努力や住民同士の支え合いの必要性も訴えていくべき。	19

II - 1. 高齢者生活実態調査

軽い体操や生きがい作りなど、健康を維持するための取り組みを充実してほしい。	18
敬老乗車証が大いに役立っている。現状を維持し、外出しやすくしてほしい。	14
地域での支え合いの活動を推進してほしい。	13
将来、健康を損ねたときへの不安の訴え。	12
一人暮らし、日中独居の寂しさや不安、声かけや見守りを充実してほしい。	10
気軽に相談できる場所や、専門家に相談できる場所など充実、周知してほしい。	9
地域での支え合いやボランティア活動を推進することへの不安や不信。	7
医療費の負担を減らして欲しい、医療費の負担についての不安。	6
認知症の高齢者に対する施策、認知症予防の取り組みを充実してほしい。	6
年金が少なく生活が苦しい、安心して老後の生活を営める施策をしてほしい。	6
退職後のボランティアや就労など、高齢者の社会参加を推進してほしい。	6
お茶を飲んだり、お稽古を楽しめるような高齢者の居場所を作してほしい。	3

市行政について	24
高齢者に配慮したまちづくりを進めてほしい（道路・公衆トイレ・スポーツ施設など）。	8
生活保護制度の見直しが必要。	6
高齢者対策だけでなく、子育てや若者、支援を必要としている人への支援も必要。	6
窓口の職員の対応を改善してほしい。	4

その他	147
アンケートについてのご意見など。	29
現在は元気であるが、少しずつ今後のことを考えたい。	20
元気で幸せに過ごせている。	6
その他のご意見や感想など。	92

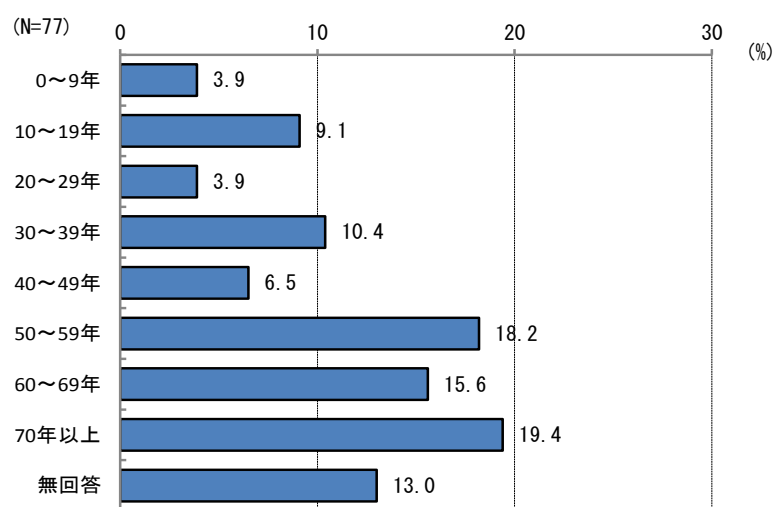
Ⅱ－２．東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査

1 (住まい編) お住まいの住宅について

〔1〕 居住年数

Q1 現在の住宅に、お住まいになられたのはいつごろですか。
又は、お住まいになってから、何年ぐらいたっていますか。

現在、居住している住宅での居住年数は、「70年以上」が19.4%と最も多く、次いで、「50～59年」が18.2%、「60～69年」が15.6%となっています。平均で、50.2年となっています。年齢別でみると、「80～84歳」を除く各年齢層で、「70年以上」が最も多くなっています。



※住み始めた時期で回答された場合は、年数に換算。数値による回答をカテゴリーに分類して集計。

【年齢別 居住年数】

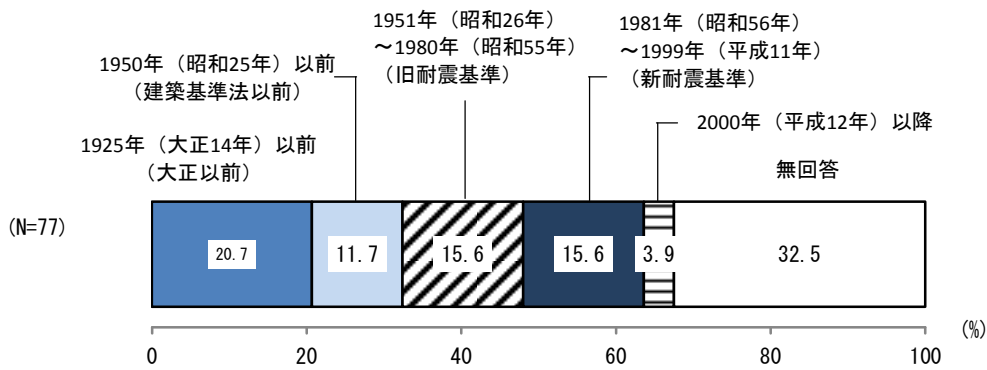
	回答者数 (N)	居住年数 (%)								
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年以上	無回答
75～79歳	18	0	5.6	5.6	11.1	11.1	27.8	5.6	22.2	11.1
80～84歳	31	3.2	16.1	3.2	16.1	6.5	12.9	16.1	9.7	16.1
85～89歳	16	12.5	0	0	6.3	0	18.8	18.8	31.3	12.5
90歳以上	9	0	11.1	11.1	0	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1

〔2〕 建築された年代

Q2 現在お住まいの住宅は、いつ頃(時期又は年代)建築されたものですか。

現在、居住している住宅が建築された年代は、「1925年(大正14年)以前(大正以前)」が20.7%と最も多く、次いで、「1951年(昭和26年)～1980年(昭和55年)(旧耐震基準)」、「1981年(昭和56年)～1999年(平成11年)(新耐震基準)」がそれぞれ15.6%、「1950年(昭和25年)以前(建築基準法以前)」が11.7%となっています。

居住年数別でみると、「70年以上」は、「1925年(大正14年)以前(大正以前)」と「1950年(昭和25年)以前(建築基準法以前)」で最も多く、それぞれ30%を超えています。



※建築された時期を数値で回答された場合は、カテゴリーに分類して集計。

【建築された年代別 居住年数】

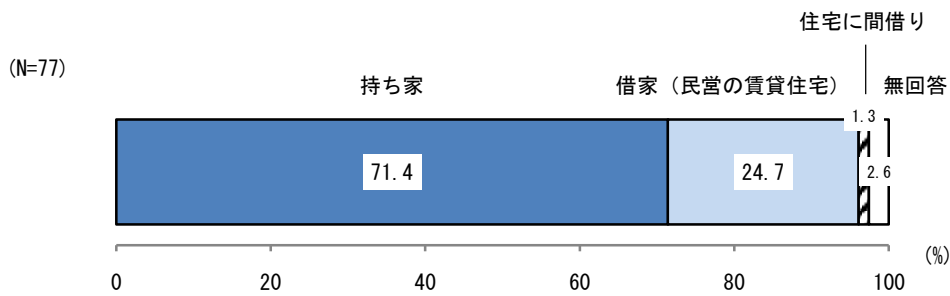
	回答者数(N)	居住年数 (%)								
		05年	10年	20年	30年	40年	50年	60年	70年以上	無回答
1925年(大正14年)以前(大正以前)	16	0	6.3	0	0	0	18.8	12.5	37.5	25.0
1950年(昭和25年)以前(建築基準法以前)	9	0	0	0	11.1	11.1	33.3	0	44.4	0
1951年(昭和26年)～1980年(昭和55年)(旧耐震基準)	12	8.3	8.3	0	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	0
1981年(昭和56年)～1999年(平成11年)(新耐震基準)	12	8.3	8.3	8.3	25.0	0	25.0	16.7	8.3	0
2000年(平成12年)以降	3	0	0	0	0	33.3	0	66.7	0	0

〔３〕住宅の所有関係

Q3 現在お住まいの住宅は、持家ですか、借家ですか。

現在、居住している住宅の所有関係は、「持ち家」が 71.4%、「借家（民営の賃貸住宅）」が 24.7%、「住宅に間借り」が 1.3%となっています。

建築された年代別で見ると、すべての年代で、「持ち家」が最も多くなっています。



【建築された年代別 住宅の所有関係】

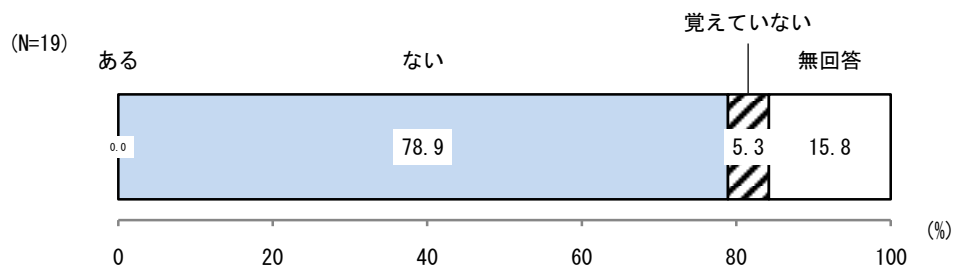
	回答者数 (N)	所有関係 (%)			無回答 (%)
		持ち家	借家 (民営の賃貸住宅)	住宅に間借り	
1925年 (大正14年) 以前 (大正以前)	16	75.0	18.8	6.3	0
1950年 (昭和25年) 以前 (建築基準法以前)	9	77.8	22.2	0	0
1951年 (昭和26年) ~1980年 (昭和55年) (旧耐震基準)	12	83.3	16.7	0	0
1981年 (昭和56年) ~1999年 (平成11年) (新耐震基準)	12	91.7	8.3	0	0
2000年 (平成12年) 以降	3	66.7	0	0	33.3

〔４〕賃貸契約を断られたこと

《Q3で「借家（民営の賃貸住宅）」と回答された方のみ》

Q3-2 賃貸契約をするときに、断られたりしたことはありますか。

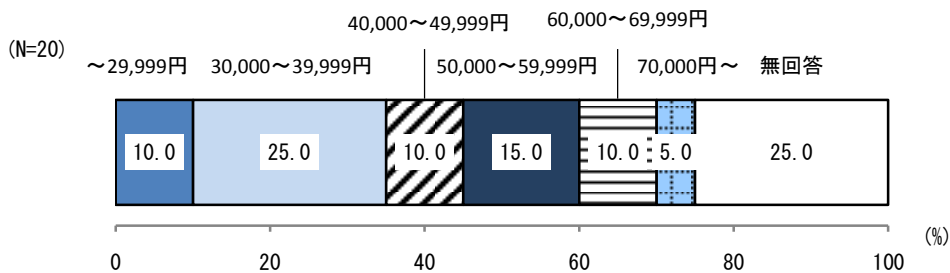
Q3で「借家」と回答された方に、賃貸契約をするときに断られたことがあるかを尋ねたところ、「ある」が0.0%、「ない」が78.9%、「覚えていない」が5.3%となっています。



〔５〕 1箇月の家賃又は部屋代

Q 4 現在お住まいの住宅の1箇月の家賃又は間代及び共益費又は管理費はおいくらですか。

現在、居住している住宅の家賃又は部屋代は、共益費又は管理費を含めて「30,000～39,999円」が25.0%と最も多く、次いで、「50,000～59,999円」が15.0%、「～29,999円」、「40,000～49,999円」、「60,000～69,999円」がそれぞれ10.0%となっています。平均すると、43,033円となっています。



※共益費又は管理費を含めて集計。数値による回答をカテゴリーに分類して集計。
 ※Q 3で「借家（民営の賃貸住宅）」、「住宅に間借り」と回答された方のみ集計。

〔６〕住宅全体の面積

Ｑ５ 現在お住まいの住宅全体の面積は、どれぐらいですか。

現在、居住している住宅の床面積は、「～49 平方メートル」が 45.4%と最も多く、次いで、「50～99 平方メートル」が 27.3%、「100～149 平方メートル」が 13.0%、「150 平方メートル～」が 3.9%となっています。

建築された年代別で見ると、「1981 年（昭和 56 年）～1999 年（平成 11 年）（新耐震基準）」を除き、「～49 平方メートル」が最も多く、それぞれ 40%を超えています。

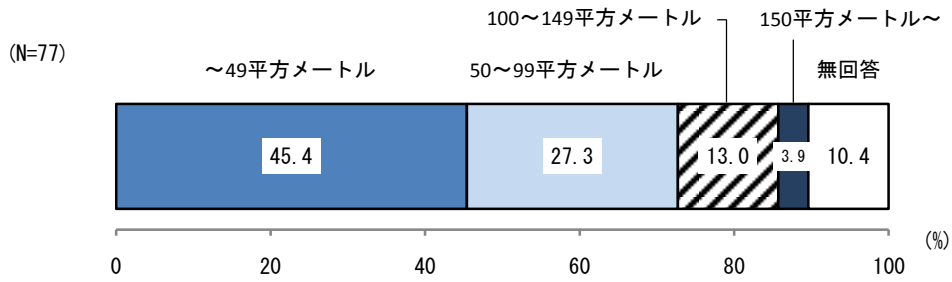
所有関係別で見ると、「持ち家」では「50～99 平方メートル」が最も多くなっています。また、「借家（民営の賃貸住宅）」では「～49 平方メートル」が最も多く、約 90%となっています。

部屋数は、「3～4 部屋」が 23.4%と最も多く、次いで、「1～2 部屋」が 10.4%、「5～6 部屋」が 5.2%となっています。

建築された年代別で見ると、「無回答」が多いため単純比較できませんが、各年代で「3～4 部屋」が最も多くなっています。

所有関係別で見ると、「無回答」が多いため単純比較できませんが、「持家」では「3～4 部屋」が最も多くなっています。また、「借家（民営の賃貸住宅）」では「1～2 部屋」が最も多くなっています。

(床面積)



※坪数、部屋数と畳の数で回答された場合は、平方メートルに換算 (1坪=2帖=3.3m²)。数値による回答をカテゴリーに分類して集計。

【建築された年代別 住宅全体の面積】

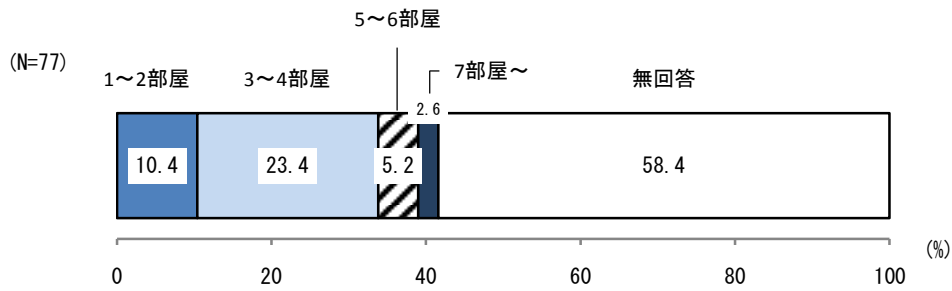
	回答者数 (N)	(%)				
		～49平方メートル	50～99平方メートル	100～149平方メートル	150平方メートル～	無回答
1925年 (大正14年) 以前 (大正以前)	16	43.8	37.5	6.3	6.3	6.3
1950年 (昭和25年) 以前 (建築基準法以前)	9	44.4	22.2	33.3	0	0
1951年 (昭和26年) ～1980年 (昭和55年) (旧耐震基準)	12	58.3	25.0	8.3	8.3	0
1981年 (昭和56年) ～1999年 (平成11年) (新耐震基準)	12	25.0	33.3	33.3	8.3	0
2000年 (平成12年) 以降	3	100.0	0	0	0	0

【住宅の所有関係別 住宅全体の面積】

	回答者数 (N)	(%)				
		～49平方メートル	50～99平方メートル	100～149平方メートル	150平方メートル～	無回答
持ち家	55	30.9	36.4	16.4	5.5	10.9
借家 (民営の賃貸住宅)	19	89.5	5.3	0	0	5.3
住宅に間借り	1	0	0	100.0	0	0

Ⅱ－２．東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査

(部屋数)



※数値による回答をカテゴリーに分類して集計。

【建築された年代別 住宅全体の部屋数】

	回答者数 (N)	割合 (%)				
		1~2部屋	3~4部屋	5~6部屋	7部屋~	無回答
1925年 (大正14年) 以前 (大正以前)	16	12.5	12.5	6.3	0	68.8
1950年 (昭和25年) 以前 (建築基準法以前)	9	0	33.3	11.1	11.1	44.4
1951年 (昭和26年) ~1980年 (昭和55年) (旧耐震基準)	12	16.7	41.7	0	0	41.7
1981年 (昭和56年) ~1999年 (平成11年) (新耐震基準)	12	8.3	8.3	8.3	8.3	66.7
2000年 (平成12年) 以降	3	0	66.7	0	0	33.3

【住宅の所有関係別 住宅全体の部屋数】

	回答者数 (N)	割合 (%)				
		1~2部屋	3~4部屋	5~6部屋	7部屋~	無回答
持ち家	55	1.8	21.8	3.6	3.6	69.1
借家 (民営の賃貸住宅)	19	36.8	26.3	10.5	0	26.3
住宅に間借り	1	0	0	0	0	100.0

〔 7 〕 住宅に高齢者向け設備はあるか

Q 6 現在お住まいの住宅に、高齢者向けの設備などがありますか。

現在、居住している住宅に高齢者向け設備があるかは、手すりについては、「階段」が 55.8%と最も多く、次いで、「浴室」が 40.3%、「トイレ」が 39.0%となっています。

建築された年代別でみると、手すりについては、「1981年（昭和56年）～1999年（平成11年）（新耐震基準）」を除き、「階段」が最も多くなっています。

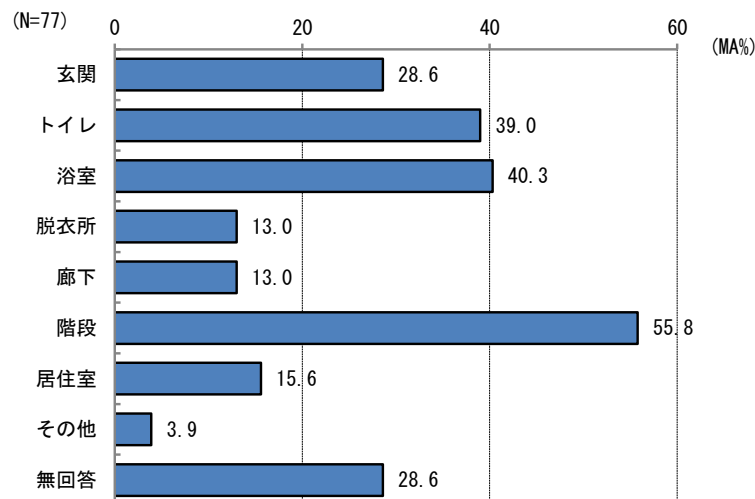
住宅の所有関係別でみると、手すりについては、「持ち家」では、「借家（民営の賃貸住宅）」に比べ、「トイレ」、「浴室」がそれぞれ 20ポイント以上多くなっています。

手すり以外については、「段差のない屋内」が 28.6%と最も多く、次いで、「またぎやすい浴槽」、「道路から玄関まで車いすで通行できる」がそれぞれ 23.4%、「車いすで通れる廊下」が 14.3%となっています。また、「無回答」が 50.6%となっています。

建築された年代別でみると、手すり以外については、「無回答」が多いため単純比較できませんが、「1925年（大正14年）以前（大正以前）」では「道路から玄関まで車いすで通行できる」が、「1950年（昭和25年）以前（建築基準法以前）」と「1951年（昭和26年）～1980年（昭和55年）（旧耐震基準）」では「段差のない屋内」が、「1981年（昭和56年）～1999年（平成11年）（新耐震基準）」では「またぎやすい浴槽」がそれぞれ最も多くなっています。

住宅の所有関係別でみると、手すり以外については、「無回答」が多いため単純比較できませんが、「持ち家」では、「借家（民営の賃貸住宅）」に比べ、「またぎやすい浴槽」、「道路から玄関まで車いすで通行できる」がそれぞれ 10ポイント以上多くなっています。一方、「借家（民営の賃貸住宅）」では、「持ち家」に比べ、「段差のない屋内」が約 10ポイント多くなっています。

（手すり）



Ⅱ－２．東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査

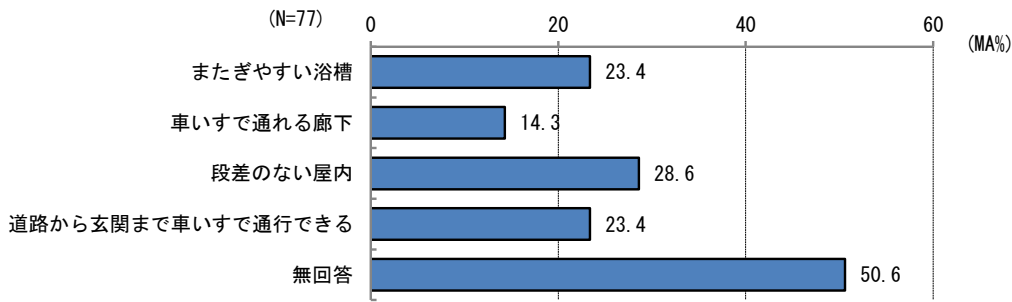
【建築された年代別 高齢者向け設備（手すり）】

	回答者数 (N)	玄関	トイレ	浴室	脱衣所	廊下	階段	居室	その他	無回答
1925年（大正14年）以前（大正以前）	16	37.5	50.0	43.8	12.5	6.3	56.3	6.3	12.5	25.0
1950年（昭和25年）以前（建築基準法以前）	9	11.1	55.6	55.6	0	11.1	66.7	22.2	0	22.2
1951年（昭和26年）～1980年（昭和55年）（旧耐震基準）	12	25.0	33.3	25.0	16.7	16.7	75.0	8.3	0	25.0
1981年（昭和56年）～1999年（平成11年）（新耐震基準）	12	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	50.0
2000年（平成12年）以降	3	100.0	66.7	100.0	33.3	66.7	100.0	33.3	0	0

【住宅の所有関係別 高齢者向け設備（手すり）】

	回答者数 (N)	玄関	トイレ	浴室	脱衣所	廊下	階段	居室	その他	無回答
持ち家	55	29.1	45.5	49.1	14.5	12.7	58.2	14.5	5.5	25.5
借家（民営の賃貸住宅）	19	26.3	21.1	15.8	10.5	10.5	52.6	21.1	0	31.6
住宅に間借り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0

(手すり以外)



【建築された年代別 高齢者向け設備 (手すり以外)】

	回答者数 (N)	またぎやすい浴槽	車いすで通れる廊下	段差のない屋内	道路から玄関まで車いすで通行できる	無回答 (%)
1925年 (大正14年) 以前 (大正以前)	16	25.0	12.5	18.8	31.3	56.3
1950年 (昭和25年) 以前 (建築基準法以前)	9	22.2	22.2	33.3	22.2	55.6
1951年 (昭和26年) ~1980年 (昭和55年) (旧耐震基準)	12	33.3	16.7	50.0	16.7	41.7
1981年 (昭和56年) ~1999年 (平成11年) (新耐震基準)	12	33.3	16.7	25.0	25.0	25.0
2000年 (平成12年) 以降	3	33.3	0	33.3	33.3	33.3

【住宅の所有関係別 高齢者向け設備 (手すり以外)】

	回答者数 (N)	またぎやすい浴槽	車いすで通れる廊下	段差のない屋内	道路から玄関まで車いすで通行できる	無回答 (%)
持ち家	55	32.7	14.5	27.3	27.3	47.3
借家 (民営の賃貸住宅)	19	0	15.8	36.8	15.8	52.6
住宅に間借り	1	0	0	0	0	100.0

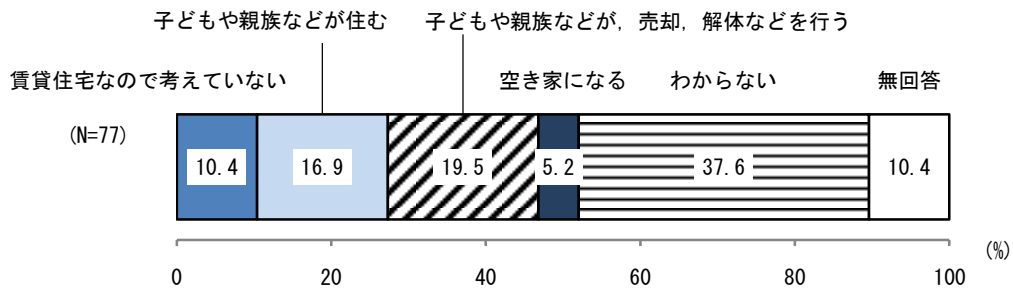
〔8〕現在の住まいについての今後の見通し

Q7 あなたが現在お住まいの住宅は、将来、どうなると見込まれますか。

現在、居住している住宅の今後の見通しについては、「子どもや親族などが、売却、解体などを行う」が19.5%と最も多く、次いで、「子どもや親族などが住む」が16.9%、「賃貸住宅なので考えていない」が10.4%となっています。また、「わからない」は37.6%となっています。

住宅の所有関係別でみると、「持ち家」と「借家（民営の賃貸住宅）」で、「わからない」と「無回答」を合わせた割合が約50%となっています。

建築された年代別でみると、「1950年（昭和25年）以前（建築基準法以前）」と「2000年（平成12年）以降」を除き、「わからない」と「無回答」を合わせた割合が50%以上となっています。



【住宅の所有関係別 住居の見通し】

	回答者数（N）	賃貸住宅なので考えていない	子どもや親族などが住む	子どもや親族などが、売却、解体などを行う	空き家になる	わからない	無回答
持ち家	55	1.8	21.8	25.5	1.8	41.8	7.3
借家（民営の賃貸住宅）	19	36.8	0	5.3	10.5	31.6	15.8
住宅に間借り	1	0	0	0	100.0	0	0

【建築された年代別 住居の見通し】

	回答者数（N）	賃貸住宅なので考えていない	子どもや親族などが住む	子どもや親族などが、売却、解体などを行う	空き家になる	わからない	無回答
1925年（大正14年）以前（大正以前）	16	6.3	0	31.3	6.3	50.0	6.3
1950年（昭和25年）以前（建築基準法以前）	9	22.2	44.4	22.2	0	11.1	0
1951年（昭和26年）～1980年（昭和55年）（旧耐震基準）	12	0	16.7	25.0	0	41.7	16.7
1981年（昭和56年）～1999年（平成11年）（新耐震基準）	12	0	25.0	16.7	8.3	33.3	16.7
2000年（平成12年）以降	3	0	33.3	33.3	0	33.3	0

2 (住まい編) お住まいの住宅と、住宅のまわりの環境について

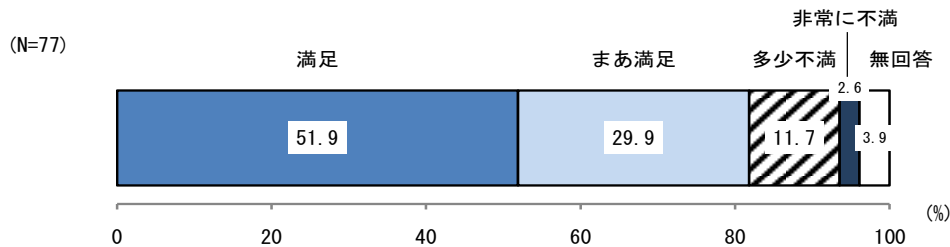
〔1〕現在の住宅の満足度

Q8 現在お住まいの住宅に満足していますか。
お住まいの中で、気に入っているところ、満足しているところ、不安に思っていることなど、自由意見に御記入ください。

現在、居住している住宅の満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が81.8%、「多少不満」と「非常に不満」を合わせた『不満』が14.3%となっています。

建築された年代別でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた割合は、各年代で大きな違いは見られません。

自由意見欄に記入していただいた方は55人ですが、1人で複数の内容に関する意見を記入しているケースがあるため、自由意見の件数は90件となっています。



【建築された年代別 住宅の満足度】

	回答者数 (N)	満足	まあ満足	多少不満	非常に不満	無回答
1925年 (大正14年) 以前 (大正以前)	16	62.5	31.3	6.3	0	0
1950年 (昭和25年) 以前 (建築基準法以前)	9	66.7	33.3	0	0	0
1951年 (昭和26年) ~1980年 (昭和55年) (旧耐震基準)	12	50.0	16.7	16.7	8.3	8.3
1981年 (昭和56年) ~1999年 (平成11年) (新耐震基準)	12	50.0	33.3	8.3	0	8.3
2000年 (平成12年) 以降	3	33.3	66.7	0	0	0

現在の住まいの気に入っているところ、満足しているところ（自由意見）

意見内容	回答数
全般的に気に入っている，居心地がよい。	11
住み慣れている。	9
近所付き合いが良好。ヘルパーさんや家族が訪ねてくるなど，人との交流がある。	5
防犯カメラやブザーなどの防犯対策，家具の固定などの防災対策ができていて安心。	4
庭がある。手入れをする楽しみがあったり，気持ちがなごむ。	4
空調，段差，手すりなどの，設備面が整っている。	4
広い。	3
日光が入る，見通しがよい，明るいなど。	3
騒音が少なく，静かに暮らせる。	3
木造で体にいい。	1
家賃が安い。	1
合 計	48

現在の住まいの不満なところ，不安に思っているところ（自由意見）

意見内容	回答数
老朽化，建物が古い。耐震性に不安。雨漏り，白アリなどで困っている。	7
修繕が必要だが面倒，お金が足りない，家主が対応してくれない。修繕の業者探しが心配。	6
2階への移動，階段，段差がつかなく，転倒の不安がある。	5
手すりが無い，トイレが使いにくい，お風呂がないなど設備面での不満。	4
狭い，収納が足りない。	4
車やテレビなどの騒音がある。建物が古くて足音が響く。	3
空調が不十分，すきま風があって，寒い。	2
一人暮らしで不安。荷物の移動や修繕などのちょっとしたことを頼める人がいない。	2
周囲に若者が減り，空き家が増えて淋しくなった。	2
庭がない。植物を植えたい。	2
解体される不安がある。	2
家主に不満がある。	1
坂の上で住みにくい。	1
火の元の不安がある。	1
合 計	42

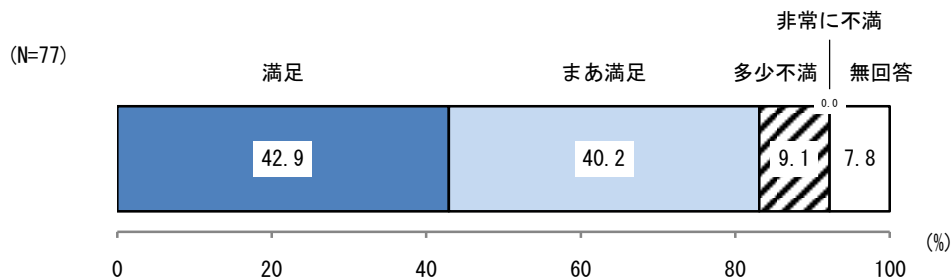
〔2〕住まいのまわりの環境の満足度

Q9 現在お住まいの住宅のまわりの環境に満足していますか。
 お住まいのまわりの環境で、気に入っているところ、満足しているところ、
 不安に思っていることなど、自由にお書きください。
 また、住宅のまわりの環境は、歩いて回れる程度の地域の居住環境を含めて
 お書きください。

現在、居住している住宅のまわりの環境の満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が83.1%、「多少不満」と「非常に不満」を合わせた『不満』が9.1%となっています。

建築された年代別でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた割合は、各年代で大きな違いは見られません。

自由意見欄に記入していただいた方は64人ですが、1人で複数の内容に関する意見を記入しているケースがあるため、自由意見の件数は105件となっています。



【建築された年代別 住まいのまわりの環境の満足度】

	回答者数 (N)	満足度 (%)				
		満足	まあ満足	多少不満	非常に不満	無回答
1925年（大正14年）以前（大正以前）	16	62.5	37.5	0	0	0
1950年（昭和25年）以前（建築基準法以前）	9	44.4	44.4	0	0	11.1
1951年（昭和26年）～1980年（昭和55年）（旧耐震基準）	12	50.0	25.0	25.0	0	0
1981年（昭和56年）～1999年（平成11年）（新耐震基準）	12	33.3	58.3	0	0	8.3
2000年（平成12年）以降	3	66.7	33.3	0	0	0

住まいのまわりの環境の気に入っているところ、満足しているところ（自由意見）

意見内容	回答数
ご近所が親切でよい付き合いができていて、人との交流がある。顔見知りが多い。友だちや、家族、親戚が近くにいる。困ったときに頼める人がいる。	20
生活に便利。買い物や医者への交通の便利がよい。バス停が近い。郵便局、コンビニ、運動施設（プール）、銭湯などが近い。配達、出張野菜売りがある。	11
静か。車あまり通らない。	10
満足している。とくに困ったことはない。	7
近所の人の様子を見に来てくれたり、高齢者同士の支え合いがある。民生委員や警察が連絡をくれる。ヘルパーさんや近所の人買い物や通院を手伝ってくれる。薬局の人が薬をもってきて様子を聞いてくれる。	6
安心・安全。治安が良い。防災対策がしっかりされている。	4
街並み・景観がよい。	4
学生が多くて活気があってよい。	1
合 計	63

住まいのまわりの環境の不満なところ、不安に思っていること（自由意見）

意見内容	回答数
スーパーや商店が遠くて買い物に不便。通院が不便。バス停が遠い。	19
近所付き合いが少ない。	4
道幅が狭い。自転車で走ってこられると怖い。観光客が多くて道が歩きにくい。	4
人通りが少なくて怖い。夜道が暗く、街灯がほしい。	3
足腰が悪くて家にこもりがち。タクシーを使うことが多い。	3
騒音が気になる（車、工事、学校周辺など）。	2
詐欺の電話や押し売りの被害にあった。直接家に来られると怖くて断りにくい。	2
坂がきつい。雪が降ると滑る。	1
町内行事がなくなった（高齢者が多くなり、仕切る人がいなくなった）。	1
ゲストハウスが多くていろんな人が来るので怖い。	1
ごみの分別がわかりにくい。	1
勝手に敷地に入ってくる人がいる。	1
合 計	42

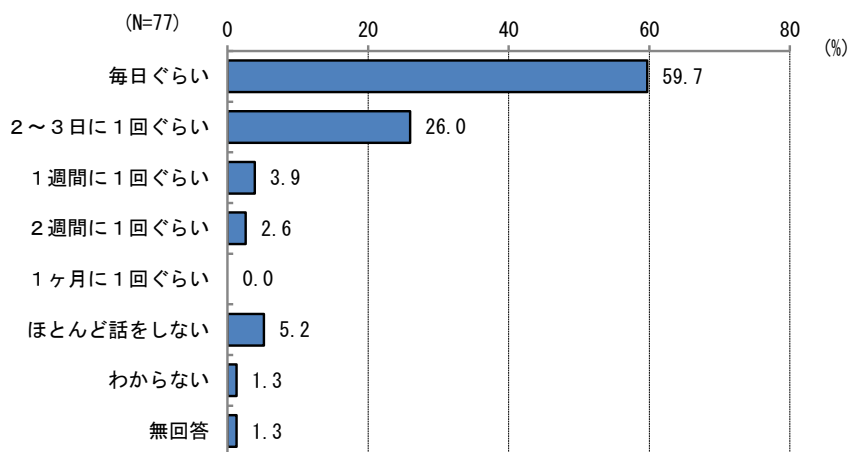
3 (見守り編)

〔1〕会話の頻度

Q10 ふだん、どの程度、家族や近所の人、お友だち等と、あいさつ程度の会話や世間話をしていらっしゃるでしょうか（直接会っての会話だけでなく、電話での会話も含めてください）。

ふだん、どの程度、家族や近所の人、友だち等と、あいさつ程度の会話や世間話をしているかについては、「毎日ぐらい」が59.7%と最も多く、次いで、「2～3日に1回ぐらい」が26.0%、「ほとんど話をしない」が5.2%となっています。

年齢・要介護度別でみると、大きな傾向の違いは見られませんが、85歳以上では「毎日ぐらい」と回答する数が最も多くなっています。



【年齢・要介護度別 会話の頻度】

		回答者数 (N)	毎日ぐらい	2、3日に1回ぐらい	1週間に1回ぐらい	2週間に1回ぐらい	1ヶ月に1回ぐらい	ほとんど話をしない	わからない	無回答 (%)
75～79歳	自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援1	2	100.0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	2	0	100.0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84歳	自立	1	0	100.0	0	0	0	0	0	0
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援1	4	50.0	25.0	0	25.0	0	0	0	0
	要支援2	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	2	50.0	50.0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	2	0	50.0	0	0	0	50.0	0	0
	要介護3	1	0	100.0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85～89歳	自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	4	75.0	25.0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	2	0	0	100.0	0	0	0	0	0
	要介護2	2	100.0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90歳以上	自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	申請中	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援1	1	0	100.0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	3	66.7	33.3	0	0	0	0	0	0
	要介護1	2	50.0	0	0	0	0	0	50.0	0
	要介護2	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〔2〕 会話の相手

《Q10で「わからない」以外の回答をされた方のみ》
 Q10-2 ふだん、どのような方と、あいさつ程度の会話や世間話をしていますか。
 直接会っての会話だけでなく、電話での会話も含めて、あてはまるもの
 すべてに「○」をしてください。
 また、一番よく（頻度）お話しする方に「◎」、
 困り事があった時に相談できる方に「●」をしてください。

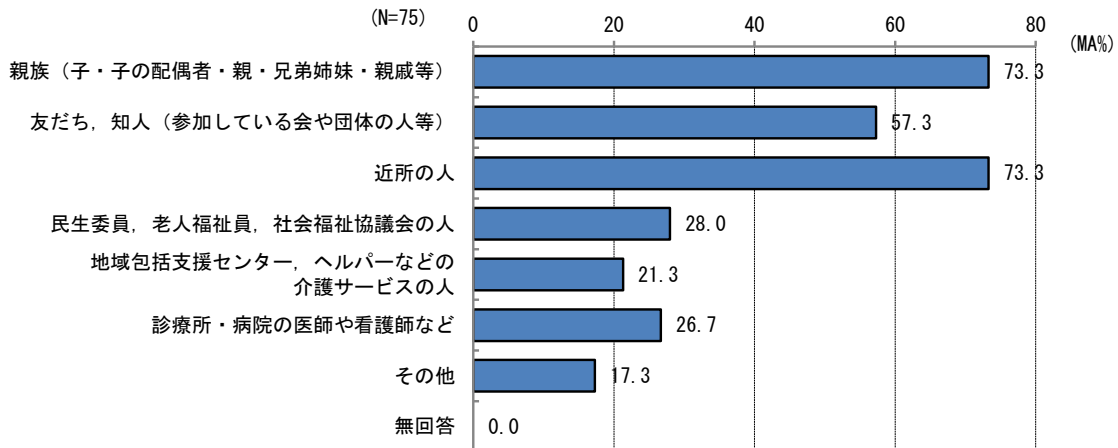
ふだん、どのような方と、あいさつ程度の会話や世間話をしているかについては、「親族（子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等）」、「近所の人」がそれぞれ73.3%と最も多く、次いで、「友だち、知人（参加している会や団体の人等）」が57.3%、「民生委員、老人福祉員、社会福祉協議会の人」が28.0%となっています。

年齢別でみると、「友だち、知人（参加している会や団体の人等）」、「近所の人」、「診療所・病院の医師や看護師など」は、年齢が上がるほど少なくなっています。

一番よくお話しする方は、「親族（子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等）」が28.0%と最も多く、次いで、「友だち、知人（参加している会や団体の人等）」が21.4%、「近所の人」が10.7%となっています。また、「無回答」が32.0%となっています。

困り事があった時に相談できる方は、「親族（子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等）」が38.7%と最も多く、それ以外は4%以下と少なくなっています。また、「無回答」が44.0%となっています。

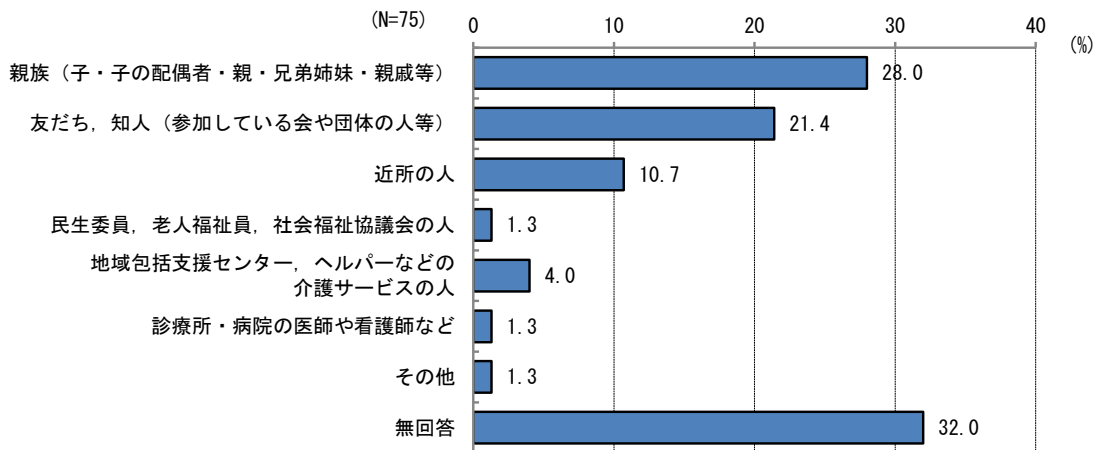
(全体)



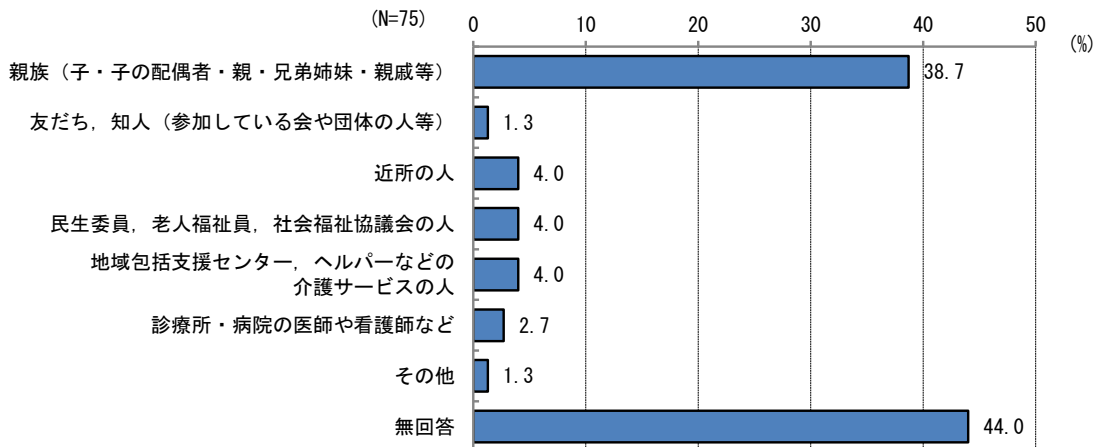
【会話の相手別 年齢】

	回答者数 (N)	親族(子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等)	友だち, 知人(参加している会や団体の人等)	近所の人	民生委員, 老人福祉員, 社会福祉協議会の人	地域包括支援センター, ヘルパーなどの介護サービスの人	診療所・病院の医師や看護師など	その他	無回答
75～79歳	18	83.3	72.2	77.8	38.9	22.2	38.9	11.1	0
80～84歳	30	70.0	63.3	73.3	30.0	16.7	26.7	26.7	0
85～89歳	16	87.5	50.0	68.8	12.5	31.3	25.0	6.3	0
90歳以上	8	62.5	25.0	62.5	37.5	25.0	12.5	12.5	0

(一番よくお話しする方)



(困り事があった時に相談できる方)



〔3〕 自宅への訪問者

Q11 どのような方があなたの家を訪ねてこられますか。たまに訪ねてこられる方も含めて、あてはまるものすべてに「○」をしてください。
 また、一番よく（頻度）訪ねてこられる方に「◎」
 緊急時に連絡したら来てくれる方に「●」をしてください。

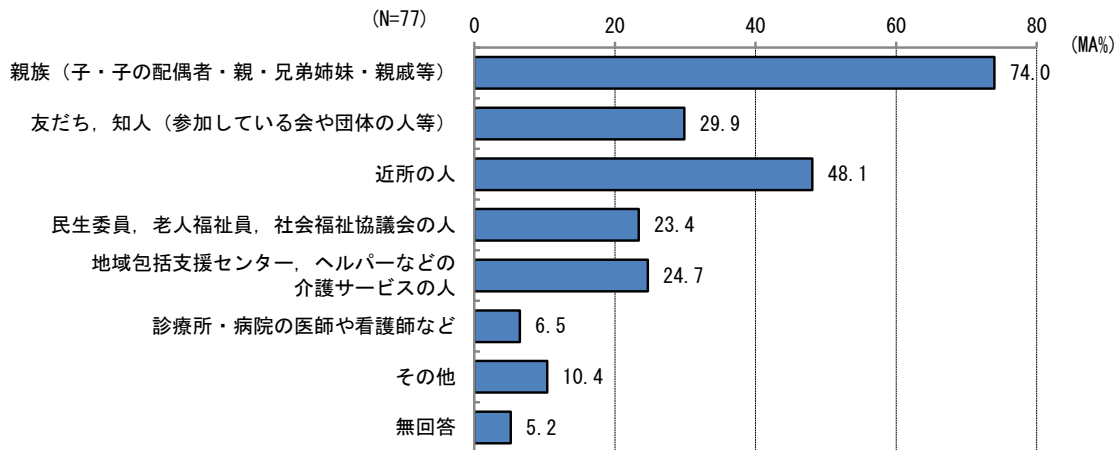
どのような方が家を訪ねてこられるかは、「親族（子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等）」が74.0%と最も多く、次いで、「近所の人」が48.1%、「友だち，知人（参加している会や団体の人等）」が29.9%となっています。

年齢別でみると、「近所の人」は、年齢が上がるほど少なくなっています。一方、「地域包括支援センター，ヘルパーなどの介護サービスの人」は、年齢が上がるほど多くなっています。

一番よく訪ねてこられる方は、「親族（子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等）」が35.1%と最も多く、次いで、「近所の人」が10.4%、「地域包括支援センター，ヘルパーなどの介護サービスの人」が9.1%となっています。また、「無回答」が35.0%となっています。

緊急時に連絡したら来てくれる方は、「親族（子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等）」が35.1%と最も多く、それ以外は3%以下と少なくなっています。また、「無回答」が54.5%となっています。

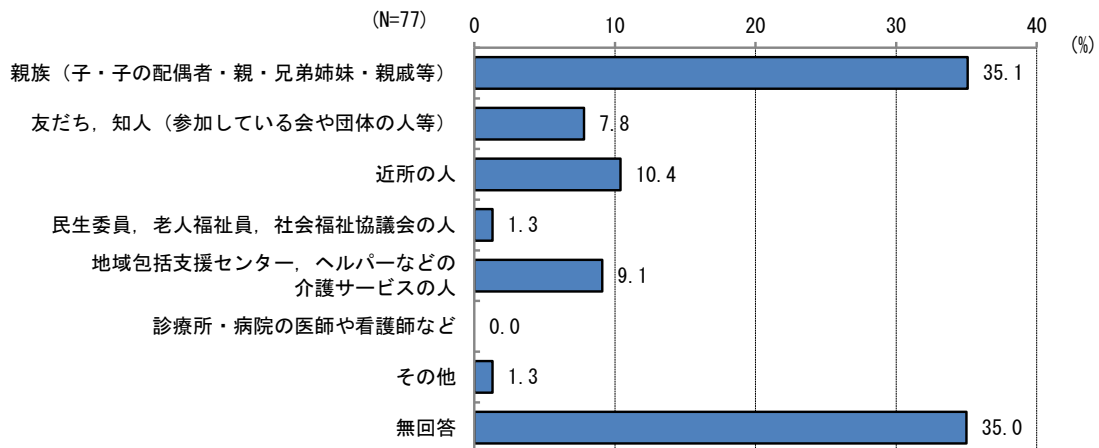
(全体)



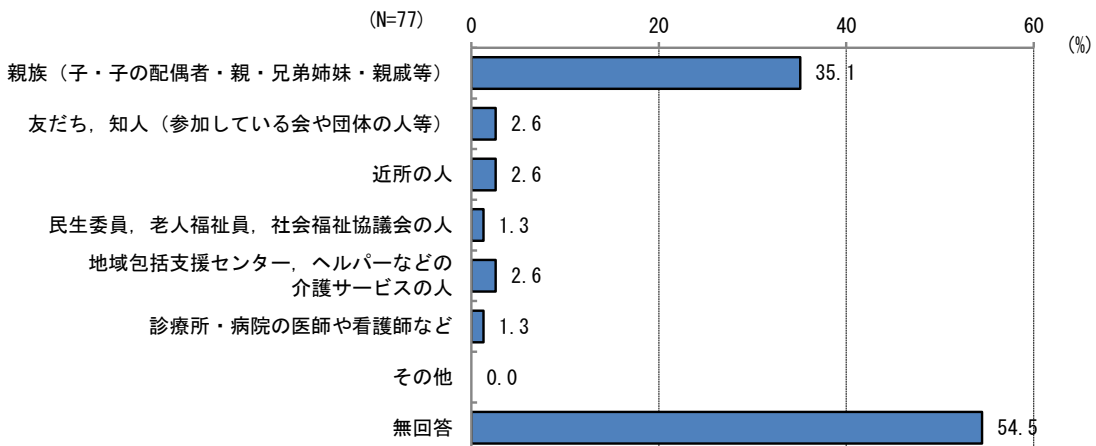
【自宅への訪問者別 年齢】

	回答者数 (N)	親族(子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等)	友だち, 知人(参加している会や団体の人等)	近所の人	民生委員, 老人福祉員, 社会福祉協議会の人	地域包括支援センター, ヘルパーなどの介護サービスの人	診療所・病院の医師や看護師など	その他	無回答
75~79歳	18	72.2	33.3	55.6	16.7	16.7	11.1	11.1	11.1
80~84歳	31	64.5	35.5	51.6	29.0	22.6	3.2	16.1	3.2
85~89歳	16	100.0	18.8	43.8	18.8	31.3	6.3	0	0
90歳以上	9	88.9	22.2	33.3	33.3	44.4	11.1	11.1	0

(一番よく訪ねてこられる方)



(緊急時に連絡したら来てくれる方)



〔4〕 地域の人を訪ねるを希望するか

《Q11で「近所の人」、「民生委員、老人福祉員、社会福祉協議会の人」のいずれも回答に含まれていない方のみ》

Q11-2 近所の人や民生委員など、地域の方に訪ねてきてほしいと思いますか。
以下の①か②のどちらかに「○」をしてください。
また、②（思わない）を選ばれた場合は、その理由について当てはまるものすべてに「○」をしてください。

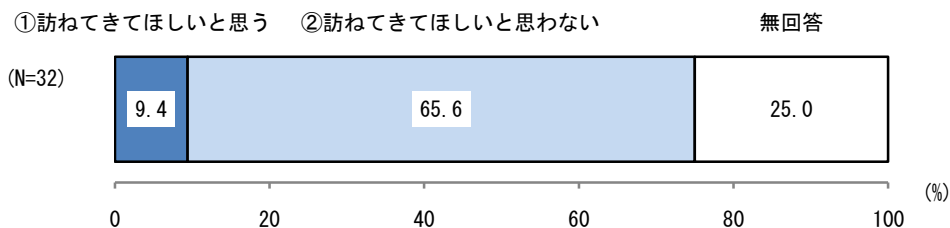
近所の人や民生委員など、地域の方に訪ねてきてほしいかについては、「訪ねてきてほしいと思う」が9.4%、「訪ねてきてほしいと思わない」が65.6%となっています。

年齢別でみると、「無回答」が多いため単純比較できませんが、各年齢層で大きな傾向の違いは見られません。

「訪ねてきてほしいと思わない」理由は、「その他」が57.1%と最も多く、次いで、「近くに親族がいる」が28.6%、「近くに友人・知人がいる」が9.5%となっています。

年齢別でみると、「80～84歳」を除く各年齢層で、「その他」と「無回答」を合わせた割合が60%を超えています。

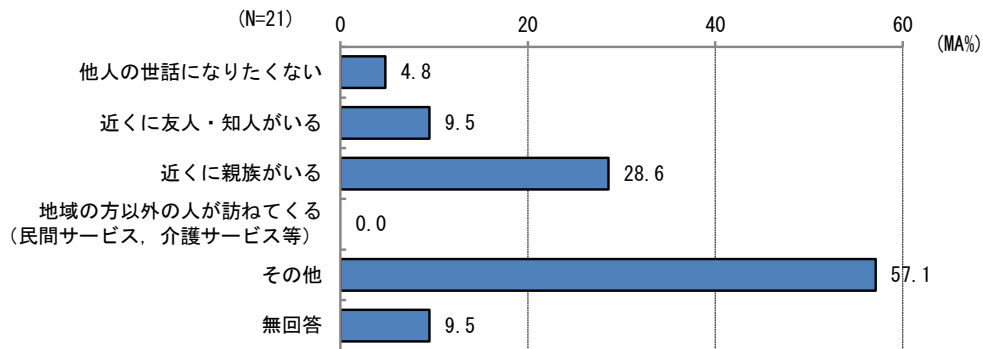
（訪問を希望するか）



【地域の人を訪ねるを希望するか別 年齢】

	回答者数 (N)	(%)		
		と訪ねてきてほしい	と訪ねてきてほしくない	無回答
75～79歳	7	14.3	57.1	28.6
80～84歳	13	0	61.5	38.5
85～89歳	7	14.3	85.7	0
90歳以上	3	0	66.7	33.3

(訪問を希望しない理由)



【地域の方の訪問を希望しない理由別 年齢】

	回答者数 (N)	(MA%)					
		他人の世話になりたくない	近くに友人・知人がいる。	近くに親族がいる	地域の方以外の人が訪ねてくる (民間サービス, 介護サービス等)	その他	無回答
75～79歳	4	0	0	25.0	0	75.0	0
80～84歳	8	12.5	12.5	37.5	0	50.0	0
85～89歳	6	0	16.7	33.3	0	33.3	33.3
90歳以上	2	0	0	0	0	100.0	0

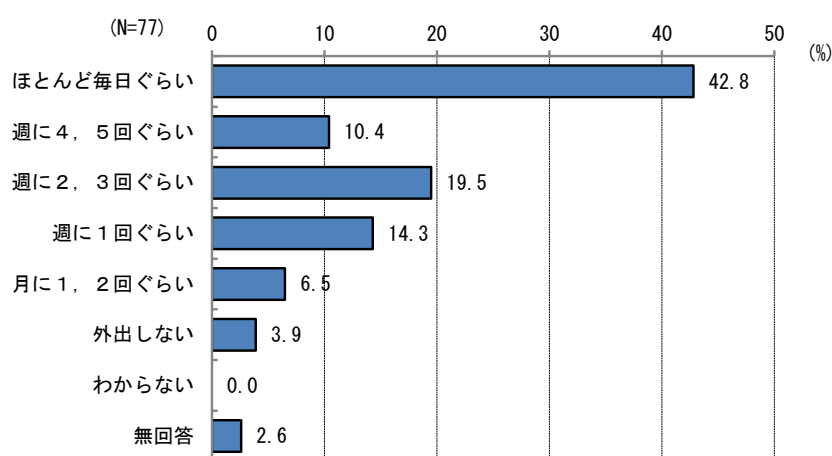
〔5〕外出の頻度

Q12 ふだん、どのくらい（の頻度で）外出していますか。

ふだん、どのくらい（の頻度で）外出しているかについては、「ほとんど毎日ぐらい」が42.8%と最も多く、次いで、「週に2, 3回ぐらい」が19.5%、「週に1回ぐらい」が14.3%となっています。また、「外出しない」は3.9%となっています。

年齢別でみると、「ほとんど毎日ぐらい」、「週に2, 3回ぐらい」は、概ね年齢が上がるほど少なくなっています。一方で、「85～89歳」では、「週に1回ぐらい」が、また、「90歳以上」では、「月に1, 2回ぐらい」が、他の年齢層に比べて多くなっています。

要介護度別でみると、「要支援1」では、「ほとんど毎日ぐらい」が80%を超えていますが、他の要介護度では、外出頻度との明確な相関関係は見られません。



【外出の頻度別 年齢】

	回答者数 (N)	ほとんど毎日 ぐらい	週に4、5回 ぐらい	週に2、3回 ぐらい	週に1回 ぐらい	月に1、2回 ぐらい	外出しない	わからない	無回答
75～79歳	18	50.0	5.6	27.8	0	5.6	11.1	0	0
80～84歳	31	51.6	16.1	19.4	9.7	0	0	0	3.2
85～89歳	16	31.3	0	12.5	43.8	6.3	0	0	6.3
90歳以上	9	22.2	22.2	11.1	11.1	33.3	0	0	0

【外出の頻度別 要介護度】

	回答者数 (N)	ほとんど毎日 ぐらい	週に4、5回 ぐらい	週に2、3回 ぐらい	週に1回 ぐらい	月に1、2回 ぐらい	外出しない	わからない	無回答
自立	1	0	0	0	100.0	0	0	0	0
申請中	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	7	85.7	0	0	14.3	0	0	0	0
要支援2	8	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	0	0	0
要介護1	8	37.5	0	12.5	12.5	25.0	12.5	0	0
要介護2	5	20.0	0	20.0	40.0	20.0	0	0	0
要介護3	2	50.0	0	0	50.0	0	0	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0

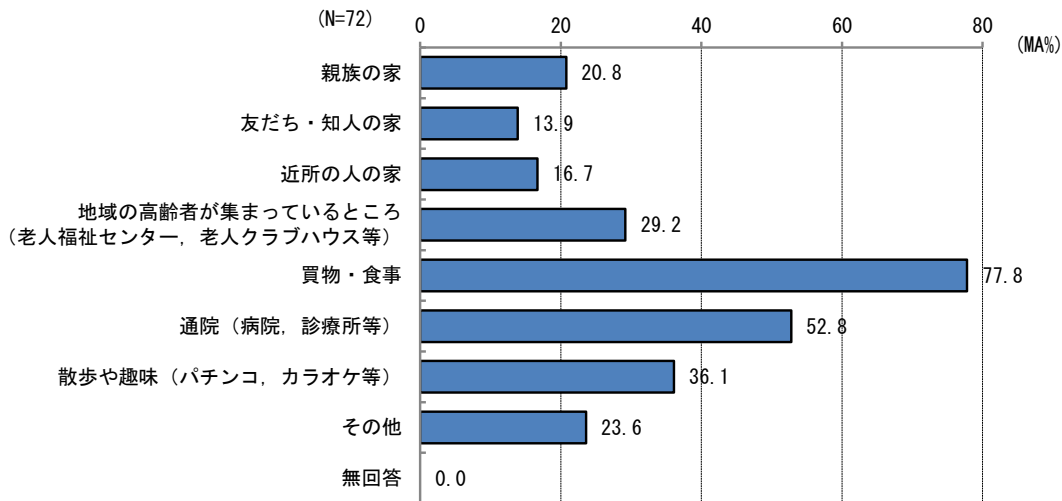
〔６〕 普段の外出先

《Ｑ１２で外出していると回答された方のみ》
 Ｑ１２－２ ふだん、どんなところによく外出しますか。あてはまるものすべてに「○」をしてください。

ふだん、どんなところによく外出するかについては、「買物・食事」が 77.8%と最も多く、次いで、「通院（病院，診療所等）」が 52.8%，「散歩や趣味（パチンコ，カラオケ等）」が 36.1%となっています。

年齢別でみると、「友だち・知人の家」，「地域の高齢者が集まっているところ（老人福祉センター，老人クラブハウス等）」，「買物・食事」は，概ね年齢が上がるほど少なくなっています。

要介護度別でみると，普段の外出先との明確な相関関係は見られません。



【普段の外出先別 年齢】

	回答者数 (N)	(MA%)								
		親族の家	友だち・知人の家	近所の人の家	老人クラブハウス等	地域の高齢者が集まっているところ(老人福祉センター)	買物・食事	通院(病院、診療所等)	散歩や趣味(パチンコ、カラオケ等)	その他
75～79歳	16	31.3	25.0	18.8	31.3	100.0	25.0	50.0	37.5	0
80～84歳	30	20.0	13.3	16.7	33.3	80.0	56.7	30.0	20.0	0
85～89歳	15	26.7	13.3	13.3	26.7	66.7	73.3	26.7	13.3	0
90歳以上	9	0	0	22.2	11.1	44.4	55.6	55.6	33.3	0

【普段の外出先別 要介護度】

	回答者数 (N)	(MA%)								
		親族の家	友だち・知人の家	近所の人の家	老人クラブハウス等	地域の高齢者が集まっているところ(老人福祉センター)	買物・食事	通院(病院、診療所等)	散歩や趣味(パチンコ、カラオケ等)	その他
自立	1	0	100.0	0	0	0	0	0	100.0	0
申請中	1	0	0	0	0	0	100.0	100.0	0	0
要支援1	7	0	14.3	42.9	42.9	85.7	57.1	42.9	28.6	0
要支援2	8	0	0	12.5	25.0	75.0	50.0	25.0	37.5	0
要介護1	7	0	0	0	14.3	42.9	28.6	28.6	14.3	0
要介護2	5	20.0	20.0	0	20.0	40.0	40.0	20.0	0	0
要介護3	2	0	0	0	50.0	100.0	100.0	100.0	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 (見守り編) 見守る側の方々に対するヒアリング結果について

(1) 区社会福祉協議会事務局・地域包括支援センターの方々(計4人)に対するヒアリング

ア 調査地域の見守り活動の概況について

- ・ 東山区では、学区社会福祉協議会のタイプとして、民生・児童委員・老人福祉員が学区社会福祉協議会に役員・委員として参画し、一体的に活動するタイプと、それぞれ別個に活動するタイプがある。調査地域の学区社会福祉協議会は前者のタイプである。
- ・ 調査地域の学区社会福祉協議会では、民生・児童委員・老人福祉員のほか、やってもよいという方に委員として就任いただいている。民生・児童委員・老人福祉員がおられない町内もあるが、それぞれ役割分担し、各町内を網羅されており、一人暮らし高齢者ごとの担当が決められている。
- ・ 学区社会福祉協議会の主な活動として、①訪問系の活動では、布団クリーニング(年1回)・配食サービス(年2回)を実施。また、一人暮らし高齢者の誕生日頃に訪問(年1回)。②居場所的な活動では、健康すこやか学級(月1回)、七夕の会食会(年1回)。このほか、介護予防特化タイプの健康すこやか学級(健康体操教室。週1回)。③見守りに関しては、70歳以上の一人暮らし高齢者を学区社会福祉協議会で独自に名簿を作成して把握。

イ 地域包括支援センターによる一人暮らし高齢者全戸訪問事業について

- ・ 調査地域の一人暮らし高齢者数は、平成28年2月末現在で405人。26年度実績で面談できた方が51.2%、連絡はとれたが面談を辞退された方が25.0%、連絡が取れず接触継続中の方が23.8%。
- ・ 訪問の受入れのよい方は、地域と繋がっている方で、健康すこやか学級等に参加している方や各関係機関からの訪問を受け入れている方等。訪問の受入れの悪い方は、高齢者扱いされることや他人の世話になるような年齢ではないといった抵抗感の強い方等。御夫婦のどちらかが亡くなられたときも、単身になられたからといって、全戸訪問事業の対象者としてすぐに訪問されるのを希望される方は少ない。
- ・ まず、訪問したいので都合のいい日時を教えてほしい旨を手紙に書く。連絡がもらえなければ2週間後を目途にアポなしで訪問する。それでも会えない場合は不在票を投函する。不在票を入れると、数件は元気であるとか、仕事をしているとかの返事をもらえる。会えるまでその繰り返しになる。
- ・ 全戸訪問は4年目を迎えたが、初回の訪問で詳しいことを話してもらえることは滅多にない。初回ではまずお会いし、その後道で出会った際に挨拶を交わすなど、何回か繰り返し顔を合わせることでやっと話してもらえるようになる。
- ・ 訪問時の面談は、ほとんどが玄関先。初回から家の中に入れてもらうのは難しい。時間をかけて面談したいが、多くは「大丈夫」と言われて、5～10分程度で終わる場合が多い。一方、訪問を心待ちにいただいている場合は、2時間ぐらい面談することもある。
- ・ 全戸訪問によって、支援に繋がるケースはそれほど多くはない。しかし、名刺を置いていくことにより、本人や家族がSOSを出すときに役に立ち、その

後の支援に繋がることもあるので、周知や広報活動は必要。

- ・ 70歳以上や75歳以上など、ターゲットが絞れると、関与の度合いや会えない方へのアプローチもより丁寧にできると思う。しかし、SOSの電話連絡をもらって訪問してみると、何箇所もひどい状態で寝込んでおられたという60歳代の方の事例もあったことから、仮にターゲットを絞るとしても、何か異変があれば連絡してもらえらる仕組みは必要。

ウ 一人暮らし高齢者以外で地域の見守りが必要と思う高齢者の状態像について

- ・ 一人暮らし高齢者の場合、様々なところで把握されているので、見守りに繋がりやすいし、関係機関も支援に入りやすい。一方で、同居している子が精神疾患を患っている世帯など、高齢者よりも家族に課題がある世帯は、情報が入りにくく、支援にも入りにくい。また、マンション住まいの方、町内会に入っていない高齢者は、地域との接点が少なく情報が入ってこないため、地域の方も支援の仕方に困っている。
- ・ 本当は助けが必要なのに、本人が我慢してSOSを出さないケースがある。まだ頑張ると本人に言われると、支援に入るのが難しくなる。中には、御近所だからこそSOSが出せないという方もおられる様子。

エ 高齢者が増える中で、見守りを充実していくために、また見守る側の負担を軽減していくために、今後どのようなことができればよいかどうかについて

- ・ 新聞等の毎日届くものの状況から異変を感じるケースもたくさんあると思われるので、宅配事業者等との協定による安否確認の仕組みについても検討していく必要がある。
- ・ 担当圏域には、「一人暮らしお年寄り見守りサポーター」の登録者が80人余いる。登録しなくても、多くの方がゲートキーパーとしての役割を担ってくれるようになるのが理想ではあるが、現在登録しているサポーターを地域ネットワークに組み込んで活用していくことはできないか。
- ・ 多くの人に地域の一つのアンテナになるという自覚を持ってもらうことが重要。一人でできることは限られているが、アンテナ同士が繋がって行くとかなりの力になる。うまくアンテナ同士がつながる仕掛けが必要ではないか。

(2) 民生・児童委員、老人福祉員、学区社会福祉協議会の方々（計15人）に対するヒアリング

ア 地域での近所付き合いについて

- ・ 各町によって異なるが、基本的には、回覧板を渡したりする付き合い。大きな分譲マンションもあるが、代々地域で暮らしている方や、学校卒業後もそのまま地域で暮らしている人が多い。一方で、空き家も多く、地蔵盆もお年寄りの集まりになりつつある。
- ・ マンションの住人は、町内会に入っていないので、どういう人がいるのか分からない。

イ 主にどのような方が見守り活動をしているかについて

- ・ 概ね60歳代後半が平均。若い方は40歳代、最高齢で70歳代。
- ・ ヒアリング参加者の内、1人は通算30年ぐらい、3人は通算20年ぐらい、

II-2. 東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査

7人は通算10年ぐらい活動している。また、8人は、お仕事をされている。

- ・ ヒアリング参加者の内、民生・児童委員は9人、老人福祉員は4人、学区社会福祉協議会の委員（注：調査地域では、民生・児童委員と老人福祉員が全員、学区社会福祉協議会の役員・委員に就任しているため、「学区社会福祉協議会の委員」とは、民生・児童委員又は老人福祉員を兼ねていない方）は1人。現在、民生・児童委員をしている9人中、かつて老人福祉員をしていた方は1人。また、老人福祉員4人中、かつて民生・児童委員をしていた方は2人。
- ・ 民生・児童委員や老人福祉員に就任した動機としては、頼まれて引き受けるケースがほとんど。頼んでも断られることも多い。民生・児童委員は同年代の方が多いため、一気に辞任する時期が来ると補充が難しいと思う。なお、民生・児童委員から老人福祉員になる場合や、老人福祉員から民生・児童委員になる場合も多い。

ウ 一人で何人ぐらいの一人暮らし高齢者の見守り活動をしているか、また、どのようにして一人暮らしであることを把握しているかについて

- ・ 一人当たり、概ね10人ぐらいの一人暮らし高齢者を担当。
- ・ 学区社会福祉協議会に、各町の担当者がいて、その方がだいたいの状況を把握している。また、本人から生年月日をお聞きして登録していただいたものを、「健康すこやか学級」の名簿（注：この地域では、「健康すこやか学級」の案内チラシ等を持参して訪問活動を実施）として各町の担当者が持っている。

エ 見守りしている高齢者の方は、主にどのような方か、また、拒否等で見守りにつながらない方は、主にどのような方かについて

- ・ （見守りしている）一人暮らしの方は女性の方が多い。男性は1人（健康すこやか学級の参加者）。ほとんどは（見守る側よりも）年上の方。
- ・ 見守りにつながらない方は、自分は元気だし、見守られるような年齢ではないと思われる方、あるいは自分の意見をしっかり言われる方、知識がある方等に多い様子。どちらかというとなりに多い。近所に親族がいるので訪問は必要ない、というケースは少ない。
- ・ 最初に訪問等を拒否された方は、何回行ってもだめなケースが多い。

オ 見守りしている高齢者の方に、どのような関わり方をしているかについて

- ・ 学区社会福祉協議会では、毎月1回の健康すこやか学級、毎週1回の健康体操教室、毎月1回シニアクラブがカラオケ教室を実施しており、それぞれの案内チラシを配布している。催しに来られたときに渡すか、訪問して渡している。留守の場合はポストに投函。催しに参加される方については、これで月1回以上のコミュニケーションが図れる。
- ・ 催しに参加される方はいいが、参加されない方が心配。そうした方にも、時々ポストに案内チラシ等を投函するようにしている（が、何の返事もないケースが多い）。案内チラシを受け取られても、人が集まるところに出るのは嫌だという人はいる。特に男性。色々な行事をしているが、女性の参加が多いので、恥ずかしいと思われて躊躇される様子。健康すこやか学級の男性参加者は1人。カラオケ教室は4～5人。健康体操教室は女性のみ。
- ・ 学区社会福祉協議会では、誕生日の時に洗剤を届けている。その時に、年1

回でも洗剤を渡しがてら安否確認ができる。それが最低限の活動。一方、認知症等が進行して生活が心配な方には頻回訪問している。

- ・ 訪問は迷惑がられることが多い。電話でさえ迷惑がられることがある。安否確認ぐらいではこちらも遠慮してしまうので、催しの案内等で訪問する以外では、用がないのにわざわざ訪問することはしない。道で会った時は話をするが。訪問しても、玄関まで出てくるのも大変なのに、と不満を言われることもある。
- ・ 夏季の熱中症対策で冷えピタシートを配布しているが、訪問のきっかけになるし、暑い時期の安否確認にもなる。

カ 見守り活動をしていて困った事例や、工夫していることなどについて

- ・ 一人暮らし高齢者の方で、最終的に親族の了解を得て鍵を壊して入ったところ、本人が何も食べられない状態になっていたことがあった。電気が点けっぱなしだったことや、新聞を取っておられなかったことから、周囲は緊急事態を発見しづらかった。
- ・ マンション住まいの一人暮らし高齢者の方で、新聞を取りに行くためにドアをあけた際、そのまま倒れたことがあった。その時はマンションの住人に気づいてもらったのでよかったが、家の中で倒れていたら、分からなかったのではないか。
- ・ 担当している町内に、近所のことを良く知っている方がいるので、まずはそういう方を訪ねて、町内の状況を把握するようにしている。

キ 一人暮らしの方以外で、どのような高齢者の方に見守りが必要かについて

- ・ 病気がちの高齢夫婦世帯。いずれか若しくは両方が認知症を患っている高齢者夫婦世帯。子と同居しているが、高齢者が昼間独居状態になる世帯。
- ・ 孫との同居世帯で、孫が面倒を見られなくなった事例があった。見守りの対象外なので、状況確認も十分できておらず、また、そういった方は外に助けを求めることにも遠慮しがちなので、支援を行うのが難しい。

ク これから高齢者が増えていく中で、見守り活動を充実していくために、または、見守る側の負担を軽減していくために、どのようなことができればよいかについて

- ・ 一番目が届くのは近隣の方。いざというときは民生・児童委員や老人福祉員だけでなく、お隣同士で声をかけてもらえるのがよい。
- ・ 認知症が疑われる場合、御家族の了解が得られれば、近隣の方にその旨をお知らせして、協力を依頼することもよい。
- ・ 民生・児童委員、老人福祉員以外の方でも、例えば電気が点けっぱなしだったり、新聞が溜まっていたり、何かあったときは連絡をくれるような仕組みがあるとよい。多くの団体がつながりながら、ゆくゆくはみんなで支援に入っていくとよい。
- ・ 地域で催しを実施しても男性が参加してくれない。男性が集まる催しを考えていきたい。同年代の男性が酒席で盛り上がるのは、ビー玉をしたことや、疎水で泳いだことなど、懐かしい子ども時代の遊びの話。男性が集まりやすい居場所づくりが課題。
- ・ 小学校で高齢者に昔の遊びを教えていただく教室をしたことがある。男性の高齢者が子どもとの関わりの中で活躍していただけるとよい。

Ⅱ－２．東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査

參考資料

京都市高齢者生活実態調査票

京都市では、高齢者の皆様方が、日頃どのような生活をされ、高齢社会等についてどのようなお考えをお持ちかをお尋ねすることにより、今後の高齢者施策の参考にさせていただくため、5年に一度「京都市高齢者生活実態調査」を実施しています。

この調査の対象となられる方は、市内にお住いの60歳以上の方（平成27年11月1日現在）の中から無作為に選ばせていただいた5,000人の皆様です。

お答えいただいた内容は、統計資料を得る目的のみに使用し、皆様には不利益のないよう、秘密の保持には万全を期しております。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年11月

京 都 市

【調査に関するお問い合わせ】

京都市保健福祉局長寿社会部長寿福祉課（担当：今村，舟木）

電 話：075（251）1106

FAX：075（251）1114

【記入上のお願い】

- 1 調査票は封筒の宛名の方、御本人が記入してください。ただし身体上の問題や病気等により記入が不可能な場合は、その方の状況がわかる方が代わりに御記入ください。
- 2 お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。質問により一つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。

〈記入例〉

問● あなたの性別は。(どちらかに○)

1 男性	2 女性
------	------



「男性」と回答する場合、「1」に○印

【返送方法及び期日】

記入していただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れ、平成27年12月11日(金)までに御返送くださいますようお願いいたします。

あなた自身(このアンケートの対象者)のことについておたずねします。

問1 あなた(あて名のご本人:以下の問も同じ)の年齢は。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 60～64 歳 | 4. 75～79 歳 |
| 2. 65～69 歳 | 5. 80～84 歳 |
| 3. 70～74 歳 | 6. 85 歳以上 |

問2 あなたの性別は。(どちらかに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたがお住まいの区・支所は。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1. 北区 | 8. 南区 |
| 2. 上京区 | 9. 右京区 |
| 3. 左京区 | 10. 西京区 |
| 4. 中京区 | 11. 西京区(洛西支所) |
| 5. 東山区 | 12. 伏見区 |
| 6. 山科区 | 13. 伏見区(深草支所) |
| 7. 下京区 | 14. 伏見区(醍醐支所) |

おわかりの方は、元学区(お住まいの小学校区。統合した学区は統合前の学区名)をご記入ください。

学 区

問4 あなたの要介護度は。(○は1つ)

- | |
|-----------------|
| 1. 要支援1 |
| 2. 要支援2 |
| 3. 要介護1 |
| 4. 要介護2 |
| 5. 要介護3 |
| 6. 要介護4 |
| 7. 要介護5 |
| 8. 要介護認定を受けていない |

問5 あなたの同居者(家族)の構成は。(○は1つ)

- 1. 単身世帯 (ひとり暮らし)
- 2. 一世代 (夫婦のみ)
- 3. 一世代 (兄弟姉妹のみ)
- 4. 二世帯同居 (あなたと親)
- 5. 二世帯同居 (あなたと子)
- 6. 三世帯同居 (あなたと子と孫)
- 7. 三世帯同居 (あなたと親と子)
- 8. その他 (具体的な内容を以下に記載してください。)

子がいる方は、**問6**へお進みください。

子がいない方は**問8**へお進みください。

子がいる方全員にお聞きします。

問6 あなたは子と同居したい(し続けたい)ですか。(○は1つ)

- 1. できれば同居したい
- 2. できれば近くに住んでいてほしい
- 3. 同居したいと思わない
- 4. その他 (具体的に

子がいる方で、子と同居していない方は、**問7**へお進みください。
// 同居している方は、**問8**へお進みください。

子がいる方で、子と同居をしていない方にお聞きします。

問7-1 子はどこに住んでおられますか。(最も近くにお住まいの子の居住地1つに○)

1. 同じ区内
2. 京都市内
3. 京都市を除く京都府下
4. 大阪、兵庫、滋賀、奈良など近畿圏内
5. 東京、埼玉、千葉、神奈川など首都圏内
6. その他 (具体的に)

問7-2 子との交流頻度は(手紙や電話等も含みます。)(○は1つ)

1. 毎日
2. 週に1~2回
3. 月に1~2回
4. 年に数回
5. この1年間ほとんどない
6. その他 (具体的に)

問7-3 子と同居していない理由は。(○は3つまで)

1. お互い健康で同居する必要がないから
2. 現在の住所・住まいを離れたくないから
3. 近所に友人・知人がいるから
4. 同居できる家の広さがないから
5. お互い気兼ねなく暮らしたいから
6. 子が別居を希望するから
7. 子や自分の仕事の関係があるから
8. その他 (具体的に)

問8へお進みください。

あなたの健康に関することについておたずねします。

問8 あなたの日ごろの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. 大した病気や障害などもなく、普通に生活している
2. 何らかの病気や障害などはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる
3. 何らかの病気や障害などがあって、外出は一人でできないが、家の中での生活はおおむね自分で行っている
4. 何らかの病気や障害などがあって、家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中も主にベッド（ふとん）の上で生活している

問9 あなたは現在、治療中又は日常生活に支障がある病気はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. 高血圧症 | 11. 糖尿病 |
| 2. 高脂血症 | 12. がん |
| 3. 心臓病（心筋梗塞，狭心症など） | 13. 整形的疾患（腰痛，ひざ痛など） |
| 4. 脳血管疾患（脳梗塞，脳出血など） | 14. 眼の病気 |
| 5. 呼吸器系疾患（喘息，肺炎など） | 15. 耳，鼻の病気 |
| 6. 結核 | 16. 精神疾患（うつ病など） |
| 7. 消化器系疾患 | 17. 認知症 |
| 8. 泌尿器系疾患 | 18. 歯の病気 |
| 9. 腎臓病 | 19. 特にない |
| 10. 肝臓病 | 20. その他（以下のカッコ書きに具体的な内容を記入ください。） |

(

)

就労に関することについておたずねします。

問 10-1 あなたは現在、収入になる仕事をしていますか。(どちらかに○)

1. はい → 問 10-2へ 2. いいえ → 問 10-4へ

問 10-2 「1. はい」を選ばれた方にお伺いします。
あなたの主な就労形態は何ですか。(○は1つ)

1. 自営業（経営、手伝い等を含む）
2. 会社員（会社役員等含む）
3. 臨時・日雇い・パート
4. シルバー人材センターからの紹介
5. 内職
6. その他

〔具体的に〕

問 10-4 「2. いいえ」を選ばれた方にお伺いします。
その主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 働きたいが仕事がないから
2. 自分に合った仕事がないから
3. 病気がちであるから
4. 家族が反対するから
5. ボランティア活動などをしたいから
6. 特に生活には困っていないから
7. 働きたくないから
8. その他

〔具体的に〕

問 10-3 働いている主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 生活費をまかなうため
2. こづかいがほしいから
3. 健康によいから
4. 友達がほしいから
5. 仕事そのものが面白いから
6. 知識や技能を生かしたいから
7. 時間に余裕があるから
8. 社会のために役立ちたいから
9. その他

〔具体的に〕

問 10-5 何歳まで働きたいですか。(○は1つ)

1. 60～64歳
2. 65～69歳
3. 70～74歳
4. 75～79歳
5. 80歳以上

収入に関することについておたずねします。

問11 あなたは生活費をどのようにして得ていますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 1. 働いて得る給与等 | 5. 不動産などの賃貸収入や利子配当所得 |
| 2. 年金・恩給 | 6. 同居していない子などからの援助・仕送り |
| 3. 預貯金の引き出し | 7. 生活保護 |
| 4. 同居家族の収入 | 8. その他(以下のカッコ書きに具体的な内容を記入ください。) |

(

)

問12 あなた個人の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 50万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 |
| 2. 50万円～100万円未満 | 7. 500万円～600万円未満 |
| 3. 100万円～200万円未満 | 8. 600万円～700万円未満 |
| 4. 200万円～300万円未満 | 9. 700万円以上 |
| 5. 300万円～400万円未満 | |

問13 あなたの世帯(同居して同一生計を営む世帯)の年間の総収入(年金などを含め、税込みで)はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 50万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 |
| 2. 50万円～100万円未満 | 7. 500万円～600万円未満 |
| 3. 100万円～200万円未満 | 8. 600万円～700万円未満 |
| 4. 200万円～300万円未満 | 9. 700万円以上 |
| 5. 300万円～400万円未満 | |

近所づきあい・外出に関することについておたずねします。

問 14-1 あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手
2. 家事の手伝い
3. 荷物を預かったりすること
4. 食料品・日用品などの買い物の手伝い
5. 子どもたちの世話（遊び相手や見守り）
6. 一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど
7. 急病人が出たときの世話や手伝い
8. 冠婚葬祭の手伝い
9. その他（具体的に

問 14-2 あなた自身が御近所に頼むことができそうなことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手
2. 家事の手伝い
3. 荷物を預かってもらったりすること
4. 食料品・日用品などの買い物の手伝い
5. 子どもたちの世話（遊び相手や見守り）
6. 一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど
7. 急病人が出たときの世話や手伝い
8. 冠婚葬祭の手伝い
9. その他（具体的に

住まいに関することについておたずねします。

問 15 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（分譲マンション）
3. 民間賃貸住宅（一戸建て）
4. 民間賃貸住宅（マンション・アパートなど）
5. 高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなど）
6. 公営住宅
7. 社宅・官舎
8. 間借・住み込み
9. その他（以下のカッコ書きに具体的な内容を記入ください。）

{

}

問 16-1 あなたにとって、あなたが今、お住まいの地域(中学校区の範囲程度)の住み心地はどうですか。(○は1つ)

1. とても住み心地がよい
2. まあまあ住み心地がよい
- 3.それほど住み心地がよくない
4. 非常に住み心地がよくない
5. その他（以下のカッコ書きに具体的な内容を記入ください。）



{

}

問 16-2 上記問 16-1で「3」、「4」とお答えの方にお聞きします。「住み心地がよくない」主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 環境がよくないから（騒音がある、公園や緑が少ないなど）
2. 買い物などの日常生活が不便だから
3. 病院や公共施設（福祉施設等）が近くにないから
4. 安全でないから（事故や犯罪にあう危険性があるなど）
5. 近所での人間関係がよくないから
6. その他

問 17-1 あなたは、今のお住まいからの住み替えを考えていますか。(○は1つ)

- 1. 考えている
- 2. 考えていない
- 3. わからない

問 17-2へ

問17-2 上記問17-1で「1. 考えている」とお答えの方にお聞きします。

○ 住み替えを考えている理由は何でしょうか。(あてはまるもの全てに○)

- 1. 住宅事情のため(家が古い・狭い・日当たりがよくないなど)
- 2. 住宅環境のため(買い物などの日常生活が不便・周辺で騒音があるなど)
- 3. 家族事情のため(子どもとの同居, 子どもの転勤, 孫の教育など)
- 4. 近所づきあいが難しいため
- 5. その他(以下のカッコ書きに具体的な内容を記入ください。)

(

)

○ 住み替えはどのような地域を希望しますか。(○は1つ)

- 1. 京都市内のまちなかで便利なところ
- 2. 京都市内の郊外で静かな緑の多いところ
- 3. 京都市外
- 4. その他(以下のカッコ書きに具体的な内容を記入ください。)

(

)

生活の困りごと・相談相手についておたずねします。

問 18 あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。(○は3つまで)

1. 自分や家族の健康状態のこと
2. 働く場がないこと
3. 住宅事情や住環境のこと
4. 生きがいや楽しみがないこと
5. 生活費等，経済的なこと
6. 財産・預金などの管理のこと
7. 訪問販売や勧誘販売などの消費者問題のこと
8. 家族関係のこと
9. 友人関係，近所づきあいのこと
10. 身近な相談相手や話し相手がないこと
11. 災害時などの対応のこと
12. 特に困っていることはない
13. その他 { 具体的に

問19 あなたに悩みや心配ごとがある場合、相談できる相手はどのような人ですか。

(①～⑭のそれぞれについて 1, 2, 3 のどれか1つに○)

	項目	1. 気軽に 相談できる	2. 相談した ことがある	3. 相談した ことがない
①	家族・親戚	1	2	3
②	近所の知人・友人	1	2	3
③	診療所・病院・薬局（医師，歯科医師，薬剤師，看護師）	1	2	3
④	民生・児童委員	1	2	3
⑤	老人福祉員	1	2	3
⑥	町内会役員	1	2	3
⑦	保健センター，福祉事務所などの職員	1	2	3
⑧	警察署や交番などの警察官	1	2	3
⑨	消費生活総合センターなど消費者相談窓口の職員	1	2	3
⑩	地域包括支援センターの職員	1	2	3
⑪	地域介護予防推進センター*の職員	1	2	3
⑫	介護支援専門員（ケアマネージャー）	1	2	3
⑬	⑫以外の介護サービス事業所の職員	1	2	3
⑭	電話相談（相談専用ダイヤルなど）	1	2	3

※地域介護予防推進センターとは？

65歳以上の方を対象に，市民の皆様が介護を必要とせずいつまでも元気に暮らせるよう，介護予防の普及推進を図っています。

問20 あなたは、今お住まいの地域(中学校区の範囲程度)で生活していく上で、今後、必要とお感じのことは何ですか(○は3つまで)。

1. 特別養護老人ホーム，デイサービスセンターなどの介護サービス施設
2. 地域内の身近な医療サービス（訪問医療，訪問看護など）
3. 公園・緑地などの憩える場所
4. 御近所の方同士で気軽に集える施設（集会所，地域サロンなど）
5. 外出時の身近な交通手段
6. 災害や犯罪などに対する地域での取組（防災・防犯体制など）
7. 御近所の助け合い意識・協力意識
8. 近所に市場や商店街，スーパーマーケット，金融機関などがあること
9. 買い物の手伝いや荷物の持ち運びなどの生活支援サービス
10. 特になし
11. その他（具体的に

情報入手についておたずねします。

問21 あなたは、ふだん生活に必要な情報をどのようなものから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 人や口コミ | 5. 携帯電話（メールやインターネット） |
| 2. 新聞・雑誌・チラシ等 | 6. 何も使っていない |
| 3. テレビ・ラジオ | 7. その他 |
| 4. パソコン（メールやインターネット） | （具体的に |

友人関係・社会参加活動・生きがい活動についておたずねします。

問22 あなたが、ふだん親しくしている友人・仲間はどのような方ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 学校時代の友人 | 4. 趣味を通じた仲間 |
| 2. 職場の同僚・元同僚 | 5. いない |
| 3. 近所の人 | 6. その他 |

（具体的に

問23 あなたは、現在参加している団体や組織はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. すこやかクラブ京都（老人クラブ）
2. 町内会・自治会・女性会
3. 趣味のサークル・団体
4. 健康・スポーツのサークル・団体
5. 学習・教養のサークル
6. 市民活動団体（NPO）、ボランティア団体
7. 参加しているものはない
8. その他（具体的に

問24-1 あなたは、この1年間に、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・文化・スポーツ活動
2. 生活環境改善（環境美化，緑化推進，まちづくりなど）
3. 生活安全活動（交通安全，防犯・防災など）
4. 高齢者の方への支援（家事援助，移送など）
5. 障害のある方への支援（家事援助，移送など）
6. 子育て支援（保育の手伝いや地域での子どもの見守りなど）
7. 地域行事（祭などの地域の催しものの世話など）
8. 参加したことはない
9. その他（具体的に

問24-2 あなたは、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に、今後参加したいと思うものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味・文化・スポーツ活動
2. 生活環境改善（環境美化，緑化推進，まちづくりなど）
3. 生活安全活動（交通安全，防犯・防災など）
4. 高齢者の方への支援（家事援助，移送など）
5. 障害のある方への支援（家事援助，移送など）
6. 子育て支援（保育の手伝いや地域での子どもの見守りなど）
7. 地域行事（祭などの地域の催しものの世話など）
8. 今後参加したいと思うものはない
9. その他（具体的に

健康づくりや介護予防, 見守りについておたずねします。

問25 あなたは, 健康づくりや介護予防のために, どのようなことをしていますか

(①～⑩のそれぞれについて 1, 2, 3 のどれか1つに○)

	項目	している	今はしていないが 今後はしてみたい	特に考えていない
①	ウォーキング・散歩	1	2	3
②	ジム等でトレーニング	1	2	3
③	ゴルフ・水泳などのスポーツ	1	2	3
④	軽い体操(ストレッチ, ラジオ体操など)	1	2	3
⑤	健康教室に参加	1	2	3
⑥	介護予防教室に参加	1	2	3
⑦	健康診断を受診	1	2	3
⑧	歯科検診を受診	1	2	3
⑨	ボランティア活動	1	2	3
⑩	収入のある仕事	1	2	3

問26 あなたは, 地域の高齢者の見守り(安否確認や話し相手等)をしていますか(○は1つ)。

1. している
2. 今はしていないが, 今後はしてみたい
3. 特に考えていない

問27-1 地域の方(民生・児童委員や御近所の方)から見守りを受けたいと思いますか。

(○は1つ)

1. 受けたい
2. 受けたくない
3. わからない

問27-2へ

問27-2 今後、どういう状況になったら、地域の方の見守りを受けたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. もう少し年をとってから
2. 健康状態の悪化等により、外出がむずかしくなってから
3. 近くに頼れる人が少なくなってから
4. 一人暮らしになってから
5. 受けたくない
6. わからない

問28-1 65歳以上の一人暮らし高齢者世帯を、地域包括支援センター(京都市が運営を委託している公的な相談窓口)の職員が日常生活での困りごと等の相談に応じるとともに、御希望に応じて民生・児童委員等による日ごろの見守りにつなげるための訪問活動をしています。一人暮らしの場合、若しくは、今後一人暮らしになった時、訪問を受けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 受けたい
2. 受けたくない
3. わからない

問28-2へ

問28-2 受けたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分には必要がない
2. 一人で大丈夫だから
3. 近くに友人・知人がいる
4. 近くに親族がいる
5. 地域の方(民生・児童委員等)から受けている
6. 地域の方以外の人から受けている(民間サービス・介護サービス等)
7. その他()

在宅医療等についておたずねします。

問29 あなたには、気軽に相談でき、何かあれば診療を受ける、決まった「かかりつけ医※」がいますか。(どれか1つに○)

※かかりつけ医とは？

かかりつけ医とは、身近にあって、日常的に健康に関する相談ができ、また必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる医師のことを言います。

1. かかりつけ医と呼べる医師がいる
2. かかりつけ医と呼べる医師はいないが、何かあれば受診する医療機関は決まっている
3. そのような医師・医療機関はない
4. わからない

問30 もし、あなたが病気や老い等の理由で、自宅での療養を検討するとした場合、不安に思うことは何ですか。(①～⑧のそれぞれについて 1, 2, 3, 4, 5 のどれか1つに○)

	項目	1. 不安に思う	2. やや思う	3. あまり思わない	4. 不安に思わない	5. わからない
①	適切に自宅に訪問して対応してくれる医師・看護師がいるかどうか	1	2	3	4	5
②	夜間・緊急時に対応してくれる医師・看護師がいるかどうか	1	2	3	4	5
③	例えばがん末期でも痛みをコントロールしながら自宅で過ごせるかどうか	1	2	3	4	5
④	病状が急変した時に、すぐに一時的に入院できる病院があるかどうか	1	2	3	4	5
⑤	適切に自宅に訪問してくれる介護サービスがあるかどうか	1	2	3	4	5
⑥	介護してくれる家族等への負担	1	2	3	4	5
⑦	心配事があった時に相談できるところがあるかどうか	1	2	3	4	5
⑧	経済的な負担	1	2	3	4	5
⑨	その他 ()					

問31-1 もし、あなたが万一治らない病気になったり、死期が迫っていると診断された時に、どのような医療や介護が受けたいかを作成しておられますか。

(①～③のそれぞれについて、1. 2. 3. のどれか1つに○)

①	家族に対して	1. 作成している	2. 作成していない	3. まだ作成していないが今後作成しようと思っている
②	医療機関等に対して	1. 作成している	2. 作成していない	3. まだ作成していないが今後作成しようと思っている
③	「事前指示書※」 について	1. 作成している	2. 作成していない	3. まだ作成していないが今後作成しようと思っている

※事前指示書とは？

自分で意思決定することが困難になった場合に備えて、あらかじめどのような医療等を受けたいか、あるいは受けたくないかを書面で示したものを言います。

問31-2 あなたが亡くなった後の財産の相続や葬儀等をどうしてほしいかを作成しておられますか。

(①～③のそれぞれについて、1. 2. 3. のどれか1つに○)

①	家族に対して	1. 作成している	2. 作成していない	3. まだ作成していないが今後作成しようと思っている
②	遺言書について	1. 作成している	2. 作成していない	3. まだ作成していないが今後作成しようと思っている
③	エンディングノート について	1. 作成している	2. 作成していない	3. まだ作成していないが今後作成しようと思っている

※エンディングノートとは？

自分の人生の最期に備えて、財産処分や葬儀等についての自分の希望や意思を書面で示したものを言います。ただし、遺言書と異なり、法的拘束力はありません。

東山区一人暮らし後期高齢者生活実態調査 聞取り調査項目

(住まい編)

I お住まいの住宅について

Q 1 現在の住宅に、お住まいになられたのはいつごろですか。 又は、お住まいになってから、何年ぐらいたっていますか。

(解説) 具体的な年号, または, 何年住んでいるかのどちらかを聞いてください。
住宅・土地統計調査や国勢調査の選択肢も参考にして, 聞いてください。

A 1 住み始めた時期	明治	<input style="width: 100%;" type="text"/>	年
	大正	<input style="width: 100%;" type="text"/>	年
	昭和	<input style="width: 100%;" type="text"/>	年
	平成	<input style="width: 100%;" type="text"/>	年
A 1 居住年数		<input style="width: 100%;" type="text"/>	年間

(参考)

- 住宅・土地統計調査 問7では、「現住居への入居時期」という設問に対し、以下の選択肢があります。
 - () 平成25年
 - () 平成24年
 - () 平成23年
 - () 平成22年
 - () 平成21年
 - () 平成18～20年
 - () 平成13～17年
 - () 平成8～12年
 - () 平成3～7年
 - () 昭和56年～平成2年
 - () 昭和46～55年
 - () 昭和36～45年
 - () 昭和26～35年
 - () 昭和25年以前

- 国勢調査 問8では、「現在の場所に住んでいる期間」という設問に対し、以下の選択肢があります。
 - () 出生時から
 - () 1年未満
 - () 1～5年未満
 - () 5～10年未満
 - () 10～20年未満
 - () 20年以上

Q 2 現在お住まいの住宅は、いつ頃（時期又は年代）建築されたものですか。

（解説）具体的な年号がわかるようでしたら、聞いてください。
 わからなければ、何時代に建ったものかなども構いません。
 住宅・土地統計調査や国勢調査の選択肢も参考にして、聞いてください。

A 2 建築された時期	明治	<input type="text"/>	年
	大正	<input type="text"/>	年
	昭和	<input type="text"/>	年
	平成	<input type="text"/>	年
A 2 建築された年代	<input type="checkbox"/> 2000年（平成12年）以降 <input type="checkbox"/> 1981年（昭和56年）～1999年（平成11年）（新耐震基準） <input type="checkbox"/> 1951年（昭和26年）～1980年（昭和55年）（旧耐震基準） <input type="checkbox"/> 1950年（昭和25年）以前（建築基準法以前） <input type="checkbox"/> 1925年（大正14年）以前（大正以前）		

（参考）

- 住宅・土地統計調査 問13では、「建築の時期（完成の時期）」という設問に対し、以下の選択肢があります。
 - 平成25年
 - 平成24年
 - 平成23年
 - 平成22年
 - 平成21年
 - 平成18～20年
 - 平成13～17年
 - 平成8～12年
 - 平成3～7年
 - 昭和56年～平成2年
 - 昭和46～55年
 - 昭和36～45年
 - 昭和26～35年
 - 昭和25年以前

- 住生活総合調査 問16では、「現在お住まいの住宅はいつ頃建築されたものですか」という設問に対し、以下の選択肢があります。
 - 昭和26年以降（築62年以内）
 - 昭和6年～25年（築63～82年）
 - 明治44年～昭和5年（築83～102年）
 - 明治24年～43年（築103～122年）
 - 明治23年以前（築123年以上）
 - わからない

Q 3 現在お住まいの住宅は、持家ですか、借家ですか。

(解説) 建物の所有関係を聞いていただく設問ですので、土地の所有関係は回答の対象外です。

A 3 住宅の所有関係	<input type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 (民営の賃貸住宅) <input type="checkbox"/> 住宅に間借り
--------------------	--

(参考)

- 住宅・土地統計調査 問10では、「持ち家か 借家かなどの別」という設問に対し、以下の選択肢があります。
 - 持ち家
 - 借家 (民営の賃貸住宅)
 - 借家 (都道府県・市町村営賃貸住宅)
 - 借家 (都市再生機構 (UR)・公社などの賃貸住宅)
 - 借家 (給与住宅 (社宅・公務員住宅など))
 - 住宅に間借り
 - 住宅以外の建物 (会社や学校などの寄宿舍、旅館・宿泊所など) 賃貸など
 - 住宅以外の建物 (会社や学校などの寄宿舍、旅館・宿泊所など) 所有
- 国勢調査 問2では、「住宅の種類」という設問に対し、以下の選択肢があります。
 - 持ち家
 - 民営の賃貸住宅
 - 都道府県・市町村営賃貸住宅
 - 都市再生機構 (UR)・公社などの賃貸住宅
 - 給与住宅 (社宅・公務員住宅など)
 - 住宅に間借り
 - 会社等の独身寮・寄宿舍
 - その他

【Q3で「借家」と答えた方に】

Q3-2 賃貸契約をするときに、断られたりしたことはありますか。

(解説) 現在お住まいの住宅には限らず、過去に賃貸住宅を借りようとしたときに、オーナーさん又は仲介業者から、高齢者であることを理由に契約できないといわれたことがあるかを聞いてください。
 高齢になる前からお住まいの方は、対象外です。

A3-2 断られたこと	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 覚えていない
--------------------	---

Q 4 現在お住まいの住宅の1箇月の家賃又は間代及び共益費又は管理費はおいくらですか。
 (住宅・土地統計調査 問11に同じ)

(解説) 借家又は間借りの方に、おおよその金額でも結構ですので、聞き取ってください。
 持家の方については、対象外です。

A 4 家賃又は部屋代	<input type="text"/> <input type="text"/> , <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 円
A 4 共益費又は管理費	<input type="text"/> <input type="text"/> , <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 円

(参考)

- 住宅・土地統計調査 問11では、「1箇月の家賃又は間代及び共益費又は管理費」という設問に対し、以下の回答欄があります。

家賃又は間代 円
 百万 十万 万 千 百 十 一

共益費又は管理費 円
 百万 十万 万 千 百 十 一

Q 5 現在お住まいの住宅全体の面積は、どれぐらいですか。
 ※お部屋以外も含めた住宅全体の延べ床面積を聞き取ってください。
 又は、何帖のお部屋がいくつあるというような情報でも構いません。

(解説) 住宅全体の面積を聞き取ってください。
 全体はわからない、という方には、何帖のお部屋がいくつあるというような情報でも構いません。

A 5 床面積	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 平方メートル 又は <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 坪
A 5 部屋数, 畳の数	<input type="text"/> 帖 × <input type="text"/> 部屋 + <input type="text"/> 帖 × <input type="text"/> 部屋

(参考)

- 住宅・土地統計調査 問9では、「居住室」という設問で、室数の合計とその畳の数を回答することになっています。
- 問12では、「床面積」という設問で、住宅全体の床面積(延べ面積)を平方メートル又は坪で解凍することになっています。

Q 6 現在お住まいの住宅に、高齢者向けの設備などはありますか。

(解説) 当てはまるものすべてにチェックをお願いしたいので、各項目を順番に聞いてください。

聞き方として、手すりに関する各項目については、聞き取りにより確認してください。

手すり以外については、聞き取れるようであれば聞き取ってください。聞き取りが困難な場合は、住宅内等を見せてもらっていいかを確認したうえで、実際に見て、確認してください。

この設問は、住宅・土地統計調査の問15と同じです。

A 6 手すり	<input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 脱衣所 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 居住室 <input type="checkbox"/> その他 ()
A 6 手すり以外	<input type="checkbox"/> またぎやすい浴槽 <input type="checkbox"/> 車いすで通れる廊下 <input type="checkbox"/> 段差のない屋内 <input type="checkbox"/> 道路から玄関まで車いすで通行できる

Q 7 あなたが現在お住まいの住宅は、将来、どうなると見込まれますか。

(解説) 主に持家の方にお聞きしてください。相続することを想定しているかを確認したいと思っておりますが、ストレートには聞きにくいので、将来どうなるかという設問にしています。

この設問は、住生活総合調査の問11(イ)と同じです。

A 7 今後の見通し	<input type="checkbox"/> 賃貸住宅なので考えていない。 <input type="checkbox"/> 子どもや親族などが住む。 <input type="checkbox"/> 子どもや親族などが、売却、解体などを行う。 <input type="checkbox"/> 空き家になる。 <input type="checkbox"/> わからない
------------	--

II お住まいの住宅と、住宅のまわりの環境について

Q 8 現在お住まいの住宅に満足していますか。

(解説) お住まいの中で、気に入っているところ、満足しているところ、不安に思っていることなど、自由意見を聞き取ってください。

その中で、住まいの満足度についても尋ねてみてください。総合的、感覚的で構いません。

満足度については、住生活総合調査の問2(イ)に同じです。

また、自由意見のポイントとしては、住みやすさ、安全性、経済性などがあげられるほか、住生活総合調査の満足度に関する設問を参考に、会話をしていただいても構いません。

(意見記入欄)

A 8 住宅の満足度

- () 満足
- () まあ満足
- () 多少不満
- () 非常に不満

(参考)

● 住生活総合調査 問2(エ)には、以下の項目があります。

- 1 住宅の広さや間取り
- 2 収納の多さ、使いやすさ
- 3 台所、トイレ、浴室等の使いやすさ、広さ
- 4 地震時の住宅の安全性
- 5 台風時の住宅の安全性
- 6 火災に対する安全性
- 7 住宅の防犯性
- 8 住宅のいたみの少なさ
- 9 住宅の維持管理のしやすさ
- 10 住宅の耐熱性や気密性
- 11 冷暖房等の省エネルギー性
- 12 高齢者等への配慮(段差がないなど)
- 13 換気性能(臭気や煙等が残らない)
- 14 居間等、主な居住室の採光
- 15 外部からの騒音に対する遮音性
- 16 上下階や隣戸の生活音等に対する遮音性
- 17 外部からのプライバシーの確保

Q 9 現在お住まいの住宅のまわりの環境に満足していますか。

(解説) Q 8でお住まいのことを聞いていただいたのと同じで、今度は、お住まいの周りの環境で、気に入っているところ、満足しているところ、不安に思っていることなど、自由意見を聞き取ってください。

住宅のまわりの環境は、歩いて回れる程度の地域の居住環境を含めてお考えください。

その中で、周りの環境の満足度についても尋ねてみてください。総合的、感覚的で構いません。

満足度については、住生活総合調査の間2(ウ)と同じです。

また、自由意見のポイントとしては、生活の利便性、安全性、経済性などがあげられるほか、住生活総合調査の満足度に関する設問を参考に、会話をしていただいても構いません。

(意見記入欄)**A 9 周りの環境の満足度**

- () 満足
 () まあ満足
 () 多少不満
 () 非常に不満

(参考)

- 住生活総合調査 問2(オ)には、以下の項目があります。

- 1 災害時の避難のしやすさ
- 2 水害・津波の受けにくさ
- 3 火災の延焼の防止
- 4 治安、犯罪発生の防止
- 5 騒音、大気汚染等の少なさ
- 6 まわりの道路の歩行時の安全性
- 7 敷地やまわりのバリアフリー化の状況
- 8 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり
- 9 子どもの遊び場、公園等
- 10 緑、水辺等の自然とのふれあい
- 11 まちなみ、景観
- 12 通勤、通学等の利便
- 13 日常の買物、医療、福祉・文化施設等の利便
- 14 福祉、介護等の生活支援サービスの状況
- 15 子育て支援サービスの状況
- 16 親、子、親戚等の住宅との距離
- 17 近隣の人たちやコミュニティとの関わり

(見守り編)

Q10 ふだん、どの程度、家族や近所の人、お友だち等と、あいさつ程度の会話や世間話をしていらっしゃいますか。

※直接会っての会話だけでなく、電話での会話も含めて、一つだけ「○」

※こちらから選択肢を述べて、尋ねる場合は、⑥→①の順

- () Ⅱ毎日ぐらい
- () ② 2～3日に1回ぐらい
- () ③ 1週間に1回ぐらい
- () ④ 2週間に1回ぐらい
- () ⑤ 1ヶ月に1回ぐらい
- () ⑥ほとんど話をしない
- () ⑦わからない

【Q10で①～⑥と答えた方に】

Q10-2 ふだん、どのような方と、あいさつ程度の会話や世間話をしていますか。

※直接会っての会話だけでなく、電話での会話も含めて、あてはまるものすべてに「○」

※一番よく(頻度)お話しする方に「◎」

※困り事があった時に相談できる方に「●」

- () ①親族(子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等)
- () ②友だち、知人(参加している会や団体の人等)
- () ③近所の人
- () ④民生委員、老人福祉員、社会福祉協議会の人
- () ⑤地域包括支援センター、ヘルパーなどの介護サービスの人
- () ⑥診療所・病院の医師や看護師など
- () ⑦その他

Q11 どのような方があなたの家を訪ねてこられますか。

※たまたま訪ねてこられる方も含めて、あてはまるものすべてに「○」

※一番よく(頻度)訪ねてこられる方に「◎」

※緊急時に連絡したら来てくれる方に「●」

- () ①親族(子・子の配偶者・親・兄弟姉妹・親戚等)
- () ②友だち、知人(参加している会や団体の人等)
- () ③近所の人
- () ④民生委員、老人福祉員、社会福祉協議会の人
- () ⑤地域包括支援センター、ヘルパーなどの介護サービスの人
- () ⑥診療所・病院の医師や看護師など
- () ⑦その他

【Q11で③④のいずれも回答に含まれていない方に】

Q11-2 近所の人や民生委員など、地域の方に訪ねてきてほしいと思いますか(⇒①か②のどちらかに「○」)。②(思わない)の場合、その理由は何ですか(⇒あてはまるものすべてに「○」)。

- () ①訪ねてきてほしいと思う
- () ②訪ねてきてほしいと思わない
 - (②の理由)
 - () ア 他人の世話になりたくない
 - () イ 近くに友人・知人がいる。
 - () ウ 近くに親族がいる
 - () エ 地域の方以外の方が訪ねてくる(民間サービス、介護サービス等)
 - () オ その他

Q12 ふだん、どのくらい（の頻度で）外出していますか。

※一つだけ「○」

※こちらから選択肢を述べて、尋ねる場合は、⑥→①の順

- ①ほとんど毎日ぐらい
- ②週に4, 5回ぐらい
- ③週に2, 3回ぐらい
- ④週に1回ぐらい
- ⑤月に1, 2回ぐらい
- ⑥外出しない
- ⑦わからない

【Q12で①～⑤と答えた方に】

Q12-2 ふだん、どんなところによく外出しますか。

※あてはまるものすべてに「○」

- ①親族の家
- ②友だち・知人の家
- ③近所の人の家
- ④地域の高齢者が集まっているところ（老人福祉センター、老人クラブハウス等）
- ⑤買物・食事
- ⑥通院（病院、診療所等）
- ⑦散歩や趣味（パチンコ、カラオケ等）
- ⑧その他

①あなたの年齢、②要介護認定を受けていらっしゃるかどうか、③介護保険の保険料段階、④京都市のどんな高齢者福祉サービス（例えば緊急通報システム）を利用されているかについてもお聞きしたいのですが、市役所に登録されている情報を使わせてもらってよろしいですか。

- ①使ってよい
- ②使わないでほしい